油圧ショベル(クローラ式)検査・整備基準値表



**企業建設荷役車両安全技術協会** 

### まえがき

車両系建設機械を有効に稼働させ、常に安全な状態に維持するためには、適 正な定期自主検査と整備作業がなされなければなりません。

そのためには、チェック結果の良否の判断の基、及び整備作業の基となる基準が常に利用できる状態であることが大切で、各機械の検査・整備基準が業界に広く開示される必要があるとの観点から、平成10年から「検査・整備基準値表」を作成して検査・整備業界に提供し、今般第D版を発行することとしました。

「検査・整備基準値表」の編集にあたっては、当協会の公益性に鑑み、国内で販売されている対象機種の製品を網羅することを基本方針として努力してまいりましたが、幸いにも大方のメーカーの賛同を得てここに代表機種の「検査・整備基準値表」を出版する運びとなりました。

当協会の趣旨にご賛同下さり、編集員の派遣、原稿の提供等に快く応じてくださった各メーカー及び関連会社と当協会検査・整備技術委員会委員各位に対し、心よりお礼を申し上げます。

平成30年3月

公益社団法人 建設荷役車両安全技術協会 会 長 吉 識 晴 夫

今回の改訂にご尽力頂いた委員の方々は次のとおりです。

委		員	村	上		匠	(株)加藤製作所
	"		白	鳥	友	章	(株)加藤製作所
	IJ		楠	田	貴	史	キャタピラー
	"		宮	原	由	明	(株)クボタ
	IJ		村	上	義	広	コベルコ建機(株)
	IJ		京	極	佳	幸	コマツ
	IJ		曲	木	秀	人	住友建機(株)
	IJ		小	林	茂	樹	日立建機(株)
	"		岩	口	昌	弘	ヤンマー建機(株)
事	務	局	畄	辺	明	夫	(公社)建設荷役車両安全技術協会
	IJ		赤	池	洋	次	n
	IJ		佐	П	慶	典	IJ

#### 検査・整備基準値表の利用上の留意事項

#### 1. 「基準値表」の表示

- (1)「基準値表」の表示はメーカーごとに一括りにしてあります。
- (2) 同一メーカー内の表示は概ねミニ、小型、中型の3サイズに分類してあり、各サイズの巻末に検査の際の機械姿勢を図形表示してあります。
- (3) 各ページは、機械のサイズごとに2ページ分の見開きで表示してあります。 左ページの左端に項目を表記し、同サイズの機械のモデル数が多くて収まりきれ ない場合には2ページの見開き単位で追加してあります。 機械サイズごとに見開きに余白が出来ても、新モデルの追加記入を考慮して余白 のまま残してあります。
- (4) 同一製品がOEM供給元とOEM供給先の双方で並行販売されている場合には、 供給元と供給先の双方のモデル名でそれぞれに掲載してあります。

#### 2. 収録モデルの範囲

(1) 時期的な収録範囲

この「検査・整備基準値表」は、平成29年11月末現在に日本国内において製造または販売されているモデルに限定して、収録してあります。

この時点で製造または販売を打ち切られているモデル、またはこの時点以降に新規に製造または販売されたモデルは含んでおりません。

(2) モデルサイズの収録範囲

この「検査・整備基準値表」には、日本国内市場で主要部分を占める、ミニ建機、 小型建機、中型建機までを収録してあります。

#### 3. 「検査・整備基準値表」の項目の選定

(1)「メーカーの定める基準値」と表記してある項目

定期自主検査指針(平成5年12月付け公示16号)において「メーカーの定める基準値」表記してある項目を収録してその基準値を数値で表示することを原則としていますが、追加収録する項目の選定及び基準値の表記方法等はメーカーの自主判断に委ねてあります。

(2)「新車基準値」の表記

「新車のみに適用される基準値」であることを特に表示する場合には、当該基準値の左肩上に\*を付し、表の脚注に「新車基準値」である旨を表記してあります。

(3)「単位」の表記

表内の単位の表記は、国際単位系である「SI基本単位」を使用してあります。

# 油圧ショベル (クローラ式) 検査・整備基準値表 (平成29年11月末現在で製造・販売されているモデルを収録)

# 目 次

蛛)加藤製作所	HD308US-6∼·····	2
朱)KATO HICOM	9VX3~····	10
ーャタピラー	017 CR~·····	26
朱) クボタ	U-30-6 H~·····	82
ベルコ建機(株)	SK10SR-3~····	90
マツ	PC30MR-5∼····	108
医友建機(株)	SH75X-6A∼·····	124
立建機(株)	ZX17U-5A~·····	130
/ンマー建機(株)	Vio25-6∼·····	144

### 加藤製作所

	適用範囲		モ	デ	ル	名	HD308US-6	HD308U SSR-6	HD512-6	HD512LC-6	HD513MR-6
			適	用	号	機	5101~	5101~	5101~	5101~	5101~
区分	検査箇所	,	検査項目	(条	件)	単位		検 査	基	準 値	
	エンジン本体	エ	ンジン回	転速	度						
		)	ハイアイ	ドリ	ング	$\min^{-1}$	$2000^{+25}_{-25}$	$2000^{+25}_{-25}$	$2000^{+20}_{-20}$	$2000^{+20}_{-20}$	2000 +20 -20
		1	コーアイ	ドリコ	ング	$\min^{-1}$	$1150^{\ +10}_{\ -10}$	$1150^{+10}_{-10}$	$900^{+20}_{-20}$	$900^{\ +20}_{\ -20}$	900 +20 -20
			(冷 却 (作 動			(℃) (℃)	$(75\sim85)$ $(50\pm10)$	$(75\sim85)$ $(50\pm10)$	$(75\sim85)$ $(50\pm10)$	$(75\sim85)$ $(50\pm10)$	$(75\sim85)$ $(50\pm10)$
		弁	隙間								
エ		Ď	及気弁	隙間		mm	0. 4	0. 4	0. 15	0. 15	0. 15
レン		ł	非気弁	隙間		mm	0. 4	0. 4	0. 15	0. 15	0. 15
			(測 定	条(	牛)		(冷間)	(冷間)	(冷間)	(冷間)	(冷間)
ジ			宿圧力又 気筒間圧		力差	MPa kg/cm²	3. 04 31				
ン			(冷 却(回 転			(°C) (min <sup>-1</sup> )	(暖機後) (250)	(暖機後) (250)	(暖機後) (200)	(暖機後) (200)	(暖機後) (200)
	燃料装置		噴射ノズルの 燃料噴射開始圧力		MPa kg/cm²	16.7(1 段) 170 25.0(2 段) 255	16.7(1 段) 170 25.0(2 段) 255	コモンレール	コモンレール	コモンレール	
	冷却装置	(測	アン駆動・  定位置・  とkgの	条件	: ]	mm	8.3~9.3 ファン/オルタネータ (98 N 10kg)	8.3~9.3 ファン/オルタネータ (98 N 10kg)	6.6~7.4 ファン/オルタネータ (98 N 10kg)	6.6~7.4 ファン/オルタネータ (98 N 10kg)	6.6~7.4 ファン/オルタネータ (98 N 10kg)
	走行性能	最高	高速度 ( 測定位置	置・第	(件)	S	13.60~ 16.00 (5m助走) 後20m	13.60~ 16.00 (5m助走 後20m)	11.99~ 13.19 (5m助走) 後20m	11.99~ 13.19 (5m助走 後20m)	11.99~ 13.19 (5m助走 後20m)
	履帯	ゴ	張り (7	こわみ	*量)	mm	20	20	20	20	20
走	(クローラ ベルト)	ムベルト	(測定力		条件)表示)		〔図-6〕	〔図-6〕	〔図-6〕	〔図-6〕	〔図-6〕
,-			張り (7	たわみ	*量)	mm	60	60	80	80	80
行装		鉄	( 測定力				〔図-6〕	〔図-6〕	〔図-6〕	〔図-6〕	〔図-6〕
		<b>吹</b>	リンクヒ	゚゚ッチ	の伸び	mm	158 (1 リンク)	158 (1 リンク)	175 (1 リンク)	175 (1 リンク)	175 (1 リンク)
置		ユ	(測定力 (図面		条件)表示)		〔図-7〕	〔図-7〕	〔図-7〕	〔図-7〕	〔図-7〕
		]	履板取f 締付け			N·m	245	245	412	412	412
						kg•m	25. 0	25. 0	42	42	42
			〔測定力	ラ法・	条件〕						
<u> </u>	]:新車基準値を	. 丰-	<u> </u>			•	•	•			

HD513MR LC-6	HD820-6	HD820VLC-6	HD823MR-6	HD823MR LC-6				
5101~	5101~	5101~	5101~	5101~				
			検 査	基	準	値		
2000 +20 -20	2150 <sup>+25</sup> -25	2150 <sup>+25</sup> -25	2150 <sup>+25</sup> <sub>-25</sub>	2150 <sup>+25</sup> <sub>-25</sub>				
900 +20 -20	975 <sup>+25</sup> <sub>-25</sub>	$975^{+25}_{-25}$	$975 \begin{array}{l} +25 \\ -25 \end{array}$	975 <sup>+25</sup> <sub>-25</sub>				
$(75\sim85)$ $(50\pm10)$	$(75\sim85)$ $(50\pm10)$	$(75\sim85)$ $(50\pm10)$	$(75\sim85)$ $(50\pm10)$	$(75\sim85)$ $(50\pm10)$				
0. 15	0. 4	0. 4	0. 4	0. 4				
0. 15	0. 5	0. 5	0. 5	0.5				
(冷間)	(冷間)	(冷間)	(冷間)	(冷間)				
3. 04 31	2. 55 26	2. 55 26	2. 55 26	2. 55 26				
(暖気後) (200)	(75~85) (200)	(75~85) (200)	(75~85) (200)	(75~85) (200)				
コモンレール	コモンレール	コモンレール	コモンレール	コモンレール				
6.6~7.4 ファン/オルタネータ (98 N 10kg)	10~15 ファン/オルタネータ (98 N 10kg)	10~15 ファン/オルタネータ (98 N 10kg)	10~15 ファン/オルタネータ (98 N 10kg)	10~15 ファン/オルタネータ (98 N 10kg)				
11.99~ 13.19 (5m助走 後20m	11.99~ 13.19 (5m助走 後20m)	11.99~ 13.19 5m助走 後 20m	11.99~ 13.19 〔5m助走 後20m〕	11.99~ 13.19 5m助走 後 20m				
20 (図-6)	_	_	-	_				
80	80	80	80	80				
〔図-6〕	〔図-6〕	〔図-6〕	〔図-6〕	〔図-6〕				
175 (1 リンク)	198 (1 リンク)	198 (1 リンク)	198 (1 リンク)	198 (1 リンク)				
〔図-7〕	〔図-7〕	〔図-7〕	〔図-7〕	〔図-7〕				
412	843	843	843	843				
42	86	86	86	86				
			( - )					

# 加藤製作所

					IIDOCCII			
}	適用範囲	モデル:	名	HD308US-6	HD308U SSR-6	HD512-6	HD512LC-6	HD513MR-6
		適用号	機	5101~	5101~	5101~	5101~	5101~
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位		検 査	基	準 値	1
	作業機 自然降下	バケット先端位置 (測 定 時 間) (作 動 油 温) (作業装置姿勢 (図面番号表示)	(°C)	_	_	_	_	_
	シリンダー	ブームシリンダー (作業装置姿勢)	mm	5	5	5	5	5
作	自然伸縮	「作業装置姿労 (図面番号表示) アームシリンダー (作業装置姿勢	mm	[図-1] 10	[図-1] 10	[図-1] 20	[図-1] 10	[図-1] 10
業		【(図面番号表示) バケットシリンダー 作業装置姿勢	mm	[図-1] 25	[図-1] 25	[図-1] 25	[図-1] 25	[図-1] 25
<b></b>		(図面番号表示) ブレードシリンダー 「作業装置姿勢	mm	[図-1] 4	[図-1] 4	[図-1] 4	[図-1] 4	[図-1] 4
装		(図面番号表示) (作動油温)	(℃)	[図-2] (50±10)	[図-2] (50±10)	[図-2] (50±10)	[図-2] (50±10)	[図-2] (50±10)
20	作業機速度	_	S	2.5~3.1	2.3~2.9	2.2~2.8	2.2~2.8	2.5~3.1
置		作業装置姿勢 (図面番号表示) アームシリンダー伸ばし 縮 め 「作業装置姿勢	S S	[ $\boxtimes$ -3] 2.3 $\sim$ 2.9 2.5 $\sim$ 3.3	[図 $-3$ ] 2. 3 $\sim$ 2. 9 1. 6 $\sim$ 2. 4	[図-3] 2.9~3.3 2.2~2.8	[図 $-3$ ] 2.9 $\sim$ 3.3 2.2 $\sim$ 2.8	[図-3] 2.9~3.3 2.5~3.1
		(図面番号表示) がケットシリンダー伸ばし 縮 め 作業装置姿勢	S S	$[ \boxtimes -4 ]$ $3.0 \sim 3.8$ $1.9 \sim 2.5$	[図 $-4$ ] 3.0 $\sim$ 3.8 1.9 $\sim$ 2.5	[図 $-4$ ] 2.2 $\sim$ 2.6 1.7 $\sim$ 2.1	$[ \boxtimes -4 ]$ 2. 2~2. 6 1. 7~2. 1	[図-4] 2.4~2.8 1.8~2.2
		(図面番号表示) (性能測定条件 (荷重・設定モード等)		[図-5] (エンジ゛ン最高 P モート゛	[図-5] (エンジ゛ン最高) P モート゛	[図-5] (エンジ゛ン最高 Pモート゛	[図-5] 「エンシ゛ン最高 Pモート゛	[図-5] (エンジ゛ン最高) Pモート゛
	油 圧 回 路 設定圧力	主回路設定圧力	MPa	29. 4/31. 4	29. 4/31. 4	31. 4/32. 8	31. 4/32. 8	31. 4/32. 8
油圧装置	<b>以</b> 足压力		${\rm kg/cm^2}$	300/320	300/320	320/335	320/335	320/335
装置		性能測定条件 (設定モード等)		エンシ`ソ 最高 P モード	エンジ`ソ 最高 P モード	エンシ`ソ 最高 P モード	エンシ`ソ 最高 P モード	エンジ`ソ 最高 P モード
	旋回ベアリン グ取付けボル	アウターレース取付け ボルトの締付けトルク	N·m	318	318	318	318	318
動	トの締付け		kg•m	32. 5	32. 5	32. 5	32. 5	32. 5
カ		インナーレース取付け ボルトの締付けトルク	N·m	318	318	318	318	318
伝			kg•m	32. 5	32. 5	32. 5	32. 5	32. 5
達	旋回減速機取 付けボルトの	油圧モーター取付けボ ルトの締付けトルク	N·m	177	177	103	103	103
装	締付け	- 1 - 5 Abb   1 1 / 1 / 2 /	kg•m	18. 0	18. 0	10. 5	10. 5	10. 5
置		旋回減速機取付けボル トの締付けトルク	N·m	318	318	318	318	318
		ריעראידן ען נין מואר∨ין נין נין איי	kg•m	32. 5	32. 5	32. 5	32. 5	32. 5
	1. 站古甘淮店な			•				•

HD513MR LC-6	HD820-6	HD820VLC-6	HD823MR-6	HD823MR LC-6			
5101~	5101~	5101~	5101~	5101~			
			検 査	基	準 値	1	
_	-	-	-	-	_		
5	5	5	5	5			
[図-1] 10	[図-1] 10	[図-1] 10	[図-1] 10	[図-1] 10			
[図-1] 25	[図-1] 25	[図-1] 25	[図-1] 25	[図-1] 25			
[図-1] 4	[図-1] -	[図-1] -	[図-1] -	[図-1] -			
[図-2] (50±10)	$(50 \pm 10)$	$(50 \pm 10)$	$(50 \pm 10)$	$(50\pm10)$			
2.5~3.1	2.4~3.0	2.4~3.0	2.6~3.2	2.6~3.2			
$[ \boxtimes -3 ]$ 2. 9 $\sim$ 3. 3 2. 5 $\sim$ 3. 1	[図 $-3$ ] 2. 4 $\sim$ 2. 8 2. 0 $\sim$ 2. 6	[図 $-3$ ] 2. $4\sim$ 2. 8 2. $0\sim$ 2. 6	[図 $-3$ ] 2.5 $\sim$ 2.9 2.2 $\sim$ 2.8	[図 $-3$ ] 2.5 $\sim$ 2.9 2.2 $\sim$ 2.8			
$[ \boxtimes -4 ]$ 2. $4 \sim 2.8$ 1. $8 \sim 2.2$	[図-4] 1.8~2.2 1.7~2.1	[図-4] 1.8~2.2 1.7~2.1	[図-4] 1.9~2.3 1.8~2.2	[図-4] 1.9~2.3 1.8~2.2			
[図-5] [エンジ <sup>*</sup> ン最高] Pモート <sup>*</sup>	[図-5] [エンジン最高 P モード	[図-5] [エンシ゛ン最高 P モート゛]	[図-5] (エンシ゛ン最高 P モート゛ )	[図-5] [エンシ゛ン最高 Pモート゛]			
31. 4/32. 8	34. 3/36. 3	34. 3/36. 3	34. 3/36. 3	34. 3/36. 3			
320/335	350/370	350/370	350/370	350/370			
エンジ`ソ 最高 P モード	エンジ <sup>ン</sup> ン 最高 P モード	エンジ <sup>ン</sup> ン 最高 P モード	エンジン 最高 P モート	エンジ`ソ 最高 P モード			
318	533	533	533	533			
32. 5	54. 4	54. 4	54. 4	54. 4			
318	533	533	533	533			
32. 5	54. 4	54. 4	54. 4	54. 4			
103	103	103	103	103			
10. 5	10. 5	10. 5	10. 5	10. 5			
318	621	621	621	621			
32. 5	63. 4	63. 4	63. 4	63. 4			

# 加藤製作所 履帯張り及び作業機性能測定時の機械姿勢略図

	項 目	小型油圧ショベル 中型油圧ショベル
作業機自然沈下量又は	作業機トータル 又は ブームシリンダ	(図 No. 1)
ト量又はショ		(図 No. 1)
リンダ自然	バケットシリンダ ブレードシリンダ	(図 No. 1) (図 No. 2)
シリンダ自然伸縮量測定姿勢		<ul> <li>・フロント姿勢 アームシリンダを最伸長にし、バケット歯先がブーム 下面に接触しないようにバケットシリンダを伸長する</li> <li>・ドーザシリンダを最縮長時に、ドーザとバケットが接触しないようにブーム位置を調整する</li> <li>・作動油 50±10℃</li> <li>・ドーザシリンダを最縮長</li> <li>・エンジン停止</li> <li>・5 分後、ドーザシリンダの伸び量を測定</li> </ul>

ブーム上げ
作業機速度測定姿勢

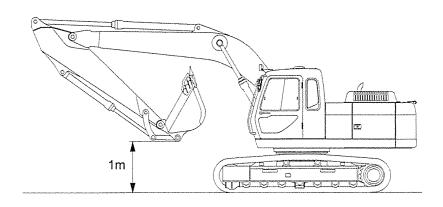
# 加藤製作所

バケットシリンダ伸ばし及び縮め	・フロント姿勢 バケット: ダンプで、アームの中心を地面に対して垂直な状態を維持しつつ、バケット歯先と地面との間隔が約0.5mになるようにブームの位置を調整する ・作動油50±10°C ・アクセルダイヤル: " (**) "位置 (エンジン: 最高回転) ・パワーモード: プロモード ・オートスロー OFF ・クッション部の時間は測定しない
ゴム履帯の張り (たわみ量) 測 定 方 法	(図 No. 6) トラックシューの張り調整は、片足ずつジャッキアップし、下図のように上げた方のシューを少し回転させてから、シューのたるみ量を測定します。 上部トラックシューが張った状態 回転方向は後退 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
鉄製履帯の張り (たわみ量) 測 定 方 法	(図 No. 6)
鉄 製 履 帯 の リンクピッチ 測 定 方 法	(⊠ No. 7)

#### クレーン時の旋回速度測定

適用範囲		モーデール	名	HD308US-6	HD512-6	HD513MR-6	HD820-6	HD823MR-6
		適用号	機	5101~	5101~	5101~	5101~	5101~
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位		検 査	基	準 値	
装力	クレーン 時の旋回 速度	3回転の所要時間	秒	約 20	約 44	約 44	約 30	約 30

#### クレーンモード選択時



- ・フロント姿勢 アームシリンダ、バケットシリンダとも最伸長にし、バケットが地面から1mの位置
- ·水平堅土上
- · 作動油50±10°C
- ・アクセルダイヤル: " 😉 "位置 (エンジン: 最高回転)
- ・等速旋回後から3回転所要時間

図 No. 8

【注意】上記基準値は参考値となります。基準値公差は設けておりません。

検査条件

	適 用 範 囲		モ	デ	ル	名	9VX3	17VX3	20VX3	25VX3	25V4
	2 /14 +2 11		適	用	号	機	₩B004001~	₩R004001~	₩C004001~	₩Q004001~	₩Q010001~
区分	検査箇所	検	全項目	(条	件)	単位			基	準 値	
	エンジン本体	エン	ジン回	転速原	·····································						
		ハ	イアイ	ドリン	ノグ	min <sup>-1</sup>	$2570 \pm 25$	$2460 \pm 25$	2375±25	$2460 \pm 25$	$2600 \pm 25$
		口	ーアイ	ドリン	ノグ	$\min^{-1}$	$1200 \pm 25$	$1250\pm25$	1175±25	1175±25	$1250 \pm 25$
			(冷 却 (作 動			(°C)	$(70\sim80)$ $(50\sim60)$	$(70\sim80)$ $(50\sim60)$	$(70\sim80)$ $(50\sim60)$	$(70\sim80)$ $(50\sim60)$	$(70\sim80)$ $(50\sim60)$
		弁	隙間								
H		吸	気弁	隙間		mm	$0.2\pm 0.05$				
ン		排	気弁	隙間		mm	$0.2\pm0.05$	$0.2\pm 0.05$	$0.2\pm 0.05$	$0.2\pm 0.05$	$0.2\pm 0.05$
			(測 定	条件	牛)	(℃)	(冷間)	(冷間)	(冷間)	(冷間)	(冷間)
ジ			(圧力又 (筒間圧)		力差	MPa kg/cm²	3. 24 33	3. 24 33	3. 24 33	3. 24 33	2. 9 30
ン			(冷 却			(℃) (rpm)	(50 以上) (250)	(50 以上) (250)	(50 以上) (250)	(50 以上) (250)	(50 以上) (300)
	燃料装置		噴射ノズルの		MPa	11.8~12.8	11.8~12.8	11.8~12.8	11.8~12.8	11.8~12.8	
		燃	料噴射	開始原	王力	kg/cm <sup>2</sup>	120~130	120~130	120~130	120~130	120~130
	冷却装置	ファ	ファン駆動		の張り	mm	7~10 オルタネータ~	7~10 オルタネータ~	7~10 オルタネータ~	7~10 オルタネータ~	7~10 オルタネータ~
			定位置・ 1間を指			(kg)	ファンフ゜ーリ (10)	ファンフ゜ーリ (10)	ファンフ゜ーリ (10)	ファンフ゜ーリ (10)	ファンフ゜ーリ (5)
	走行性能					秒/5回	高速	高速	高速	高速	高速
	72 14 12 12		クロー 5 回軸				17±3 低速 23±3	16±3 低速 29±3	18±3 低速 32±3	20±3 低速 35±3	16±3 低速 30±3
	履帯	_	張り(7	こわみ	*量)	mm	10~20	10~20	10~20	10~20	10~20
走	(クローラ ベルト)	ムベルト	測定力(図面				図1参照	図1参照	図1参照	図1参照	図1参照
行		į	張り(オ	こわみ	*量)	mm		30~50	30~50	30~50	30~50
装		<i>2</i> /4-	測定力(図面				_	図1参照	図1参照	図1参照	図1参照
			リンクヒ	゚゚ッチ	の伸び	mm		93	93	104	104
置		シュ		方法 条件			_	(1 リンク)	(1 リンク)	(1 リンク)	(1 リンク)
			履板取付 締付け			N·m kg·m	_	溶接	溶接	溶接	溶接
A 15E	]:新車基準値を	, # -									

05W4 B	0.04440	0.037.4	0.54440	0.577.4	407770	40774	10111 5	457770
25V4-F	30VX3	30V4	35VX3	35V4	40VX3	40V4	40V4-F	45VX3
₩Q020001~	₩S004001~	₩S010001~	₩F004001~	₩F010001~	₩G004001~	₩G010001~	₩G020001~	₩Y004001~
			検査	基	準 値		<u> </u>	
2600≧	$2400 \pm 25$	$2230 \pm 10$	$2510 \pm 25$	$2230 \pm 10$	$2590 \pm 25$	2625≧	2600≧	$2510 \pm 25$
$1400 \pm 50$	$1100\pm25$	$1200 \pm 10$	$1100\pm25$	$1200 \pm 10$	1100±25	$1200 \pm 50$	$1200 \pm 50$	$1200 \pm 25$
$(70\sim80)$ $(50\sim60)$	$(70\sim80)$ $(50\sim60)$	$(70\sim80)$ $(50\sim60)$	$(70\sim80)$ $(50\sim60)$	$(70\sim80)$ $(50\sim60)$	$(70\sim80)$ $(50\sim60)$	$(70\sim80)$ $(50\sim60)$	$(70\sim80)$ $(50\sim60)$	(70~80) (50~60)
0.17±0.02	0.2±0.05	0.2±0.05	0.2±0.05	0.2±0.05	0.2±0.05	0.2±0.02	0.2±0.02	0.2±0.05
$0.17 \pm 0.02$	$0.2\pm0.05$	$0.2\pm0.05$	$0.2\pm0.05$	$0.2\pm0.05$	$0.2\pm0.05$	$0.2\pm0.02$	$0.2\pm0.02$	$0.2\pm0.05$
(冷間)	(冷間)	(冷間)	(冷間)	(冷間)	(冷間)	(冷間)	(冷間)	(冷間)
3.73~4.11 38~42	3. 24 33	3. 43 35	3. 43 35	3. 43 35	3. 43 35	3. 24~3. 72 33~38	2.95~3.23 30~33	3. 43 35
(暖気運転後) (セル回転)	(50 以上) (250)	(暖気運転後) (セル回転)	(暖気運転後) (セル回転)	(50 以上) (200)				
13. 2~14. 2	21.6~22.6	19.6~20.6	21.6~22.6	19.6~20.6	21.6~22.6	18.6~20.1	コモンレール	21.6~22.6
135~145	220~230	200~210	220~230	200~210	220~230	190~205		220~230
7~9 オルタネータ~ ファンフ゜ーリ (5)	7~10 オルタネータ~ ファンフ゜ーリ (10)	7~10 オルタネータ~ ファンフ゜ーリ (10)	7~10 オルタネータ~ ファンプ゜ーリ (10)	7~10 オルタネータ~ ファンフ゜ーリ (10)	7~10 オルタネータ~ ファンフ゜ーリ (10)	7~9 オルタネータ~ ファンフ゜ーリ (10)	7~9 オルタネータ~ ファンフ゜ーリ (10)	7~10 オルタネータ~ ファンフ゜ーリ (10)
高速 16±3 低速 30±3	高速 20±3 低速 35±3	高速 17±3 低速 30±3	高速 21±3 低速 34±3	高速 18±3 低速 32±3	高速 19±3 低速 30±3	高速 21±3 低速 33±3	高速 21±3 低速 33±3	高速 20±3 低速 37±3
10~20	10~20	10~20	10~20	10~20	10~20	10~20	10~20	10~20
図1参照	図1参照	図1参照	図1参照	図1参照	図1参照	図1参照	図1参照	図1参照
30~50	30~50	30~50	30~50	30~50	30~50	30~50	30~50	30~50
図1参照	図1参照	図1参照	図1参照	図1参照	図1参照	図1参照	図1参照	図1参照
104	104	104	104	104	137	137	137	137
(1 リンク)	(1 リンク)	(1 リンク)	(1 リンク)	(1 リンク)	(1 リンク)	(1 リンク)	(1 リンク)	(1 リンク)
					162	216	216	216
溶接	溶接	溶接	溶接	溶接	16. 5	22. 0	22. 0	22. 0

ì	適用範囲	モデル	名	9VX3	17VX3	20VX3	25VX3	25V4		
		適用号	機	₩B004001~	WR004001∼	₩C004001~	₩Q004001~	₩Q010001~		
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位		検 査	基	準 値			
	作業機 自然降下	バケット先端位置	mm	400	300	300	300	300		
		(測定時間) (作動油温)	(分) (℃)	$(10)$ $(50\pm 5)$	(10) (50±5)	(10) (50±5)	$(10)$ $(50\pm 5)$	$(10)$ $(50\pm 5)$		
		作業装置姿勢 (図面番号表示)		図2参照	図2参照	図2参照	図2参照	図2参照		
作	シリンダー 自 然 伸 縮	ブームシリンダー	mm	30	10	10	10	10		
	H /// PI //III	アームシリンダー	mm	20	20	20	20	20		
業		バケットシリンダー	mm	10	10	10	10	10		
		ブレードシリンダー 作業装置姿勢	mm	10	10	10	10	10		
装		(図面番号表示) (作 動 油 温)	(℃)	図2参照 (50±5)	図2参照 (50±5)	図2参照 (50±5)	図2参照 (50±5)	図2参照 (50±5)		
置	作業機速度	ブ ー ム 上 げ アームシリンダー伸ばし 縮 め	sec sec sec	3.5 キャノピー仕様 4.9 3.8	3.5 キャノピー仕様 3.4 3.4	3.4 キャノピー仕様 4.2 3.2	3.4 キャノピー仕様 4.0 3.2	3.2 キャノピー仕様 3.1 3.0		
) 旦		バケットシリンダー伸ばし 縮 め	sec sec	3. 6 2. 9	3. 5 2. 6	3. 7 2. 8	3. 2 2. 4	3. 2 2. 3		
		性能測定条件 (図面番号表示)		図3参照	図3参照	図3参照	図3参照	図3参照		
	油圧回路設定圧力	主回路設定圧力	MPa	16. 2~16. 7	19.6~21.1	19.6~21.1	19.6~21.1	18.1~21.6		
油圧装置	<b></b> 放 <i>庄 庄 分</i>	性能測定条件 (エンジン:定格回路) (油温:50±5℃)	kg/cm <sup>2</sup>	165~170	200~215	200~215	200~215	185~220		
		アウターレース取付け ボルトの締付けトルク	N·m	59	108	108	108	108		
	トの締付け		kg•m	6. 0	11.0	11.0	11.0	11.0		
動		インナーレース取付け ボルトの締付けトルク	N·m	59	108	108	108	108		
カ			kg•m	6. 0	11. 0	11.0	11.0	11.0		
伝		油圧モーター取付けポルトの締付けトルク	N·m	97	108	108	108	108		
達	締付け	- 1 - 2 MM 14 17 1 7 1 2	kg•m	9. 9	11.0	11.0	11.0	11.0		
装		旋回減速機取付けボルトの締付けトルク	N·m		108	108	108	108		
置		1 ANWHIRT) 1.565	kg•m	_	11. 0	11. 0	11. 0	11. 0		
	1・新声甘淮値な									

25V4-F	30VX3	30V4	35VX3	35V4	40VX3	40V4	40V4-F	45VX3
₩Q020001~	₩S004001~	₩S010001~	₩F004001~	₩F010001~	₩G004001~	₩G010001~	₩G020001~	₩Y004001~
			検査	基	準 値		T	Ι
300	300	300	300	300	400	300	300	300
(10) (50±5)	$(10)$ $(50\pm 5)$	$(10)$ $(50\pm 5)$	$(10)$ $(50\pm 5)$	$(10)$ $(50\pm 5)$	$(10)$ $(50\pm5)$	(10) (50±5)	(10) (50±5)	$(10)$ $(50\pm 5)$
図 2 参照	図 2 参照	図 2 参照	図2参照	図2参照	図2参照	図2参照	図 2 参照	図2参照
10	10	10	10	10	10	10	10	10
20	20	20	20	20	20	20	20	20
10	10	10	10	10	10	10	10	10
10	10	10	10	10	10	10	10	10
図2参照 (50±5)	図2参照 (50±5)	図 2 参照 (50±5)	図2参照 (50±5)	図2参照 (50±5)	図2参照 (50±5)	図 2 参照 (50±5)	図2参照 (50±5)	図2参照 (50±5)
3.2 キャノピー仕様 3.1 3.0	3.4 キャノピー仕様 4.0 3.5	3.3 キャノピー仕様 3.1 3.0	3.8 キャノピー仕様 4.1 3.9	3.6 キャノピー仕様 3.2 3.1	3. 7 4. 4 3. 8	3.3 キャノピー仕様 3.2 3.0	3.3 キャノピー仕様 3.2 3.0	3. 1 3. 3 3. 4
3. 2 2. 3	4. 0 2. 5	3. 3 2. 4	3. 4 2. 6	3. 3 2. 5	3. 0 2. 2	3. 0 2. 3	3. 0 2. 3	3. 2 2. 7
図3参照	図3参照	図3参照	図3参照	図3参照	図3参照	図3参照	図3参照	図3参照
18.1~21.6	20.6~22.1	20.6~24.5	19.6~21.1	20.6~24.5	19.6~21.1	20.6~24.5	20.6~24.5	24.5~25.0
185~220	210~226	210~250	200~215	210~250	200~215	210~250	210~250	250~255
108	108	108	108	108	245	245	245	245
11. 0	11. 0	11. 0	11. 0	11. 0	25. 0	25. 0	25. 0	25. 0
108	108	108	108	108	245	245	245	245
11.0	11. 0	11. 0	11. 0	11. 0	25. 0	25. 0	25. 0	25. 0
108	256	256	157	256	245	245	245	245
11.0	26. 0	26. 0	16. 0	26. 0	25. 0	25. 0	25. 0	25. 0
108	256	256	157	256	245	245	245	245
11.0	26. 0	26. 0	16. 0	26. 0	25. 0	25. 0	25. 0	25. 0

	適 用 範 囲		モ	デ	ル	名	50V4	50V4-F	55VX3	60V4	60V4-F
				用		 機	₩Y010001~	₩Y020001~	₩Z004001~	₩Z010001~	₩Z020001~
区分	検査箇所	梢	全項目			単位		 検 査	L 基		
>-	エンジン本体		ジン回			1 12		7, 1		1 11	
			イアイ			min <sup>-1</sup>	2625≧	2600≧	2510±25	2625≧	2600≧
		口	ーアイ	ドリン	ング	$\min^{-1}$	$1200 \pm 50$	$1200 \pm 50$	$1200\pm25$	1200±50	$1200 \pm 50$
			(冷 却 (作 動			(C) (C)	$(70\sim80)$ $(50\sim60)$	$(70\sim80)$ $(50\sim60)$	$(70\sim80)$ $(50\sim60)$	$(70\sim80)$ $(50\sim60)$	$(70\sim80)$ $(50\sim60)$
		弁	隙間								
H		吸	気弁	隙間		mm	$0.2\pm0.02$	$0.2\pm0.02$	$0.2\pm 0.05$	$0.2\pm0.02$	$0.2\pm0.02$
ン		排	気弁	隙間		mm	$0.2\pm0.02$	$0.2\pm0.02$	$0.2\pm 0.05$	$0.2\pm0.02$	$0.2\pm0.02$
			(測定	条件	牛)	(℃)	(冷間)	(冷間)	(冷間)	(冷間)	(冷間)
ジ			[正力又 [6] 間圧		力差	MPa kg/cm²	3. 24~3. 72 33~38	2.95~3.23 30~33	3. 43 35	3. 24~3. 72 33~38	2. 95~3. 23 30~33
ン			(冷 却(回 転			(°C) (rpm)	(暖気運転後) (セル回転)	(暖気運転後) (セル回転)	(50 以上) (200)	(暖気運転後) (セル回転)	(暖気運転後) (セル回転)
	燃料装置	噴射	ノズル	の		MPa	18.6~20.1		21.6~22.6	18.6~20.1	
		燃	料噴射	開始原	王力	kg/cm <sup>2</sup>	190~205	コモンレール	220~230	190~205	コモンレール
	冷却装置		ン駆動~ 定位置・			mm	7~9 オルタネータ~ ファンフ゜ーリ	7~9 オルタネータ~ ファンフ゜ーリ	7~10 オルタネータ~ ファンフ゜ーリ	7~9 オルタネータ~ ファンフ゜ーリ	7~9 オルタネータ~ ファンフ゜ーリ
			間を指			(kg)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)
	走行性能		速度 (クロー 5 回軸			秒/5回	高速 21±3 低速 33±3	高速 21±3 低速 33±3	高速 20±3 低速 37±3	高速 21±3 低速 33±3	高速 21±3 低速 33±3
	履 帯 (クローラ	ゴム	張り(ク	こわみ	*量)	mm	10~20	10~20	10~20	10~20	10~20
走	ベルト)	ムベルト	測定力(図面)				図1参照	図1参照	図1参照	図1参照	図1参照
行			張り(ク	 こわみ	・量)	mm	30~50	30~50	30~50	30~50	30~50
装		鉄」	測定力(図面				図1参照	図1参照	図1参照	図1参照	図1参照
			リンクヒ	゚ッチ	の伸び	mm	137	137	137	137	137
置		シュ	1	方法 条件			(1 リンク)				
			履板取付 締付け			N·m	216	216	216	216	216
			dala1.1.(∫ ∫	1 147		kg•m	22. 0	22. 0	22. 0	22. 0	22. 0
	  : 新車基準値を	   				1					

80VX3	80V4	55N3	55N4					
₩K004001~	₩K020001~	₩P003001~	₩P004001~					
	I	I	検査	基	準 値	· ·	I	
$2250 \pm 25$	2130±10	$2400 \pm 25$	$2550 \pm 10$					
$1100 \pm 25$	1100±10	1100±25	$1100 \pm 10$					
(70~80) (50~60)	(70~80) (50~60)	(70~80) (50~60)	$(70\sim80)$ $(50\sim60)$					
0.2±0.05	0.2±0.05	0.2±0.05	0.2±0.05					
$0.2\pm0.05$	$0.2\pm0.05$	$0.2\pm0.05$	$0.2\pm 0.05$					
(冷間)	(冷間)	(冷間)	(冷間)					
3. 43 35	3. 14~3. 34 32~34	3. 43 35	3. 14~3. 34 32~34					
(50 以上) (200)	(50 以上) (200)	(50 以上) (200)	(50 以上) (200)					
21. 6~22. 6 220~230	コモンレール	21. 6~22. 6 220~230	コモンレール					
7~10 オルタネータ~ ファンフ゜ーリ (10)	10~14 オルタネータ~ ファンフ゜ーリ (10)	7~10 オルタネータ~ ファンプ゜ーリ (10)	10~14 オルタネータ~ ファンフ゜ーリ (10)					
高速 26±3 低速 41±3	高速 28±3 低速 42±3	高速 20±3 低速 35±3	高速 20±3 低速 35±3					
10~20	10~20	10~20	10~20					
図1参照	図1参照	図1参照	図1参照					
30~50	30~50	30~50	30~50					
図1参照	図1参照	図1参照	図1参照					
137	137	137	137					
(1 リンク)	(1 リンク)	(1 リンク)	(1 リンク)					
216	216	216	216					
22. 0	22. 0	22. 0	22. 0					

ì	適用範囲	モデル	名	50V4	50V4-F	55VX3	60V4	60V4-F		
		適用号	機	₩Y010001~	WY020001∼	WZ004001∼	WZ010001∼	WZ020001∼		
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位		検 査	基	準 値			
	作 業 機 自 然 降 下	バケット先端位置	mm	300	300	300	300	300		
		(測 定 時 間) (作 動 油 温)	(分) (℃)	$(10)$ $(50\pm 5)$	$(10)$ $(50\pm 5)$	(10) (50±5)	$(10)$ $(50\pm 5)$	$(10)$ $(50\pm 5)$		
		作業装置姿勢 (図面番号表示)		図2参照	図2参照	図2参照	図2参照	図2参照		
作	シリンダー 自 然 伸 縮	ブームシリンダー	mm	10	10	10	10	10		
	D 2777 1-11- 1-110	アームシリンダー	mm	20	20	20	20	20		
業		バケットシリンダー	mm	10	10	10	10	10		
		ブレードシリンダー 作業装置姿勢	mm	10	10	10	10	10		
装		(図面番号表示) (作 動 油 温)	(℃)	図2参照 (50±5)	図2参照 (50±5)	図2参照 (50±5)	図2参照 (50±5)	図2参照 (50±5)		
	作業機速度	ブ ー ム 上 げ アームシリンダー伸ばし 縮 め		3.4 キャノピー仕様 3.0 3.1	3.4 キャノピー仕様 3.0 3.1	3. 1 3. 3 3. 4	3.6 キャノピー仕様 3.7 3.5	3.6 キャノピー仕様 3.7 3.5		
置		バケットシリンダー伸ばし 縮 め		3. 1 2. 5	3. 1 2. 5	3. 2 2. 7	3. 7 3. 0	3. 7 3. 0		
		性能測定条件(図面番号表示)		図3参照	図3参照	図3参照	図3参照	図3参照		
N.L.	油圧回路設定圧力	主回路設定圧力	MPa	20.6~24.5	20.6~24.5	24.5~25.0	20.6~24.5	20.6~24.5		
油圧装置	以 足 几 刀	性能測定条件 (エンジン:定格回路, (油温:50±5℃)	kg/cm <sup>2</sup>	210~250	210~250	250~255	210~250	210~250		
		アウターレース取付け ボルトの締付けトルク	N·m	245	245	245	245	245		
	トの締付け		kg•m	25. 0	25. 0	25. 0	25. 0	25. 0		
動		インナーレース取付け ボルトの締付けトルク	N·m	245	245	245	245	245		
カ			kg•m	25. 0	25. 0	25. 0	25. 0	25. 0		
伝		油圧モーター取付けオルトの締付けトルク	N·m	245	245	245	245	245		
達	締付け		kg•m	25. 0	25. 0	25. 0	25. 0	25. 0		
装		旋回減速機取付けボルトの締付けトルク	N·m	245	245	245	245	245		
置		1 AMPLIATY 1 / 5 /	kg•m	25. 0	25. 0	25. 0	25. 0	25. 0		
	1・新声甘淮値☆									

WOOD4001~   WOOD3001~   WPO03001~   WPO03001~   WPO03001~   WPO03001~   WPO03001~   WPO03001~   WPO03001~   WPO03001~   WPO03001~   WPO03001   WPO0300	80VX3	80V4	55N3	55N4					
300   300   300   300   300   300   (10)   (10)   (10)   (50±5)   (50±5)   (50±5)   (50±5)   (50±5)   (50±5)   (50±5)   (22 参照   図 2 参照   図 2 参照   図 2 参照   図 2 参照   (50±5)   (50±5	₩K004001~	₩K020001~	₩P003001~	₩P004001~					
(10) (10) (10) (10) (10) (10) (50±5) (50				検 査	基	準	値		
(50±5) (50±5) (50±5) (50±5) (50±5) (50±5) (22参照 図2参照 図2参照 図2参照 図2参照 図2参照 図2参照 (50±5) (50±	300	300	300	300					
10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1									
20 20 20 20 20 20 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	図2参照	図2参照	図2参照	図2参照					
10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1	10	10	10	10					
10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 図 2 参照 (50±5) 図 2 参照 (50±5) 図 2 参照 (50±5)	20	20	20	20					
	10	10	10	10					
(50±5) (50±5) (50±5) (50±5) (50±5) (4.1 4.2 5.0 3.7 4.8 3.9 3.9 3.3 3.6 2.9 3.9 4.1 3.8 3.6 2.9 3.2 2.9 2.9 2.9 3.2 2.9 2.9 2.9 図3参照 図3参照 図3参照 図3参照 図3参照 図3参照 図3参照 図3参照	10	10	10	10					
4.8 3.9 3.9 3.9 3.9 3.9 3.3 3.9 3.3 3.9 3.2 2.9 2.9 2.9 2.9 2.9 2.9 2.9 2.50 25.0 25.0 25.0 25.0 25.0 25.0 25.0									
4.1   3.8   3.6   2.9   3.9   4.0   2.9   3.2   2.9   2.0   2.5   2.0   2	4. 1	4. 2	5. 0	3. 7					
2.9     3.2     2.9     2.9       図 3 参照     図 3 参照     図 3 参照       24.5~25.0     21.6~24.5     24.5~25.0     20.6~24.5       250~255     220~250     250~255     210~250       245     245     245     245       25.0     25.0     25.0     25.0       245     245     245     245       25.0     25.0     25.0     25.0       245     245     245     245       25.0     25.0     25.0     25.0       245     245     245     245       25.0     25.0     25.0     25.0       245     245     245     245       25.0     25.0     25.0     25.0									
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$									
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	図3参照	図3参照	図3参照	図3参照					
245     245     245     245       25.0     25.0     25.0     25.0       245     245     245     245       25.0     25.0     25.0     25.0       245     245     245     245       25.0     25.0     25.0     25.0       245     245     245     245       245     245     245     245	24.5~25.0	21.6~24.5	24. 5~25. 0	20.6~24.5					
25. 0     25. 0     25. 0     25. 0       245     245     245     245       25. 0     25. 0     25. 0     25. 0       245     245     245     245       25. 0     25. 0     25. 0     25. 0       245     245     245     245	250~255	220~250	250~255	210~250					
25. 0     25. 0     25. 0     25. 0       245     245     245     245       25. 0     25. 0     25. 0     25. 0       245     245     245     245       25. 0     25. 0     25. 0     25. 0       245     245     245     245									
245     245     245       25.0     25.0     25.0       245     245     245       25.0     25.0     25.0       245     245     245       25.0     25.0     25.0       245     245     245	245	245	245	245					
25. 0     25. 0     25. 0     25. 0       245     245     245     245       25. 0     25. 0     25. 0     25. 0       245     245     245     245	25. 0	25. 0	25. 0	25. 0					
245     245     245       25.0     25.0     25.0       245     245     245	245	245	245	245					
25. 0     25. 0     25. 0     25. 0       245     245     245     245	25. 0	25. 0	25. 0	25. 0					
245 245 245 245	245	245	245	245					
	25. 0	25. 0	25. 0	25. 0				 	
25. 0	245	245	245	245					
	25. 0	25. 0	25. 0	25. 0					

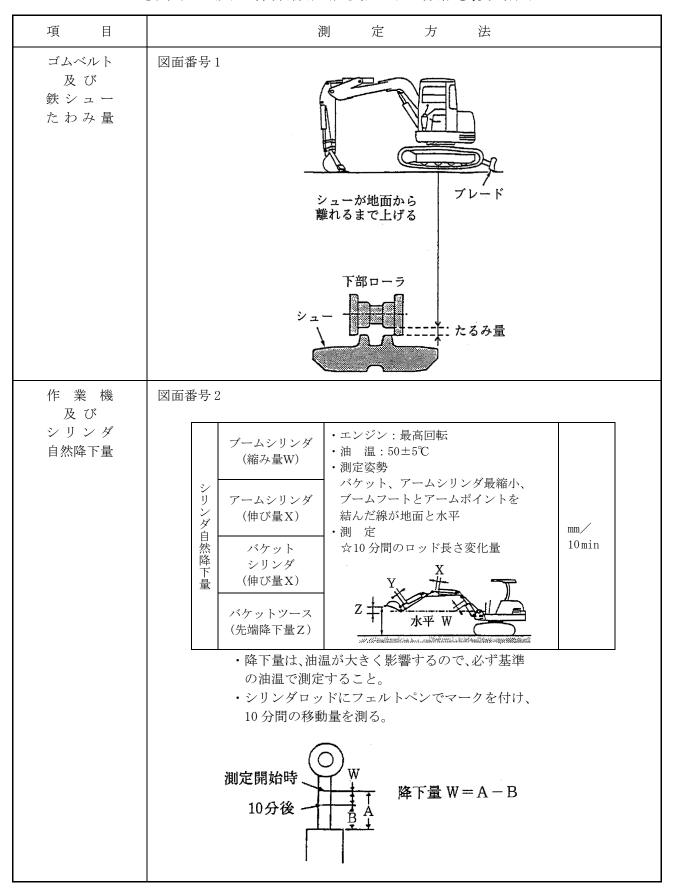
j	適用範囲	モデル	名	10VZ2	20VZ	30VZ	40VZ	50VZ
		適用号	機	BS003001∼	BT002001∼	₩T001001~	XD000001~	XA000001∼
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位		検 査	基	準 値	
	エンジン本体	エンジン回転速度						
		ハイアイドリング	$\min^{-1}$	$3000 \pm 25$	$2570 \pm 25$	$2400 \pm 25$	2510±25	$2590 \pm 25$
		ローアイドリング	$\min^{-1}$	$1400 \pm 50$	$1375 \pm 25$	$1050 \pm 25$	1100±25	1100±25
		(冷 却 水 温) (作 動 油 温)	(℃) (℃)	$(70\sim80)$ $(50\sim60)$	$(70\sim80)$ $(50\sim60)$	$(70\sim80)$ $(50\sim60)$	$(70\sim80)$ $(50\sim60)$	$(70\sim80)$ $(50\sim60)$
		弁 隙 間						
エ		吸気弁 隙間	mm	$0.2\pm 0.05$				
ン		排気弁 隙間	mm	$0.2\pm 0.05$	$0.2\pm0.05$	$0.2\pm0.05$	$0.2\pm0.05$	$0.2\pm 0.05$
		(測定条件)	(℃)	(冷間)	(冷間)	(冷間)	(冷間)	(冷間)
ジ		圧縮圧力又は 気筒間圧縮圧力差	MPa kg/cm²	3. 14~2. 45 34~25	3. 24 33	3. 43 35	3. 43 35	3. 43 35
ン		(冷 却 水 温) (回 転 速 度)	(°C) (rpm)	(50 以上) (200)	(50 以上) (250)	(50 以上) (250)	(50 以上) (250)	(50 以上) (250)
	燃料装置		MPa	11.8	11.8~12.8	21.6~22.6	21.6~22.6	21.6~22.6
		燃料噴射開始圧力	$kg/cm^2$	120	120~130	220~230	220~230	220~230
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り	mm	7~10	7~10	7~10	7~10	7~10
		測定位置・条件		オルタネータ〜 ファンフ゜ーリ	オルタネータ〜 ファンフ゜ーリ	オルタネータ〜 ファンフ゜ーリ	オルタネータ <i>〜</i> ファンフ゜ーリ	オルタネータ〜 ファンフ゜ーリ
		(中間を指で押す力)	(kg)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)
	走 行 性 能	最高速度	秒/5回	高速	高速	高速	高速	高速
		(クローラベルト		25±3 低速	23±3 低速	20±3 低速	20±3 低速	25±3 低速
		5 回転の速度)		52±3	$40 \pm 3$	$30 \pm 3$	31±3	$35 \pm 3$
	履帯	ゴ 張り(たわみ量) ム	mm	10~20	10~20	10~20	10~20	10~20
走	ベルト)	ベ 測定方法・条件 ル (図面番号表示) ト		図1参照	図1参照	図1参照	図1参照	図1参照
行		張り(たわみ量)	mm		30~50	30~50	30~50	30~50
装		測定方法・条件 (図面番号表示)		_	図1参照	図1参照	図1参照	図1参照
		サンクピッチの伸び	mm		93	104	104	137
置		シ		_	(1リンク)	(1リンク)	(1リンク)	(1リンク)
		履板取付けボルト	N·m					216
		締付けトルク	kg•m	_	溶接	溶接	溶接	22. 0
Щ	]:新車基準値を							

	<u> </u>	L 基	準 値		

į	適用範囲	モデル	名	10VZ2	20VZ	30VZ	40VZ	50VZ		
		適用号	機	BS003001∼	BT002001∼	WT001001∼	XD000001∼	XA000001~		
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位		検 査	基	準 値			
	作業機 自然降下	バケット先端位置	mm	400	400	300	400	100		
		(測 定 時 間) (作 動 油 温)	(分) (℃)	(10) (50±5)	$(10)$ $(50\pm 5)$	$(10)$ $(50\pm 5)$	(10) (50±5)	(10) (50±5)		
		作業装置姿勢 (図面番号表示)		図2参照	図2参照	図2参照	図2参照	図2参照		
作	シリンダー 自 然 伸 縮	ブームシリンダー	mm	30	30	10	10	30		
		アームシリンダー	mm	30	30	20	20	30		
業		バケットシリンダー	mm	10	10	10	10	10		
		ブレードシリンダー 作業装置姿勢	mm	10	10	10	10	15		
装		(図面番号表示) (作 動 油 温)	(℃)	図2参照 (50±5)	図2参照 (50±5)	図2参照 (50±5)	図2参照 (50±5)	図2参照 (50±5)		
	作業機速度	ブーム上げ	sec	5. 5	4.6	4. 7	4.8	5. 6		
置		アームシリンダー伸ばし 縮 め	sec sec	6. 0 4. 8	4. 2 3. 9	4. 5 3. 9	4. 3 4. 5	4. 2 3. 7		
旦		バケットシリンダー伸ばし 縮 め	sec sec	4. 1 3. 2	3. 5 3. 0	3. 9 2. 8	4. 0 2. 8	3. 7 2. 4		
		性能測定条件 (図面番号表示)		図3参照	図3参照	図3参照	図3参照	図3参照		
N.	油圧回路設定圧力	主回路設定圧力	MPa	17.1~18.6	19.6~21.1	20.6~22.1	23.5~25.0	24.5~25.0		
油圧装置	<b></b> 放 足 圧 刀	性能測定条件 (エンジン:定格回路) (油温:50±5℃)	kg/cm <sup>2</sup>	175~190	200~215	210~226	240~255	250~255		
		アウターレース取付けボルトの締付けトルク	N·m	108	108	108	108	245		
	トの締付け		kg•m	11.0	11.0	11.0	11.0	25. 0		
動		インナーレース取付け ボルトの締付けトルク	N·m	108	108	108	108	245		
カ			kg•m	11.0	11.0	11.0	11.0	25. 0		
伝		油圧モーター取付けボルトの締付けトルク	N·m							
達	締付け	TO SEASTING THE PROPERTY OF PR	kg•m							
装		旋回減速機取付けボルトの締付けトルク	N·m	108	108	256	256	256		
置		1. 《フ州中刊3.4.7 ドラビン	kg•m	11. 0	11. 0	26. 0	26. 0	26. 0		
		-t- 1	1	1	i .	l .	l .	l .		

	<u> </u>	L 基	<u></u> 準 値		

履帯張り及び作業機性能測定時の機械姿勢略図



	項目				
	作業機速度 /リンダ速度)	図面番号3			
ブームシ	上 げ (バケット接地 シリンダ最伸長	) 最縮小 ・測 定 ☆シリンダ	秒	・バケット無負荷(空・レバー操作は速くす・上げは、クッションス (除くクッションス・下げは、バケットが (着地直前でレバースを地面に打ち当てな	る。 (の手前まで トローク) (地面に付くまで。 を戻し、バケット (いようにする)
リンダ	下 げ (シリンダ最伸身 ☆ バケット接地	1 1 1		・上下各 3 回、各々 <i>0</i>	) 平均値。
アームシ	シリンダ伸長 (アーム引き)	・エンジン:最高回転 ・油 温:50±5℃ ・測定姿勢	秒	・バケット無負荷(空 ・レバー操作は速くす ・引きは、クッションス (除くクッションス クッション無しのシ ロークエンドまで ・押しは、ストローク	る。 (の手前まで トローク) (リンダは、スト
リンダ	シリンダ縮小 (アーム押し)	最縮小 最伸長 等角度に振り分ける ・測 定 ☆シリンダフルストロークの時間		・上下各3回、各々の	平均値。
バケット	シリンダ伸長 (バケット掘削)	・エンジン:最高回転 ・油 温:50±5℃ ・測定姿勢: - 最伸長 - 最縮小	秒	・バケット無負荷(空) ・レバー操作は速くす ・回転角をほぼ等分す ・掘削・放土各3回、	る。 る姿勢にする。
シリンダ	シリンダ縮小 (バケット放土)	・測 定 ☆シリンダフルストロークの時間	70		

# ・クレーン時の旋回速度測定

適用範囲		モデル	名	30VX3	30V4	35VX3	35V4	40VX3
		適用号	機	₩S004001~	₩S010001~	₩F004001~	₩F010001~	₩G004001~
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位		検 査	基	準 値	
達動	掘削時の 旋回速度	2回転の所要時間 エンジン最高回転	秒	13	15	13. 5	15	16
装力置伝	クレーン 時の旋回 速度	2回転の所要時間 クレーン時設定回転	秒	20	22	20	22	23

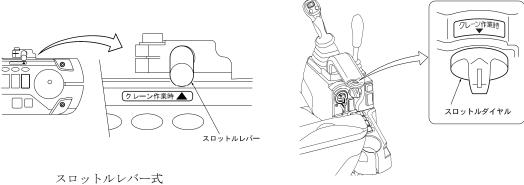
適用範囲		モデル	名	40V4	40V4-F	45VX3	50V4	50V4-F
		適用号	機	₩G010001~	₩G020001~	WY004001∼	WY010001∼	WY020001∼
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位		検 査	基	準 値	
達動装力	掘削時の旋回速度	2回転の所要時間 エンジン最高回転	秒	14	14	13	14	14
置伝	クレーン 時の旋回 速度	2回転の所要時間 クレーン時設定回転	秒	21	21	18	20	20

適用範囲		モ デ ル	名	55VX3	60V4	60V4-F	80VX3	
		適用号	機	WZ004001∼	WZ010001∼	WZ020001∼	WK004001∼	
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位		検 査	基	準 値	
達動装力	掘削時の 旋回速度	2回転の所要時間 エンジン最高回転	秒	13	14	14	13. 5	
置伝	クレーン 時の旋回 速度	2回転の所要時間 クレーン時設定回転	秒	18	20	20	27	

適用範囲		モデル	名	30VZ	40VZ	50VZ		
		適用号	機	₩T001001~	XD000001~	XA000001∼		
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位		検 査	基	準 値	
達動装力	掘削時の旋回速度	2回転の所要時間 エンジン最高回転	秒	13	12	14		
置伝	クレーン 時の旋回 速度	2回転の所要時間 クレーン時設定回転	秒	20	18	23		

#### 【クレーン時の旋回速度測定】

スロットルを「クレーン作業時」の位置にする。

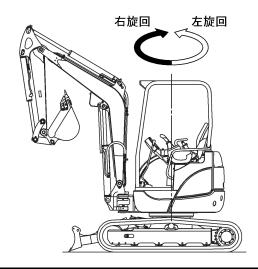


スロットルダイアル式

※V4 はスロットルを、中速回転の位置にして下さい。

#### 【検査方法】

アタッチメントシリンダを最大に伸ばした状態にし、1回転後の2回転を検査する。 また、左右共検査する



j	適用範囲	モデル	名	017 CR	020 CR	020 SR	030 SR	040 SR
		適用号	機	K0400001∼	K0500001∼	K0600001∼	K0700001∼	K0800001∼
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位		検 査	基	準 値	
	エンジン本体	エンジン回転速度						
		ハイアイドリング	$min^{-1}$	2600≧	2400≧	2400≧	2450≧	2450≧
		ローアイドリング	$\min^{-1}$	1300~1400	1300~1400	1350~1450	1100~1200	1100~1200
		(冷却水温)	(°C)	$(70\sim 90)$	$(70\sim 90)$	$(70\sim 90)$	$(70\sim 90)$	$(70\sim 90)$
		(作動油温)	(℃)	$(50\pm 5)$	$(50\pm 5)$	$(50\pm 5)$	$(50\pm 5)$	$(50\pm 5)$
		弁 隙 間						
エ		吸気弁 隙間	mm	0.15~0.18	0.15~0.18	0.15~0.18	0.18~0.22	0.18~0.22
		排気弁 隙間	mm	0.15~0.18	0.15~0.18	0.15~0.18	0. 18~0. 22	0. 18~0. 22
ン		(測定条件)		(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)
		圧縮圧力	MPa kgf/cm <sup>2</sup>	3.5~4.0 36~41	3. 2~3. 6 33~37	2.8~3.2 29~33	3. 2~3. 7 33~38	3. 2~3. 7 33~38
ジ		(冷 却 水 温) (回 転 速 度)	(°C) (min <sup>-1</sup> )	(70~90) (約 250)	(70~90) (約 250)	(70~90) (約 250)	(70~90) (約 250)	(70~90) (約 250)
ン	燃料装置		MPa	13. 7~14. 7	13. 7~14. 7	13. 7~14. 7	13. 7~14. 7	13. 7~14. 7
	<b>然                                    </b>	燃料噴射開始圧力	IVIFa	15. 7 - 14. 7	15. 7 - 14. 7	15. 7 - 14. 7	15.7 - 14.7	15. 7 - 14. 7
			kgf/cm <sup>2</sup>	140~150	140~150	140~150	140~150	140~150
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り	mm	7	7~9	7	7	7
				98N(10Kg)	58.8~68.6N (6~7Kg)	98N (10kg)	98N (10kg)	98N(10kg)
		〔測定位置・条件〕		オルタネータ~	ダイナモ~	オルタネータ~	オルタネータ~	オルタネータ~
				クランクプーリ	クランクプーリ	クランクプーリ	クランクプーリ	クランクプーリ
	走行性能	最高速度	S	8.0~9.7	7.8~9.5	7.8~9.5	7.1~8.8	7.5~9.1
		〔測定方法・条件〕		[2速]	〔2速〕	〔2速〕	〔2 速〕	〔2 速〕
				(図 No.7)	〔図 No.7〕	〔図 No.7〕	〔図 No.7〕	(図 No.7)
	履 帯 (クローラ	ず よ (たわみ量)	mm	10~15	10~15	10~15	10~15	10~15
走	ベルト)	ベ 〔測定方法・条件 ル (図面番号表示)〕		(図 No. 5)	(図 No. 5)	(図 No. 5)	(図 No. 5)	(図 No. 5)
		ト L·D寸法		D	D	D	D	D
行		張り (たわみ量)	mm	25~30	75~80	75~80	75~80	75~80
		〔測定方法・条件		〔図 No. 5〕	〔図 No. 5〕	〔図 No. 5〕	〔図 No. 5〕	(図 No. 5)
装		(図面番号表示)〕						
1		鉄 L·D寸法		D	D	D	D 400 4	D
		リンクピッチの伸び シ	mm	360	360	360	406. 4	406. 4
置		〔測定方法・条件〕		[図 No. 6]	[図 No. 6]	[図 No. 6]	(図 No. 6)	[図 No. 6]
			N.T.					
			N·m					
		〔測定方法・条件〕	kgf·m	_	_	_	_	_

	検 査	基	準 値		

-	適用範囲	モ	デ	ル	名	017 CR	020 CR	020 SR	030 SR	040 SR
		適	用	号	機	K0400001∼	K0500001∼	K0600001∼	K0700001∼	K0800001∼
区分	検査箇所	検査項目	(条何	牛)	単位		検 査	基	準 値	
	作業機	バケット先	端位置	± <u>1</u>	mm					
	自然降下	(測 定 時 (作 動 油 作業装置。 (図面番号	1 温) 姿勢	)	(min) (℃)	_	_	_	_	_
	シリンダー	ブームシリ		-	mm	25>	20≧	20≧	20>	20≧
作	自然伸縮	作業装置 (図面番号 アームシリ	表示		負荷kg mm	72 〔図 No. 1〕 15>	101 〔図 No. 1〕 11≧	86 〔図 No. 1〕 11≧	162 〔図 No. 1〕 11>	198 (図 No. 1) 11≧
		作業装置			負荷 kg	72	101	86	162	198
業		(図面番号 バケットシ 作業装置)	リンタ 姿勢	<i>"</i> —	mm 負荷 kg	図 No. 1) 10> 72	〔図 No. 1〕 10≧ 101	(図 No. 1) 10≧ 86	図 No. 1) 10> 162	[図 No. 1] 10≧ 198
		(図面番号ブレードシ			mm	〔図 No. 1〕 25≧	〔図 No. 1〕 20≧	〔図 No. 1〕 20≧	〔図 No. 1〕 20≧	〔図 No. 1〕 20≧
装		作業装置 (図面番号 (作 動 油	表示	)	(℃)	[図 No. 8] 50±5	[図 No. 8] 50±5	(図 No. 8) 50±5	[図 No.8] 50±5	(図 No. 8) 50±5
	作業機速度	ブーム上			S	$2.1\pm0.3$	$2.9\pm0.3$	$3.5\pm0.3$	$3.3\pm0.3$	$3.8\pm0.3$
置		作業装置 (図面番号 アームシリン	<del> </del> 表示 ダー(	申ばし	S	(図 No. 2) 3. 3±0. 3	(図 No. 2) 2. 8±0. 3	(図 No. 2) 2. 3±0. 3	(図 No. 2) 3. 9±0. 3	(⊠ No. 2) 4. 0±0. 3
		作業装置		宿め	S	$2.2\pm0.3$	$2.7\pm0.3$	$2.4\pm0.3$	$2.5\pm0.3$	$2.6\pm0.3$
		(図面番号	表示			[図 No. 3]	[図 No. 3]	〔図 No. 3〕	[図 No. 3]	[図 No. 3]
		バケットシリン		車ばし 宿 め	S S	$2.7\pm0.3$ $1.8\pm0.3$	$3.2\pm0.3$ $2.1\pm0.3$	$2.5\pm0.3$ $1.8\pm0.3$	$2.6\pm0.3$ $1.6\pm0.3$	$2.6\pm0.3$ $1.6\pm0.3$
		作業装置 (図面番号 性能測定	姿勢  -表示		3	1. 8上0. 3 [図 No. 4]	2.1上0.3 [図 No. 4]	1. 8上0. 3 〔図 No. 4〕	1.6±0.3 [図 No. 4]	1. 6±0. 3 (図 No. 4)
		(荷重・設力		等)		〔無負荷〕	〔無負荷〕	〔無負荷〕	〔無負荷〕	〔無負荷〕
油圧装置	油 圧 回 路 設 定 圧 力	主回路設定 (P1/P2) 性能測定			MPa kgf/cm² 油温/	21. 6 220 50±5℃/	21. 6 220 50±5℃/	20.6 210 50±5°C/	24. 5 250 50±5℃/	24. 5 250 50±5℃∕
置		THE INTINC	////		Eng	フル回転	フル回転	フル回転	フル回転	フル回転
		アウターレ ボルトの締	-		N·m	103~117	103~117	103~117	260~304	260~304
	トの締付け				kgf•m	10.5~12	10.5~12.0	10.5~12.0	26.5~31.0	26.5~31.0
動		インナーレ ボルトの締			N·m	103~117	103~117	103~117	260~304	260~304
力					kgf·m	10.5~12	10.5~12	10.5~12.0	26.5~31.0	26.5~31.0
伝	旋回減速機取付けボルト	油圧モータルトの締付			N·m	123. 6~147. 1	103~117	103~117	167~196	$167 \sim 196$
達	の締付け	シェー・ヘンルはしか(	() I'/I		kgf•m	12.6~15.0	10.5~12.0	10.5~12.0	17~20	17~20
装		旋回減速機			N·m					
置		トの締付け	トルク	7	kgf•m					
						_	_	_	_	_

<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	基	準 値	 <u> </u>	<u> </u>

j	適用範囲	モ デ ル	名	050 SR	020E SR	030E SR	040E SR	050E SR
		適用号	機	K0900001∼	K1000001∼	K1100001∼	K1200001∼	K1300001∼
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位		検 査	基	準 値	
	エンジン本体	エンジン回転速度 ハイアイドリング ローアイドリング (冷 却 水 温) (作 動 油 温)	min <sup>-1</sup> min <sup>-1</sup> (°C) (°C)	$2450 \ge$ $1150 \sim 1300$ $(70 \sim 90)$ $(50 \pm 5)$	$ 2400 \geqq \\ 1350 \sim 1450 \\ (50 \sim) \\ (50 \pm 5) $	$ 2450 \geqq \\ 1100 \sim 1200 \\ (50 \sim) \\ (50 \pm 5) $	$ 2450 \geqq \\ 1100 \sim 1200 \\ (50 \sim) \\ (50 \pm 5) $	$ 2450 ≧ 1100 \sim 1200 (50 \sim) (50 ± 5) $
工		弁 隙 間 吸気弁 隙間 排気弁 隙間	mm mm	0. 18~0. 22 0. 18~0. 22	0.145~0.185	0. 20	0. 20	0. 20
ン		(測定条件)		(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)
ジ		圧縮圧力	MPa kgf/cm <sup>2</sup>	3. 2~3. 7 33~38	2.84~3.23 29~33	$3.2 \sim 3.7$ $32.6 \sim 37.7$	$3.2\sim3.7$ $32.6\sim37.7$	2. 94~3. 23 3. 0~3. 3
		(冷 却 水 温) (回 転 速 度)	(°C) (min <sup>-1</sup> )	(70~90) (約 250)	(50∼)	(50∼)	(50∼)	(50∼)
ン	燃料装置	噴射ノズルの	MPa	13.7~14.7	13. 7	13. 73	13. 73	設定ナシ
		燃料噴射開始圧力	kgf/cm <sup>2</sup>	140~150	140	140. 0	140. 0	(コモンレール)
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り	mm	7 <b>∼</b> 9	7 <b>~</b> 9	7 <b>∼</b> 9	7 <b>∼</b> 9	7~9
		〔測定位置・条件〕		59~69N (6~7kg) オルタネータ~ クランクプーリ	6~7kgf ^i 小中央部 押さえ	6~7kgf ^゙ルト中央部 押さえ	6~7kgf ベル中央部 押さえ	6~7kgf ^゙ルト中央部 押さえ
	走行性能	最高速度	Sec/10m	7.8~9.5	8.2~10.0	7.1~8.8	7.5~9.0	7. 2~8. 8 (ゴムクロ)
		〔測定方法・条件〕		〔2速〕	〔2速〕		(SIN 7)	7.8~9.5 (鉄クロ)
		75 to 75 7 to 50		(図 No. 7)	[図 No. 7]	[図 No. 7]	(図 No. 7)	[図 No. 7]
走	履 帯 (クローラ ベルト)	ボース 張り (たわみ量) ボース (測定方法・条件 (図面番号表示)] L・D 寸法	mm	10~15 (⊠ No. 5) D	10~15 〔図 No. 5〕	10~15 〔図 No. 5〕	10~15 〔図 No. 5〕	10~15 〔図 No. 5〕
行		張り (たわみ量)	mm	80~85	75~80	75~80	75~80	80~85
装		〔測定方法・条件 (図面番号表示)〕 鉄 L・D 寸法		(図 No. 5) D	〔図 No. 5〕	(図 No. 5)	〔図 No. 5〕	(図 No. 5)
置		リンクピッチの伸びシ [測定方法・条件]	mm	540.0 〔図 No.6〕	370 〔図 No. 6〕	_	_	_
		履板取付けボルト 締付けトルク 〔測定方法・条件〕	N∙m kgf∙m		_	_	_	_

	検 査	基	準 値		

	適用範囲	モ	デ	ル	名	050 SR	020E SR	030E SR	040E SR	050E SR
		適	用	号	機	K0900001∼	K1000001∼	K1100001∼	K1200001∼	K1300001∼
区分	検査箇所	検査項目	(条付	牛)	単位		検 査	基	準 値	
	作業機自然降下	バケット先 (測 定 時 (作 動 油 作業装置: (図面番号	f 間) 由 温) 姿勢		mm (min) (°C)	_	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ
作	シリンダー 自 然 伸 縮	ブームシリ 作業装置 (図面番号 アームシリ 作業装置:	姿勢 分表示 ンダー 姿勢	)	mm 負荷 mm 負荷	20≧ バケット山積 [図 No. 1] 11≧ バケット山積	20≧ バケット山積 〔図 No. 1〕 11≧ バケット山積	20≧ バケット山積 〔図 No. 1〕 11≧ バケット山積	20≧ バケット山積 〔図 No. 1〕 11≧ バケット山積	20≧ バケット山積 〔図 No. 1〕 20≧ バケット山積
業		(図面番号 バケットシ 作業装置: (図面番号 ブレードシ 作業装置:	リンタ 姿勢 <del>  </del> 表示 リンタ	<i>i</i> — )	mm 負荷 mm	〔図 No. 1〕 10≧ バケット山積 〔図 No. 1〕 20≧	[図 No. 1] 10≧ バケット山積 [図 No. 1] 20≧			
装		(図面番号	表示	)	(℃)	(図 No. 8) 50±5	〔図 No. 8〕 50±5	[図 No. 8] 50±5	〔図 No.8〕 50±5	[図 No. 8] 50±5
	作業機速度	ブーム上作業装置			Sec	3.2±0.3	$3.5\pm0.3$	$3.7\pm0.3$	$3.7\pm0.3$	$3.4\pm0.3$
置		(図面番号 アームシリン 作業装置	⁄ ダーf ギ		Sec Sec	(図 No. 2) 3. 8±0. 3 3. 0±0. 3	(図 No. 2) 2. 3±0. 3 2. 4±0. 3	[図 No. 2] 3.9±0.3 2.5±0.3	(図 No. 2) 4. 0±0. 3 2. 6±0. 3	[ $\boxtimes$ No. 2] 3. 2 $\pm$ 0. 3 2. 6 $\pm$ 0. 3
		(図面番号 バケットシリン	¦表示 /ダー( ギ		Sec Sec	(図 No. 3) 3. 3±0. 3 2. 1±0. 3	[図 No. 3] 2.5±0.3 1.8±0.3	(図 No. 3) 2. 6±0. 3 1. 6±0. 3	(図 No. 3) 2. 6±0. 3 1. 6±0. 3	(⊠ No. 3) 3. 4±0. 3 2. 0±0. 3
		作業装置 (図面番号 性能測定 (荷重・設)	}表示 条件			〔図 No. 4〕 〔無負荷〕				
油圧装置	油圧回路設定圧力	主回路設定 (P1/P2) 性能測定	圧力		MPa kgf/cm² 油温/ Eng	25.0 255 50±5℃/ フル回転	20.6 210 50±5℃/ フル回転	24.5 250 50±5℃/ フル回転	24.5 250 50±5℃/ フル回転	24.5 250 50±5℃/ フル回転
	旋回ベアリン グ取付けボル トの締付け	アウターレ <sup>、</sup> ボルトの締			N·m kgf·m	260~304 26.5~31.0	103~118 10.5~12.0	260~304 26.5~31.0	260~304 26.5~31.0	260~304 26. 5~31. 0
動		インナーレ <sup>、</sup> ボルトの締 <sup>々</sup>			N·m	260~304	103~118	260~304	260~304	260~304
力			,,,,	,. ,	kgf•m	26.5~31	10.5~12.0	26.5~31.0	26.5~31.0	26.5~31.0
伝	旋回減速機 取付けボルト	油圧モータルトの締付			N·m	260~304	103~118	166.7~196.1	166.7~196.1	260~304
達	の締付け				kgf•m	26.5~31.0	10.5~12.0	17~20	17~20	26.5~31.0
装置		旋回減速機トの締付け			N·m kgf·m	_	_	_	_	_

<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	基	準 値	 <u> </u>	<u> </u>

#### シリンダの自然降下量

〔測定要領〕

- 1. 水平な場所に機械を置く。バケット山積負荷とする。
- 2. アームシリンダを一杯縮め、バケットシリンダ を一杯伸ばす。
- 3. バケットの底面地上高さを、1m程度の位置にする。
- 4. ブーム、アーム、バケットのシリンダロッドに印 をつける。
- 5. 10 分間後の降下量を、スケールで測定する。 油温:50±5℃

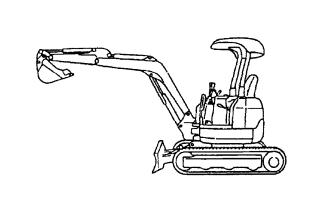
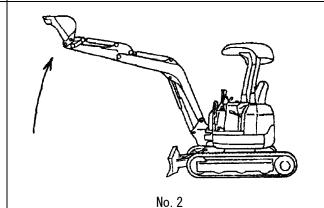


図 No. 1

#### ブームシリンダ

- 1. アームシリンダ、バケットシリンダを最縮小。
- 2. エンジンを最高回転にする。
- 3. 接地→シリンダエンド間の所要時間を測定する。

注、クッション作動時間は含まない。



#### アームシリンダ

- 1. ブーム、アームを図の状態にする。
- 2. エンジンを最高回転にする。
- 3. アームシリンダのフルストロークの所要時間を 測定する。

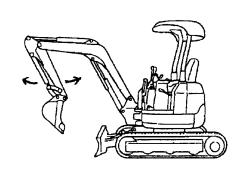


図 No. 3

#### バケットシリンダ

- 1. ブーム、アームを図の状態にする。
- 2. エンジンを最高回転にする。
- 3. バケットシリンダのフルストロークの所要時間 を測定する。

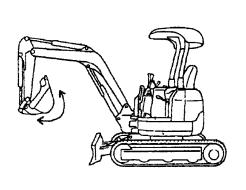


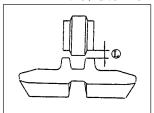
図 No. 4

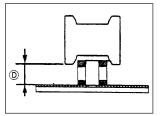
#### クローラの張り

注) ゴムクローラの場合は継目マーク(∞)を上部中央にくるようにして調整する。

調整後1~2回クローラを回して張代を確認する。

クローラ部を浮かす



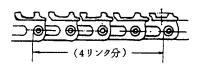


トラックローラの踏面と、リンク踏面とのすき間L又Dを測定する。

図 No. 5

#### 鉄シューリンクピッチの伸び

測定方法



- ▼スタピンから1~2リンク離れた4リンク分を 測定する。
- シューリンクを張った状態で測定すること。

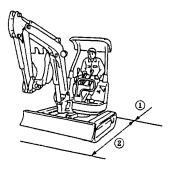
図 No. 6

#### 走行性能

最高速度測定方法

条件

作動油温度:50±5℃



- 走行姿勢にし、各速度の最高速度が得られるまで助走する。
- 10m間の所要時間を測定する。

①助走

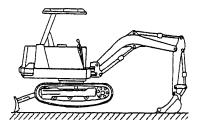
②測定区間(10m)

図 No. 7

#### ブレードシリンダ自然伸縮

測定方法 条件

作動油温度:50±5℃



- フロントとブレードを使用し上図のように車体 を持ち上げる。
- ブレードのシリンダロッドに印を付ける。
- ▶ 10分後の降下量をスケールで測定する。

図 No.8

)	適用範囲	モ デ ル	名	303C CR	303. 5D CR	304C CR	305D CR	305. 5D CR
		適用号	機	GYZ00001∼	SEG00001∼	STB00001∼	₩CJ00001~	YHS00001∼
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位		検 査	基	準 値	
	エンジン本体	エンジン回転速度						
		ハイアイドリング ローアイドリング (冷 却 水 温)	rpm rpm (°C)	$2550 \pm 50$ $1150 \pm 50$	$2450 \pm 50$ $1180 \pm 50$	$2570 \pm 50$ $1140 \pm 110$	$2570 \pm 50$ $1140 \pm 110$	$2570 \pm 50$ $1140 \pm 110$
		(作動油温)	(°C)	55±5	55±5	55±5	55±5	55±5
デ		弁 隙 間						
イ ]		吸気弁 隙間 排気弁 隙間	mm mm	0. 25 0. 25	0. 25 0. 25	0. 25 0. 25	0. 25 0. 25	0. 25 0. 25
ゼ		[測 定 条 件]		(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)
ル		圧縮圧力	kgf/cm² MPa	30 2. 9	23~31 2.3~3.0	30 2. 9	26~30 2.5~2.9	26~30 2.5~2.9
エン		気筒間圧縮圧力差 (冷 却 水 温) (回 転 速 度)	MPa (°C) (rpm)	$-40$ $150\sim200$	$-40$ $150\sim200$	20~30 150~200	20~30 150~200	20~30 150~200
ジ	燃料装置	噴射ノズルの 燃料噴射開始圧力	kgf/cm <sup>2</sup>	14	137	120+10	120+10	140~150
ン			MPa	1. 3	13. 5	11. 77 <sup>+0</sup> . 98 -0	11. 77 +0. 98 -0	13. $7 \sim 14.7$
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り	mm	10~12 オルタネータ	8~11 オルタネータ	8~11 オルタネータ	8~11 オルタネータ	8~11 オルタネータ
		測定位置・条件 (kg とNの両方で 表記)	kg N	プーリ間 押し付け力 10kgf 100N	プーリ間 押し付け力 10kgf 100N	プーリ間 押し付け力 10kgf 100N	プーリ間 押し付け力 10kgf 100N	プーリ間 押し付け力 10kgf 100N
	走 行 性 能	最高速度 測定方法・条件	秒	14. 0 エンジンハイ アイドル トラック 3 回空転	17. 4±1. 3 エンジンハイ アイドル 20m 走行 (高速)	15.8±1.0 エンジンハイ アイドル 20m 走行 (高速)	15.8±1.0 エンジンハイ アイドル 20m 走行 (高速)	16.6±1.0 エンジンハイ アイドル 20m 走行 (高速)
走	履 帯 (クローラ ベルト)	張り(たわみ量) ゴムベルト (図面番号表示)	mm	10~15 クローラ継目の ○○マークがフ レーム下部中央 位置 (図 No. 5)	10~15 クローラ継目の Ωマークがフ レーム下部中央 位置 (図 No. 5)	10~15 クローラ継目の Ωマークがフ レーム下部中央 位置 (図 No. 5)	10~15 クローラ継目の Ωマークがフ レーム下部中央 位置 (図 No. 5)	10~15 クローラ継目の Ωマークがフ レーム下部中央 位置 (図 No. 5)
行		張り (たわみ量)	mm	25~35	25~35	25~35	25~35	25~35
装		測定方法・条件 (図面番号表示) 鉄		フレーム下部 (図 NO. 5)	フレーム下部 (図 NO. 5)	フレーム下部 (図 NO. 5)	フレーム下部 (図 NO. 5)	フレーム下部 (図 NO. 5)
置		リンクピッチの伸びシ 測定方法・条件 ユ	mm	135 1 リンク分	101.5 1 リンク分	_	_	_
		覆板取付けボルト 締付けトルク 測定方法・条件	Kgf∙m N∙m	$16.5 \pm 1.5$ $162 \pm 15$	_	$16.3 \pm 1.5$ $160 \pm 15$	$16.3 \pm 1.5$ $160 \pm 15$	$16.3 \pm 1.5$ $160 \pm 15$

	T	T	T		T	T	ı	1
303. 5E CR	303. 5E CR	304E CR	304E CR	305E CR	305E CR	305. 5E CR	305. 5E CR	
${ m SFH00001}{\sim}$	RSE00001∼	SSC00001~	TSR00001∼	WDL00001 $\sim$	XSC00001∼	YGB00001∼	FSC00001~	
			検 査	基	準 値			
2540~2640 1090~1190	2540~2640 1090~1190	2360~2460 1010~1110	2360~2460 1010~1110	2360~2460 970~1120	2360~2460 970~1120	2540~2640 950~1100	2540~2640 950~1100	
50~60	50~60	50~60	50~60	50~60	50~60	50~60	50~60	
0.18~0.22 0.18~0.22 (冷態時)								
(11) (2) (7)	(山)容时)	(山)容时)	(山凉吋)	(山)(2017)	(山)深时)	(山凉时)	(山塚町)	
2. 35	2. 35	2.35	2. 35	2. 35	2. 35	2. 35	2. 35	
スタータモータ								
2段式 18.6 22.6								
7~9 オルタネータ プーリ間 押し付け力 98N								
15.9~17.9 エンジンハイ アイドル 20m 走行 (高速)								
10~15 クローラ継目の Ωマークがフ レーム下部中央 位置 (図 No. 5)								
25~35	25~35	25~35	25~35	25~35	25~35	25~35	25~35	
フレーム下部 (図 NO. 5)								
_	_	_	_	-	_	_	_	
_	_	75~95	75 <b>~</b> 95	162±15	162±15	162±15	162±15	

-	適用範囲	モデル	名	303C CR	303. 5D CR	304C CR	305D CR	305. 5D CR
		適用号	機	GYZ00001~	SEG00001~	STB00001∼	₩CJ00001~	YHS00001∼
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位		検 査	基	準 値	
	作業機自然降下	バケット先端位置 (測 定 時 間) (作 動 油 温) 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm (分) (℃)	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ
作		ブームシリンダー アームシリンダー バケットシリンダー ブレードシリンダー (測 定 時 間) (作 動 油 温) 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm mm mm (分) (℃)	2. 5 6. 0 6. 0 2. 0 3 55±5	2 5 5 2 3 55±5 図 NO. 1	2 10 5 2 3 55±5	2 5 5 2 3 55±5 図 NO. 1	2 5 5 2 3 55±5 図 NO. 1
業		バケット荷重	kg	210	150	210	210	210
	作業機速度	ブ ー ム 伸 び 縮 め 作業装置姿勢	秒 秒	$2.9\pm0.5$ $2.6\pm0.5$	$2.8\pm0.4$ $3.1\pm0.4$	$2.6\pm0.4$ $2.7\pm0.4$	$2.6\pm0.4$ $2.7\pm0.4$	$2.8\pm0.4$ $2.5\pm0.4$
装		(図面番号表示) アームシリンダー伸び 縮め 作業装置姿勢	秒 秒	図 NO. 2 3. 6±0. 5 2. 9±0. 5	図 NO. 2 2. 9±0. 4 2. 4±0. 4	図 NO. 2 3. 2±0. 4 2. 6±0. 4	図 NO. 2 3. 2±0. 4 2. 6±0. 4	図 NO. 2 3. 4±0. 4 2. 9±0. 4
置		(図面番号表示) バケットシリンダー伸び 縮め	秒 秒	図 NO. 3 3. 1±0. 5 2. 1±0. 5	図 NO. 3 2. 6±0. 4 2. 7±0. 4	図 NO. 3 3. 1±0. 4 2. 0±0. 4	図 NO. 3 3. 1±0. 4 2. 0±0. 4	図 NO. 3 2. 6±0. 4 3. 1±0. 4
		作業装置姿勢 (図面番号表示) (作 動 油 温) 性能測定条件	(°C)	図 NO. 4 55±5	図 NO. 4 55±5	図 NO. 4 55±5	図 NO. 4 55±5	図 NO. 4 55±5
		(荷重・設定モード等)			エンジンハイ アイドル・バ ケット空荷			エンジンハイ アイドル・バ ケット空荷
油	油圧回路図設定圧力	主回路設定圧力	kgf/cm <sup>2</sup>	250 +10 -0	$250 \pm 10$	257±8	257±8	257±8
油圧装置		性能測定条件	MPa	24. 5 +1. 0	24.5 $\pm$ 1.0	$25.2\pm0.8$	$25.2\pm0.8$	$25.2\pm0.8$
旦		(設定モード等)		ハイアイト゛ル	ハイアイト゛ル	ハイアイト゛ル	ハイアイト゛ル	ハイアイト゛ル
	旋回ベアリン グ取付けボル	アウターレース取付け ボルトの締付けトルク	kgf•m	10.5 $\pm$ 0.5	10.7 $\pm$ 2.0	10.7±2.0	_	_
動	トの締付け		N·m	105±5	$105 \pm 20$	$105\pm20$	$105\pm20$	$105\pm20$
力		インナーレース取付け ボルトの締付けトルク	kgf•m	10.5 $\pm$ 0.5	10.7 $\pm$ 2.0	10.7 $\pm$ 2.0	_	_
伝		・グ・バモー マンかけじまり モントン	$N \cdot m$	105±5	$105 \pm 20$	$105 \pm 20$	$105 \pm 20$	$105 \pm 20$
達	旋回減速機取 付けボルトの	油圧モーター取付けボ ルトの締付けトルク	kgf·m	24.5±4.1	24.5±4.1	24.5±4.1	_	_
装	締付け		N·m	$240 \pm 40$	$240 \pm 40$	$240 \pm 40$	$240 \pm 40$	$240 \pm 40$
置		旋回減速機取付けボル トの締付けトルク	kgf•m	$24.5 \pm 4.1$	$24.5 \pm 4.1$	$24.5 \pm 4.1$	_	_
			N·m	$240 \pm 40$	$240 \pm 40$	$240 \pm 40$	$240 \pm 40$	$240 \pm 40$

303. 5E CR	303. 5E CR	304E CR	304E CR	305E CR	305E CR	305. 5E CR	305. 5E CR	
SFH00001∼	RSE00001∼	SSC00001~	TSR00001~	WDL00001∼	XSC00001∼	YGB00001∼	FSC00001~	
	T	T	検 査	基	準 値	T	T	
設定ナシ								
2 8 5 2 3 55±5	2 5 5 2 3 55±5	2 8 5 2 3 55±5	2 5 5 2 3 55±5	2 10 5 2 3 55±5	2 10 5 2 3 55±5	2 10 5 2 3 55±5	2 10 5 2 3 55±5	
図 NO. 1 120	図 NO. 1 200	図 NO. 1 150	図 NO. 1 200	図 NO. 1 210	図 NO. 1 200	図 NO. 1 210	図 NO. 1 200	
2. 4~3. 2 2. 0~2. 8	2. 4~3. 2 2. 0~2. 8	2. 4~3. 2 2. 1~2. 9	2. 4~3. 2 2. 1~2. 9	2. 2~3. 0 2. 3~3. 1	2. 2~3. 0 2. 3~3. 1	2. 4~3. 2 2. 1~2. 9	2. 4~3. 2 2. 1~2. 9	
⊠ N0. 2 2. 5~3. 3 2. 0~2. 8	図 N0. 2 2. 5~3. 3 2. 0~2. 8	図 N0. 2 2. 7~3. 5 2. 2~3. 0	図 N0. 2 2. 7~3. 5 2. 2~3. 0	図 N0. 2 2. 8~3. 6 2. 2~3. 0	図 N0. 2 2. 8~3. 6 2. 2~3. 0	図 NO. 2 3. 0~3. 8 2. 5~3. 3	図 NO. 2 3. 0~3. 8 2. 5~3. 3	
図 NO. 3 2. 2~3. 0 1. 7~2. 5	図 NO. 3 2. 2~3. 0 1. 7~2. 5	図 NO. 3 2. 2~3. 0 1. 8~2. 6	図 NO. 3 2. 2~3. 0 1. 8~2. 6	図 NO. 3 2. 7~3. 5 1. 6~2. 4	図 N0.3 2.7~3.5 1.6~2.4	図 NO. 3 2. 7~3. 5 1. 6~2. 4	図 NO. 3 2. 7~3. 5 1. 6~2. 4	
図 NO. 4 40~60	図 NO. 4 40∼60	図 NO. 4 40~60	図 NO. 4 40∼60	図 NO. 4 40∼60	図 NO. 4 40~60	図 NO. 4 40~60	図 NO. 4 40~60	
エンジンハイ アイドル・バ ケット空荷								
24500~ 26000								
ハイアイト゛ル								
_	_	_	_	_	_	_		
105±20	105±20	105±20	105±20	105±20	105±20	105±20	105±20	
_	_	_	_	_	_	_	_	
105±20	$105 \pm 20$	105±20	105±20					
	_	_	_	_	_		_	
$240 \pm 40$								
_	_	_	_	_	_	_	_	
$240 \pm 40$								

		モデル	名	303. 5E2 CR	304E2 CR	305E2 CR	305. 5E2 CR	303E CR
j	適用範囲	適用号	機	CR9/AC5/ CR6/DWD 00001~	GC5/HC5/ FC2/KC4 00001~	BZ5/DF5/ PYR/R5C/ 00001~	NC5/FR5/ SHW/HRX 00001~	SMG/CR7/ CK3/FR3 00001~
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位		検 査	基	準 値	
	エンジン本体	エンジン回転速度						
		ハイアイドリング ローアイドリング (冷 却 水 温) (作 動 油 温)	rpm (°C) (°C)	$2400 \sim 2500$ $1330 \sim 1480$ $50 \sim 60$	$2200 \sim 2300$ $1030 \sim 1180$ $50 \sim 60$	$2200 \sim 2300$ $1030 \sim 1180$ $50 \sim 60$	$2400 \sim 2500$ $1030 \sim 1180$ $50 \sim 60$	$2500 \sim 2600$ $1500 \sim 1550$ $50 \sim 60$
デ		弁 隙 間	( 0 /				00 00	
イ 		吸気弁 隙間 排気弁 隙間	mm mm	0. 18~0. 22 0. 18~0. 22	0. 13~0. 17 0. 13~0. 17	0. 13~0. 17 0. 13~0. 17	0. 13~0. 17 0. 13~0. 17	0. 145~0. 185 0. 145~0. 185
ゼ		[測 定 条 件]		(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)
ルエ		圧縮圧力 気筒間圧縮圧力差 (冷 却 水 温)	kgf/cm² MPa MPa (°C)	2.95~3.23	3. 20	3. 20	3. 20	_ 3.7∼4.11
ン		(回転速度)	(rpm)	スタータモータ	250 rpm	250 rpm	250 rpm	スタータモータ
ジ	燃料装置	噴射ノズルの 燃料噴射開始圧力	kgf/cm <sup>2</sup>	-	設定ナシ (コモンレール)	設定ナシ (コモンレール)	設定ナシ (コモンレール)	_
ン			MPa	18. 63	(1200)	(1 ( ) ) ) )		13. 73
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り 測定位置・条件 (kg と N の両方で 表記)	mm kg N	7〜9 オルタネータ プーリ間 押し付け力 98N	7~9 オルタネータ プーリ間 押し付け力 98N	7~9 オルタネータ プーリ間 押し付け力 98N	7~9 オルタネータ プーリ間 押し付け力 98N	7〜9 オルタネータ プーリ間 押し付け力 98N
	走 行 性 能	最高速度 測定方法・条件	秒	15.6~17.6 エンジンハイ アイドル 20m 走行 (高速)	14.8~16.8 エンジンハイ アイドル 20m 走行 (高速)	15. 2~17. 2 エンジンハイ アイドル 20m 走行 (高速)	14.5~16.5 エンジンハイ アイドル 20m 走行 (高速)	15.0~17.0 エンジンハイ アイドル 20m 走行 (高速)
走	履 帯 (クローラ ベルト)	張り(たわみ量) ゴムベルト (図面番号表示)	mm	10~15 クローラ継目の Ωマークがフ レーム下部中央 位置 (図 No. 5)	10~15 クローラ継目の Ωマークがフ レーム下部中央 位置 (図 No. 5)	15~20 クローラ継目の Ωマークがフ レーム下部中央 位置 (図 No. 5)	15~20 クローラ継目の Ωマークがフ レーム下部中央 位置 (図 No. 5)	10~15 クローラ継目の Ωマークがフ レーム下部中央 位置 (図 No. 5)
行		張り (たわみ量)	mm	25~35	25~35	25~35	25~35	25~35
装		測定方法·条件 (図面番号表示) 鉄		フレーム下部 (図 NO. 5)				
置		シ リンクピッチの伸び 測定方法・条件	mm	_	_	_	_	_
		覆板取付けボルト 締付けトルク 測定方法・条件	Kgf·m N·m	_	75 <b>~</b> 95	75 <b>~</b> 95	75 <b>~</b> 95	

		基	準値		
	検査	-	中 旭		

		モデル	名	303. 5E2 CR	304E2 CR	305E2 CR	305. 5E2 CR	303E CR
-	適用範囲	適用号	機	CR9/AC5/ CR6/DWD 00001~	GC5/HC5/ FC2/KC4 00001~	BZ5/DF5/ PYR/R5C/ 00001~	NC5/FR5/ SHW/HRX 00001~	SMG/CR7/ CK3/FR3 00001~
区分	検査箇所	   検査項目(条件)	単位	00001	000017°   検 査	基	準 値	00001
凸刀	作業機	バケット先端位置	mm		快 且	ح	中 旭	
	自然降下	(測 定 時 間) (作 動 油 温) 作業装置姿勢 (図面番号表示)	(分) (℃)	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ
		ブームシリンダー	mm	2	2	2	2	2
	自然伸縮	アームシリンダー バケットシリンダー	mm mm	8 5	8 5	10 5	10 5	8 5
作		ブレードシリンダー	mm	2	2	2	2	2
		(測定時間)	(分)	3	3	3	3	3
		(作動油温) 作業装置姿勢	(℃)	55±5	55±5	55±5	55±5	55±5
業		(図面番号表示) バケット荷重	kg	図 NO. 1 120	図 NO. 1 200	図 NO. 1 150	図 NO. 1 200	図 NO. 1 120
	作業機速度	ブーム伸び	秒	1.6~2.4	2.2~3.0	2.3~3.1	1.7~2.5	2.4~3.2
		縮 め 作業装置姿勢	秒	1.7~2.5	2.2~3.0	1.9~2.7	2.3~3.1	2.7~3.5
装		(図面番号表示)		図 NO. 2	図 NO. 2	図 NO. 2	図 NO. 2	図 NO. 2
		アームシリンダー伸び	秒	2.0~2.8	2.6~3.4	2.9~3.7	2.9~3.7	2.5~3.3
		縮め	秒	1.6~2.4	2.1~2.9	2.3~3.1	1.8~2.6	2.0~2.8
		作業装置姿勢 (図面番号表示)		図 NO. 3	図 NO. 3	図 NO. 3	図 NO. 3	図 NO. 3
置		バケットシリンダー伸び	秒	1.9~2.7	2. 2~3. 0	2.3~3.1	1.9~2.7	2. 2~3. 0
		縮め	秒	1.3~2.1	1.5~2.3	1.3~2.1	1.3~2.1	2.3~3.1
		作業装置姿勢 (図面番号表示)		図 NO. 4	図 NO. 4	図 NO. 4	図 NO. 4	図 NO. 4
		(作動油温)	(℃)	50~60	50~60	50~60	50~60	50~60
		性能測定条件	( 0 )					
		(荷重・設定モード等)					エンジンハイ	
				ケット空荷	アイドル·バ ケット空荷		アイドル·バ ケット空荷	アイドル·バ ケット空荷
	油圧回路図	主回路設定圧力	kgf/cm <sup>2</sup>	24450~	24450~	24450~	24450~	23500~
油	設 定 圧 力	上凹岬队仁/1//	vai/ CIII	25150	25150	25150	25150	25500
油圧装置			MPa					
装置		性能測定条件 (設定モード等)		ハイアイト゛ル	ハイアイト゛ル	ハイアイト゛ル	ハイアイト゛ル	ハイアイト゛ル
		(放化七一下寺)		/1/1r //	/1/1r //	/4/4F /V	7474F W	74/11 //
	旋回ベアリン	アウターレース取付け	kgf·m	_	_	_	_	_
	グ取付けボル	ボルトの締付けトルク		105 1 00	105   00	105   00	105   00	105   00
動	トの締付け		N·m	105±20	105±20	105±20	$105 \pm 20$	105±20
力		インナーレース取付けボルトの締付けトルク	kgf•m	_	_	_	_	_
伝		ハハレ トリノがは小り(丿 トノレク	N·m	105±20	105±20	105±20	105±20	105±20
達	旋回減速機取	油圧モーター取付けボ	kgf•m	_	_	_	_	_
	付けボルトの	ルトの締付けトルク	vgi III					
装	締付け		N·m	$240 \pm 40$	$240 \pm 40$	$240 \pm 40$	$240 \pm 40$	$100\pm20$
置		旋回減速機取付けボル	kgf•m	_	_	_	_	_
		トの締付けトルク	$N \cdot m$	$240 \pm 40$	$240 \pm 40$	240±40	240±40	100±20
ш		I		l	l	l	l	l

	検査	基	準 値		

304CCR~305CCR/303. 5DCR~305. 5DCR/ 303. 5ECR~305. 5ECR	図 NO
シリンダ自然伸縮(ブーム・アーム・バケット)	図 NO. 1
<ol> <li>エンジンを始動する。</li> <li>車両を平坦な場所に駐車させる。</li> <li>油温が55±5℃になるまで温める。</li> <li>バケットに荷積みする。</li> <li>バケットシリンダを完全に伸ばす。バケットシリンダを一杯に伸びた状態から10mm収縮させる。</li> <li>スティックシリンダを完全に収縮させた状態から10mm伸張させる。</li> <li>ブームを上下させて、バケットからスティックピンまでをブームフットピンと同じ高さにする。</li> <li>シリンダピンからシリンダピンまでの各シリンダの長さを測定する。</li> <li>エンジンを停止させる。</li> <li>車両をこの位置で3分間放置する。シリンダピンからシリンダピンまでの各シリンダの長さのドリフトを測定する。</li> </ol>	BOOM, STICK AND BUCKET CYLINDERS TEST 3050011
シリンダ自然伸縮(ブレードシリンダ)	⊠ NO. 1
<ol> <li>エンジンを始動する。</li> <li>車両を平坦な場所に駐車させる。</li> <li>油音が55±5℃になるまで温める。</li> <li>スティックが地面と垂直になるように、スティック位置を調整する。スティックを地面に下ろす。</li> <li>ブレードシリンダを完全に収縮する。ブレードシリンダを完全に収縮した状態から10mm伸張させる。</li> <li>シリンダピンからシリンダピンまでのブレードシリンダの長さを測定する。</li> <li>エンジンを停止する。</li> <li>車両をこの位置で3分間放置する。シリンダピンからシリンダピンまでのブレードシリンダの長さのドリフトを測定する。</li> </ol>	BLADE CYLINDER TEST 3050012
作業機速度(ブームシリンダ)	図 NO. 2
<ol> <li>バケットシリンダ伸びエンド、スティックシリンダ縮みエンドにして</li> <li>伸び試験・・・・バケット接地状態からブームシリンダエンド (クッション手前) までの作動時を測定する。</li> <li>縮み試験・・・・ブームシリンダ伸びエンドからバケット接地までの作動時間を測定する。</li> </ol>	RETRACTION TEST  EXTENSION TEST  BOOM CYLINDER TEST  3050013

304CCR~305CCR/303.5DCR~305.5DCR/ 303.5ECR~305.5ECR	図 NO
作業機速度(アームシリンダ)	図 NO. 3
<ol> <li>ブームの上面を地面に平行に保つ。バケットシリンダ伸びエンドにして</li> <li>伸び試験・・・・・ スティックシリンダ縮みエンドから伸びエンド迄の作動時間を測定する。</li> <li>縮み試験・・・・・ スティックシリンダ伸びエンドから縮みエンド迄の作動時間を測定する。</li> </ol>	EXTENSION RETRACTION TEST  STICK CYLINDER TEST  3050014
作業機速度(バケットシリンダ)	図 NO. 4
<ol> <li>ブームの上面を地面に平行にし、スティックを垂直に立てる。</li> <li>伸び試験・・・・バケットシリンダ縮みエンドから伸びエンド迄の作動時間を測定する。</li> <li>縮み私権・・・・バケットシリンダ伸びエンドから縮みエンド迄の作動時間を測定する。</li> </ol>	EXTENSION TEST  BUCKET CYLINDER TEST  3050015
履帯張り(ゴムクローラ)	図 NO. 5
<ol> <li>ラバーベルト下面を地面から浮かしてください。</li> <li>ラバーベルト内側の∞マークが下側位置になるように位置決めして下さい。</li> <li>中央部のトラックローラ下面と、ラバーベルト芯金上面とのクリアランス A を測定する。</li> </ol>	LU0794
履帯張り(スチールシュー)	図 NO. 5
<ol> <li>スチールトラック下面を地面から浮かせて下さい。</li> <li>スチールトラックを浮かせた状態で、中央部のトラックローラ下面とスチールトラックのクリアランス A を測定して下さい。 尚、張り調整時はトラック周りに付着している土砂などを取り除いてから実施しすること。</li> </ol>	00000

	適用範囲	モーデール	名	307D	308D CR	308D SR		
			機	ECT00001~	HSA00001∼	JPS00001∼		
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位			基		
	エンジン本体	エンジン回転速度			-			
		ハイアイドリングローアイドリング	rpm rpm	$2250 \pm 50$ $1000 \pm 25$	$2250 \pm 50$ $1000 \pm 25$	$2250 \pm 50$ $1000 \pm 25$		
		(冷 却 水 温) (作 動 油 温)	(℃) (℃)	80∼90 55±5	80∼90 55±5	80∼90 55±5		
デ		弁 隙 間	(0)	39 - 3	39 - 3	99 - 9		
イ		吸気弁 隙間	*****	0. 2	0. 2	0. 2		
1		排気弁 隙間	mm mm	0. 2	0. 2	0. 2		
		37 2021 130113						
ゼ		[測定条件]		(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)		
ル		圧縮圧力	kgf/cm <sup>2</sup>	23~29	23~29	23~29		
工		気筒間圧縮圧力差	MPa kg/cm²	2.3~2.8 —	2.3~2.8 —	2.3~2.8 —		
ン		(冷却水温) (回転速度)	(°C) (rpm)	80~90 280	80~90 280	80~90 280		
ジ	燃料装置	噴射ノズルの	$kgf/cm^2$	160	160	160		
ン		燃料噴射開始圧力	MPa	15. 7	15. 7	15. 7		
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り	mm	8~11	8~11	8~11		
		測定位置・条件 (kg とNの両方で 表記)	kg N	10 98	10 98	10 98		
	走行性能	最高速度	秒	5.0km	5.0km	5.0km		
		測定方法・条件		_	_	_		
走	履 帯 (クローラ ベルト)	張り(たわみ量) ゴムベルト (図面番号表示)	mm	鉄シュー基準と同じ	鉄シュー基準と同じ	鉄シュー基準と同じ		
行		張り (たわみ量)	mm	40~55	40~55	40~50		
装		測定方法・条件 (図面番号表示) 鉄		アイドラ キャリア間 図 NO. 10	アイドラ キャリア間 図 NO. 10	アイドラ キャリア間 図 NO. 10		
		リンクピッチの伸び	mm	616	616	616		
置		シ 測定方法・条件		4 リンクヒ <sup>°</sup> ッチ	4 リンクヒ <sup>°</sup> ッチ	4 リンクヒ <sup>°</sup> ッチ		
		覆板取付けボルト 締付けトルク	Kgf·m	25±2.5	25±2.5	25±2.5		
		測定方法・条件	N·m					
	I	<u> </u>	<u>I</u>				l	

<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	L 基	準値	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>

	適用範囲	モデル	名	307D	308D CR	308D SR		
		適用号	 機	ECT00001∼	HSA00001∼	JPS00001∼		
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位			基	準 値	
	作業機自然降下	バケット先端位置 (測 定 時 間) (作 動 油 温) 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm (分) (℃)	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ		
作業		ブームシリンダー アームシリンダー バケットシリンダー ブレードシリンダー (測 定 時 間) (作 動 油 温) 作業装置姿勢 (図面番号表示) バケット荷重	mm mm mm (分) (℃)	~11 ~25 ~12.5 ~7 5 55±5 図 NO.6 空荷	~11 ~25 ~12.5 ~7 5 55±5 図 NO.6 空荷	~11 ~25 ~12.5 ~7 5 55±5 図 NO.6 空荷		
	作業機速度	ブームシリンダー伸ばし 縮 め 作業装置姿勢	秒 秒	~4. 2 ~4. 0	~5.0 ~4.2	~6.0 ~4.8		
装		作業装直妥労 (図面番号表示) アームシリンダー伸ばし 縮 め 作業装置姿勢	秒 秒	図 NO. 7 ~4. 1 ~3. 3	図 NO. 7 ~4. 1 ~3. 3	図 NO. 7 ~5. 4 ~4. 7		
置		(図面番号表示) バケットシリンダー伸ばし 縮 め 作業装置姿勢	秒 秒	図 NO. 8 ~4. 5 ~3. 0	図 N0.8 ~5.3 ~3.8	図 NO. 8 ~4. 8 ~3. 8		
		(図面番号表示) (作 動 油 温) 性能測定条件 (荷重・設定モード等)	(℃)	図 NO.9 55±5 空荷、 ハイアイト゛ル	図 NO.9 55±5 空荷、 ハイアイドル	図 NO.9 55±5 空荷、 ハイアイドル		
	油圧回路図	主回路設定圧力		.10				
油	設定圧力	工品品以之/工//	kgf/cm <sup>2</sup>	296 <sup>+10</sup> <sub>-20</sub>	$280 \pm 5$	$280 \pm 5$		
油圧装置		性能測定条件 (設定モード等)	MPa	29.0 +1 ハイアイト゛ル	27.5±0.5	27.5±0.5		
	旋回ベアリン	アウターレース取付け	kgf•m	22±2.2	22±2.2	22±2.2		
動	グ取付けボル トの締付け	ボルトの締付けトルク	N·m	$216 \pm 22$	216±22	$216 \pm 22$		
力		インナーレース取付け	kgf•m	22±2.2	22±2.2	22±2.2		
伝		ボルトの締付けトルク	N·m	$216 \pm 22$	216±22	$216\pm22$		
達		油圧モーター取付けボ	kgf•m	18±1.0	18±1.0	18±1.0		
装	締付け	ルトの締付けトルク	N·m	$177 \pm 10$	$177 \pm 10$	$177 \pm 10$		
置		旋回減速機取付けボル トの締付けトルク	kgf•m	18±1.0	18±1.0	18±1.0		
		- 1 ペンがはしまれて 1.7を 入	N·m	$177 \pm 10$	177±10	177±10		

	検 査	基	準 値		

					T	T	T	T
		モデル	名	308E CR	308E SR	308E2 CR	308E2 SR	308E2 CR
	適用範囲	適用号	機	HEL00001 HAM00001	JBE00001 JSN00001	EC200001 MY200001 YE200001	TM200001 SR800001	PC800001 MC500001 CE800001
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位		検 査	基	準 値	
	エンジン本体	エンジン回転速度						
		ハイアイドリング ローアイドリング (冷 却 水 温) (作 動 油 温)	min <sup>-1</sup> min <sup>-1</sup> (°C) (°C)	2110~2210 1000~1150 55±5	2110~2210 1000~1150 55±5	2110~2210 950~1100 55±5	2110~2210 950~1100 55±5	1940~2040 950~1100 55±5
		弁 隙 間						
片		吸気弁 隙間 排気弁 隙間	mm mm	0. 13~0. 17 0. 13~0. 17	0. 13~0. 17 0. 13~0. 17	0. 13~0. 17 0. 13~0. 17	0. 13~0. 17 0. 13~0. 17	0. 13~0. 17 0. 13~0. 17
ン		(測定条件)	(℃)	(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)
ジ		圧縮圧力又は 気筒間圧縮圧力差	k Pa kg/cm²	2903 —	2903 —	2903 —	2903 —	2903 —
ン		(冷 却 水 温) (回 転 速 度)	(°C) (rpm)	スタータモータ	スタータモータ	スタータモータ	スタータモータ	スタータモータ
	燃料装置	噴射ノズルの 燃料噴射開始圧力	MPa kg/cm²	18. 6	18. 6	設定ナシ (コモンレール)	設定ナシ (コモンレール)	設定ナシ (コモンレール)
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り 測定位置・条件 (中間を指で押す力)	mm (kg)	10~12 オルタネータ/プー リ間押し付 けカ 98N	10〜12 オルタネータ/プー リ間押し付 けカ 98N	10~12 オルタネータ/プー リ間押し付 けカ 98N	10~12 オルタネータ/プー リ間押し付 けカ 98N	10~12 オルタネータ/プー リ間押し付 けカ 98N
	走 行 性 能	最高速度測定方法	秒	13.0~15.0 エンジ ソハイアイ ドル高速モー ト 20m 走行	13.0~15.0 エンジ ソハイアイ ト゛ル高速モー ト゛ 20m 走行	13.5~15.5 エンジ ソハイアイ ドル高速モー ト 20m 走行	13.5~15.5 エンジ ソハイアイ ト゛ル高速モー ト゛ 20m 走行	13.5~15.5 エンジンハイアイ ト゛ル高速モー ト゛ 20m 走行
走	履 帯 (クローラ ベルト)	ボース 振り(たわみ量) スペース 測定方法・条件 (図面番号表示)	mm	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ
行		張り(たわみ量)	mm	40~50	40~50	40~50	40~50	40~50
装		測定方法・条件 (図面番号表示) 鉄		アイドラーキャリヤ ローラ間 (図 1)	アイト゛ラーキャリヤ ローラ間 (図 1)	アイト゛ラーキャリヤ ローラ間 (図 1)	アイト゛ラーキャリヤ ローラ間 (図 1)	アイト゛ラーキャリヤ ローラ間 (図 1)
置		リンクピッチの伸び シ ユ (測定方法・ 条件)	mm	ー (トラック アジャス タ)	ー (トラック アジャス タ)	ー (トラック アジャス タ)	ー (トラック アジャス タ)	ー (トラック アジャス タ)
		履板取付けボルト 締付けトルク	N∙m kg∙m	245±25 + 120°トルクターン —	245±25 + 120°トルクターン —	245±25 + 120°トルクターン —	245±25 + 120°トルクターン —	245±25 + 120°トルクターン —
	1・発声甘潍値な							

★印:新車基準値を表す。

308E2 SR						
KC500001 JC500001						
	•	検 査	基	準 値		ı
1940~2040 950~1100 55±5						
0.13~0.17 0.13~0.17 (冷態時)						
2903						
スタータモータ						
設定ナシ (コモンレール)						
10~12 オルタネータ/プー リ間押し付 けカ 98N						
13.5~15.5 エンジ・ソハイアイ ト・ル高速モー ト・ 20m 走行						
設定ナシ						
40~50 アイト゛ラーキャリヤ ローラ間 (図 1)						
ー (トラック アジャス タ)						
245±25 + 120°トルクターン —						

_							I	I		
		モ	デ	ル	名	308E CR	308E SR	308E2 CR	308E2 SR	308E2 CR
j	適用範囲	適	用	号	機	HEL00001 HAM00001	JBE00001 JSN00001	EC200001 MY200001 YE200001	TM200001 SR800001	PC800001 MC500001 CE800001
区分	検査箇所	検査項目	(条付	牛)	単位		検 査	基	準 値	
	作業機自然降下	バケット先 (測 定 時 (作 動 ii 作業装置 (図面番号	持 間) 由 温) 姿勢		mm (分) (℃)	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ
作	シリンダー	ブームシリ	ンダー	_	mm	-/4.5	-/4. 5	-/4. 5	-/4. 5	-/4.5
	自然伸縮	アームシリ	ンダー	_	mm	-/12	-/12	-/12	-/12	-/12
業		バケットシ	リンタ	<i>i</i> —	mm	-/6	-/6	-/6	-/6	-/6
装		ブレードシ 作業装置 (図面番号 (作 動 油	姿勢 分表示		mm (℃)	-/5 (バケット負荷 375kg-図 2) (55±5)				
,	作業機速度	ブーム」			sec	2. 7~3. 7 2. 4~3. 2	2. 7~3. 7 2. 4~3. 2	$3.3\pm0.4$ $3.6\pm0.4$	$3.3\pm0.4$ $3.6\pm0.4$	$3.3\pm0.4$ $3.6\pm0.4$
置		アームシリン		申ばし 宿 め	sec sec	2. 3~3. 1 1. 8~2. 6	2. 3~3. 1 1. 8~2. 6	$2.9\pm0.4$ $2.2\pm0.4$	$2.9\pm0.4$ $2.2\pm0.4$	$2.9\pm0.4$ $2.2\pm0.4$
		バケットシリン		申ばし宿 め	sec sec	3. 1~3. 9 2. 1~2. 9	3. 1~3. 9 2. 1~2. 9	$2.5\pm0.4$ $1.8\pm0.4$	$2.5\pm0.4$ $1.8\pm0.4$	$2.5\pm0.4$ $1.8\pm0.4$
		性能測定 (図面番号		)		(図3)	(図3)	(図3)	(図3)	(図3)
油圧装置	油 圧 回 路 設 定 圧 力	主回路設定 性能測定 (エンジン (油温:5	条件 : 定格		MPa	28. 0~30. 0 -	28. 0~30. 0 —	27. 5~29. 5 —	27. 5~29. 5 —	27.5~29.5 —
	旋回ベアリン グ取付けボル トの締付け	アウターレ ボルトの締			N·m kg·m	240±40 —	240±40 —	240±40 —	240±40 —	$240 \pm 40$
動		インナーレ ボルトの締			N·m	240±40	$240 \pm 40$	240±40	240±40	$240 \pm 40$
力					kg•m	_	_	_	_	_
伝	旋回減速機取 付けボルトの	油圧モータ ルトの締付			N·m	$240 \pm 40$				
達	締付け				kg•m					
装置		旋回減速機トの締付け			N·m	240±40	$240 \pm 40$	240±40	240±40	240±40
<b>민</b>					kg•m	_	_	_	_	_
1	・新亩 1 淮 値 た	1. 3				<u> </u>		<u> </u>		

★印:新車基準値を表す。

308E2 SR						
KC500001 JC500001						
JC300001		10	++-	Sitta I-la		
		検査	基	準 値		
設定ナシ						
設化ノン						
-/4.5						
-/12						
-/6						
-/5 (バケット負荷						
375kg-図 2)						
(55±5)						
$3.3\pm0.4$ $3.6\pm0.4$						
$2.9\pm0.4$						
$2.2\pm0.4$						
$2.5\pm0.4$						
$1.8\pm0.4$						
(図3)						
27. 5~29. 5						
_						
240±40						
_						
240±40						
_						
240±40						
_						
240±40						
_						

15 日	Nu 🖒 + >+
項 目 履帯張り (たわみ量)	<ul> <li>測定方法</li> <li>1. アイドラからキャリアローラまで届く角材をトラックの上に置く。</li> <li>2. トラックシュー上面と角材下面の最大たるみ量が 40~50mmあればトラックは正しく調整されている。</li> <li>尚、張り調整時はトラック周りに付着している土砂などを取り除いてから実施しすること。</li> </ul>
	図 1
シリンダ自然伸縮	<ul> <li>測定条件</li> <li>1. 機体を平坦地におき図のようにする</li> <li>2. バケットは空にする</li> <li>3. エンジンを停止する</li> <li>測定要領 ブームシリンダ、スティックシリンダ、バケットシリンダ自然降下</li> <li>1. エンジンを始動する。</li> <li>2. バケットシリンダを伸びエンドから 10mm 縮める。</li> <li>3. スティックシリンダを縮みエンドから 10mm 伸ばす。</li> <li>4. スティック先端ピンをブームフートピンと地上から同じ高さにする。エンジンを停止する。</li> </ul>
	<u>図2</u>

75 0	28ti
項 目	測 定 方 法
作業機速度 (ブームシリンダ	バケットシリンダ最大伸長、スティックシリンダ最少収縮にし、
	A. 伸び試験・・・・・ バケット接地状態からブームシリンダ伸びエンド迄の作動時間を測定
	B. 縮み試験・・・・・ ブームシリンダ伸びエンドからバケット接地迄の作動時間を測定
	B
	A
	<u>図 3-1</u>
作業機速度 (スティック	測定要領 ブームの上面を平行に保つ。バケットシリンダ伸びエンドにし
シリンダ)	A. 伸び試験・・・・・ スティックシリンダ縮みエンドから伸びエンド迄の作動時間を測定
	B. 縮み試験・・・・ スティックシリンダ伸びエンドから縮みエンド迄の作動時間を測定
	B
	<u>⊠ 3-2</u>

項目	測 定 方 法
作業機速度(バケットシリンダ)	測定要領     ブームの上面を地面に平行にし、スティックを垂直に立て     A. 伸び試験・・・・・ バケットシリンダ縮みエンドから伸びエンド迄の作動時間を測定     B. 縮み試験・・・・・ バケットシリンダ伸びエンドから縮みエンド迄の作動時間を測定
	⊠ 3-2

	適用範囲	モ デ ル	名	311D RR	312D	313D CR	313D SR	314D CR
		適用号	機	AKW10001	FBJ10001	LCE10001	LBR10001	MFK100001
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位		検 査	基	準 値	
	エンジン本体	エンジン回転速度						
		ハイアイドリング	rpm	$1750 \pm 50$	$1850 \pm 50$	$1750 \pm 50$	$1750 \pm 50$	$1840 \pm 50$
		ローアイドリング	rpm	$950 \pm 50$				
		(冷 却 水 温) (作 動 油 温)	(°C)	70 以上 55±5				
デ		弁 隙 間	(0)	99 - 9	99 ± 9	99 ± 9	99 - 9	99 - 9
イ		プログログログログ W 気弁 隙間	mm	0. 25	0. 25	0. 25	0. 25	0. 25
1		排気弁 隙間	mm mm	0. 25	0. 25	0. 25	0. 25	0. 25
		21 2 (2) 12 (13)		0, 10	0.10	V. 10	0.10	0. 10
ゼ		[測定条件]		(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)
ル		圧縮圧力	kgf/cm <sup>2</sup>	30	30	30	30	30
工			MPa	2. 9	2. 9	2. 9	2. 9	2. 9
ン		(冷 却 水 温) (回 転 速 度)	(°C) (rpm)	20~30 300	20~30 300	20~30 300	20~30 300	20~30 300
ジ	燃料装置	噴射ノズルの	kgf/cm <sup>2</sup>	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ
ン		燃料噴射開始圧力	MPa	(コモンレール)	(コモンレール)			(コモンレール)
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り	mm	8~10	8~10	8~10	8~10	8~10
		測定位置・条件		オルタネータ プーリ間	オルタネータ プーリ間	オルタネータ プーリ間	オルタネータ プーリ間	オルタネータ プーリ間
		(kg とNの両方で 表記)	kg N	押し付け力 10kgf 98N				
	走行性能	最高速度	秒	14. 9	15. 6	16. 2	16. 2	15. 9
		測定方法・条件		エンジンハイ アイドル	エンジンハイ アイドル	エンジンハイ アイドル	エンジンハイ アイドル	エンジンハイ アイドル
				走行モータ 3回空転	走行モータ 3回空転	走行モータ 3回空転	走行モータ 3回空転	走行モータ 3回空転
	履帯	張り(たわみ量)	mm					
	ベルト)	ム 測定方法・条件		_	_	_	_	_
走		ル(図面番号表示)ト						
行		張り(たわみ量)	mm	40~55	40~55	40~55	40~55	40~55
		測定方法・条件		アイドラ キャリア間	アイドラ キャリア間	アイドラ キャリア間	アイドラ キャリア間	アイドラ キャリア間
装		(図面番号表示)		図NO. 12				
		サンクピッチの伸び	mm	685. 8	685. 8	685. 8	685. 8	685.8
置		ショルマナオ・タル		4 ]]\/b\b°4				4 ]]\/b\\circ\circ\circ\circ\circ\circ\circ\ci
		測定方法・条件		4 リンクヒ <sup>°</sup> ッチ	4 リンクヒ゜ッチ	4 リンクヒ゜ッチ	4 リンクヒ゜ッチ	4 リンクヒ゜ッチ
		覆板取付けボルト 締付けトルク	Kgf⋅m²	17.8±4.1 その後	17.8±4.1 その後	17.8±4.1 その後	17.8±4.1 その後	17.8±4.1 その後
			N·m	$120^{\circ} \pm 5^{\circ}$				
		測定方法・条件		回転	回転	回転	回転	回転
ш					l		İ	

315D L	312E	316E L	320D-2	320D L-2	320D RR-2	320D L RR-2	321D CR	321D L CR
BYK10001	GAC10001	WZY10001	BWZ10001	DFB10001	RBL10001	SCW10001	JCX10001	KBH10001
			検 査	基	準 値			
$2265 \pm 50$	$1700 \pm 50$	$1830 \pm 50$	$1980 \pm 50$	$1980 \pm 50$	$1980 \pm 50$	$1980 \pm 50$	$1980 \pm 50$	$1980 \pm 50$
$900 \pm 50$	$1000 \pm 50$	$950 \pm 50$	$1000 \pm 50$	$1000 \pm 50$	$1000 \pm 50$	$1000 \pm 50$	$1000 \pm 50$	$1000 \pm 50$
70 以上	70 以上	70 以上	70 以上	70 以上	70 以上	70 以上	70 以上	70 以上
55±5	55±5	55±5	55±5	55±5	55±5	55±5	55±5	55±5
0.25	設定ナシ (オート	設定ナシ (オート	0. 25	0. 25	0. 25	0. 25	0. 25	0. 25
0.40	アジャス	アジャス	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
	タ)	タ)						
(冷態時)			(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)
設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ
(コモンレール)	(コモンレール)	(コモンレール)	(コモンレール)	(コモンレール)	(コモンレール)	(コモンレール)	(コモンレール)	(コモンレール)
設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ
(コモンレール)	(コモンレール)	(コモンレール)	(コモンレール)	(コモンレール)	(コモンレール)	(コモンレール)	(コモンレール)	(コモンレール)
8~10	8~10	8~10	8~10	8~10	8~10	8~10	8~10	8~10
オルタネータ	オルタネータ	オルタネータ	オルタネータ	オルタネータ	オルタネータ	オルタネータ	オルタネータ	オルタネータ
プーリ間	プーリ間	プーリ間	プーリ間	プーリ間	プーリ間	プーリ間	プーリ間	プーリ間
押し付け力 10kgf 98N	押し付け力 10kgf 98N	押し付け力 10kgf 98N	押し付け力 10kgf 98N	押し付け力 10kgf 98N	押し付け力 10kgf 98N	押し付け力 10kgf 98N	押し付け力 10kgf 98N	押し付け力 10kgf 98N
17.1	16. 4	18. 6	17. 0	18. 5	17. 0	18.5	17.0	18. 5
エンジンハイ	エンジンハイ	エンジンハイ	エンジンハイ	エンジンハイ	エンジンハイ	エンジンハイ	エンジンハイ	エンジンハイ
アイドル	アイドル	アイドル	アイドル	アイドル	アイドル	アイドル	アイドル	アイドル
走行モータ 3回空転	走行モータ 3回空転	走行モータ 3回空転	走行モータ 3回空転	走行モータ 3回空転	走行モータ 3回空転	走行モータ 3回空転	走行モータ 3回空転	走行モータ 3回空転
0 III 1 #4	0 11 11 11	0 11 11 11	0 11 11 11	0 EJ Z.#A	0 EJ 1.#A	0 11 11 11	0 🖂 土 🖽	0 11 11 14
_	_	_	_	_	_	_	_	_
40~55	40~55	40~55	40~55	40~55	40~55	40~55	40~55	40~55
アイドラ	アイドラ	アイドラ	アイドラ	アイドラ	アイドラ	アイドラ	アイドラ	アイドラ
キャリア間 図NO.12	キャリア間 図NO.12	キャリア間 図NO.12	キャリア間 図NO. 12	キャリア間 図N0.12	キャリア間 図N0.12	キャリア間 図NO.12	キャリア間 図N0.12	キャリア間 図NO.12
<u></u>	,	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	F1.10. 12	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	,	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	F1.10. 12
760	686	760	760	760	760	760	760	760
1   N. h b °4	<b>Λ ]]</b> Ω <b>λ</b> Β°4	4    \(\frac{1}{2}\) \(\frac{1}{2}\) \(\frac{1}{2}\)	1 11 12 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16	4 ][\v.h\b°4	4 ][\v.h\b°4	4 ][\v/h\b°4	4    \(\frac{1}{2}\) \(\frac{1}{2}\) \(\frac{1}{2}\)	1 11 12 to 12
4 リンクヒ゜ッチ	4 リンクヒ <sup>°</sup> ッチ	4 リンクヒ <sup>°</sup> ッチ	4 リンクヒ <sup>°</sup> ッチ	4 リンクヒ <sup>°</sup> ッチ	4 リンクヒ <sup>°</sup> ッチ	4 リンクヒ゜ッチ	4 リンクヒ゜ッチ	4 リンクヒ <sup>°</sup> ッチ
41.0±7.1	17.8±4.1	41.0±7.1	41.0±7.0	41.0±7.0	41.0±7.0	41.0±7.0	41.0±7.1	41.0±7.1
その後 120°±5°	その後 120° ± 5°	その後 120°±5°	その後 120° ± 5°	その後 120° → 5°	その後 120° ± 5°	その後 120° ± 5°	その後 120°±5°	その後 120° ± 5°
120°±5° 回転	120°±5° 回転	120°±5° 回転	120°±5° 回転	120°±5° 回転	120°±5° 回転	120°±5° 回転	120°±5° 回転	120°±5° 回転

	適用範囲	モデル	名	311D RR	312D	313D CR	313D SR	314D CR
		適用号	機	AKW10001	FBJ10001	LCE10001	LBR10001	MFK100001
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位		検 査	基	準 値	
	作業機自然降下	バケット先端位置 (測 定 時 間) (作 動 油 温) 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm (分) (℃)	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ
作		ブームシリンダー アームシリンダー バケットシリンダー ブレードシリンダー (測 定 時 間) (作 動 油 温) 作業装置姿勢	mm mm mm (分) (℃)	$24$ $25$ $25$ $5$ $55 \pm 5$	$ 24 25 25 18 5 55 \pm 5 $	$24$ $25$ $25$ $18$ $5$ $55 \pm 5$	$ 24 25 25 18 5 55 \pm 5 $	$24$ $25$ $25$ $18$ $5$ $55\pm 5$
業		(図面番号表示) バケット荷重	kg	図 NO. 6~7 空荷	図 NO. 6~7 空荷	図 NO. 6~7 空荷	図 NO. 6~7 空荷	図 NO. 6~7 空荷
装	作業機速度	ブ ー ム 伸ばし 縮め 作業装置姿勢	秒 秒	$2.7\pm0.5$ $2.1\pm0.5$	3. 2±0. 5 2. 2±0. 5	4. 1±0. 5 3. 0±0. 5	$3.6\pm0.5$ $3.1\pm0.5$	$3.8\pm0.5$ $2.8\pm0.5$
		(図面番号表示) アームシリンダー伸ばし 縮 め 作業装置姿勢	秒 秒	図 NO. 9 2. 1±0. 5 2. 1±0. 5	図 NO. 9 2. 4±0. 5 2. 3±0. 5	図 NO. 9 2. 8±0. 5 2. 6±0. 5	図 NO. 9 2. 5±0. 5 2. 3±0. 5	図 NO. 9 2. 6±0. 5 2. 5±0. 5
置		(図面番号表示) バケットシリンダー伸ばし 縮 め 作業装置姿勢 (図面番号表示)	秒 秒	図 NO. 10 3. 7±0. 5 2. 1±0. 5	図 NO. 10 3. 5±0. 5 1. 9±0. 5	図 NO. 10 3. 7±0. 5 2. 3±0. 5	図 NO. 10 3. 7±0. 5 2. 3±0. 5	図 NO. 10 3. 5±0. 5 2. 1±0. 5
		(作動油温) 性能測定条件 (荷重・設定モード等)	(℃)	図 NO. 11 55±5 空荷、 ^/7/11, h	図 NO. 11 55±5 空荷、 ^/7/11 n	図 NO. 11 55±5 空荷、 ハイアイト・ル	図 NO. 11 55±5 空荷、 ^/7/11, h	図 NO. 11 55±5 空荷、 ハイアイト゛ル
	油圧回路図設定圧力	主回路設定圧力	$kgf/cm^2$	311±5	311±5	311±5	305±5	311±5
油圧装置		此公司( <b>)</b>	MPa	$30.5\pm0.5$	$30.5\pm0.5$	$30.5\pm0.5$	$29.9\pm0.5$	30.5±0.5
置		性能測定条件 (設定モード等)		ハイアイト゛ル	ハイアイト゛ル	ハイアイト゛ル	ハイアイト゛ル	ハイアイト゛ル
	旋回ベアリン	アウターレース取付け	kgf•m	$27.5\pm4.1$	$27.5\pm4.1$	$27.5\pm4.1$	$27.5 \pm 4.1$	$27.5\pm4.1$
動	グ取付けボル トの締付け	ボルトの締付けトルク	N·m	$270 \pm 40$	$270 \pm 40$	$270 \pm 40$	$270 \pm 40$	270±40
力		インナーレース取付け ボルトの締付けトルク	kgf•m	$27.5 \pm 4.1$	$27.5\pm4.1$	$27.5 \pm 4.1$	$27.5 \pm 4.1$	$27.5\pm 4.1$
伝達		マングル トゥンがはより パン レンケン	N·m	$270 \pm 40$	270±40	270±40	$270 \pm 40$	$270 \pm 40$
装	付けボルトの	油圧モーター取付けボルトの締付けトルク		9.2±0.9	9.2±0.9	9.2±0.9	9.2±0.9	9.2±0.9
置	締付け	II.	N·m	90.2±9	90.2±9	90.2±9	90.2±9	90.2±9
		旋回減速機取付けボル トの締付けトルク	kgf•m	$27.5 \pm 4.1$	$27.5 \pm 4.1$	$27.5 \pm 4.1$	$27.5\pm4.1$	$27.5 \pm 4.1$
			N·m	$270 \pm 40$	$270 \pm 40$	$270 \pm 40$	$270 \pm 40$	$270 \pm 40$

315D L	312E	316E L	320D-2	320D L-2	320D RR-2	320D L RR-2	321D CR	321D L CR
BYK10001	GAC10001	WZY10001	BWZ10001	DFB10001	RBL10001	SCW10001	JCX10001	KBH10001
BINIOUUI	011010001	#2110001	bii210001   検 査	基	準 値	56,10001	Johnson	IIDIIIOOOI
設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ
24 25 25	24 25 25 18	24 25 25	24 25 25	24 25 25	24 25 25	24 25 25	24 25 25	24 25 25
5 55±5	5 55±5	5 55±5	5 55±5	5 55±5	5 55±5	5 55±5	5 55±5	5 55±5
図 NO. 6 空荷	図 NO.6 空荷	図 NO. 6 空荷	図 NO. 6 空荷	図 NO.6 空荷	図 NO.6 空荷	図 NO. 6 空荷	図 NO. 6 空荷	図 NO. 6 空荷
$2.8\pm0.5$ $2.1\pm0.5$	$3.2\pm0.5$ $2.0\pm0.5$	$3.0\pm0.5$ $1.9\pm0.5$	$2.8\pm0.5$ $1.9\pm0.5$	$2.8\pm0.5$ $1.9\pm0.5$	$2.8\pm0.5$ $1.9\pm0.5$	$2.8\pm0.5$ $1.9\pm0.5$	$4.3\pm0.5$ $2.7\pm0.5$	$4.3\pm0.5$ $2.7\pm0.5$
図 NO. 7 2. 7±0. 5 1. 9±0. 5	図 NO. 7 2. 6±0. 5 2. 5±0. 5	図 NO. 7 2. 9±0. 5 2. 2±0. 5	図 NO. 7 3. 4±0. 5 2. 5±0. 5	図 NO. 7 3. 4±0. 5 2. 5±0. 5	図 NO. 7 3. 4±0. 5 2. 5±0. 5	図 NO. 7 3. 4±0. 5 2. 5±0. 5	図 NO. 7 3. 4±0. 5 2. 5±0. 5	図 NO. 7 3. 4±0. 5 2. 5±0. 5
図 NO. 8 3. 9±0. 5 2. 1±0. 5	図 NO.8 3.6±0.5 1.9±0.5	図 NO. 8 4. 1±0. 5 2. 1±0. 5	図 NO. 8 3. 5±0. 5 1. 9±0. 5	図 NO.8 3.5±0.5 1.9±0.5	図 NO.8 3.5±0.5 1.9±0.5	図 NO. 8 3. 5±0. 5 1. 9±0. 5	図 NO. 8 3. 5±0. 5 1. 9±0. 5	図 NO. 8 3. 5±0. 5 1. 9±0. 5
図 NO.9 55±5 空荷、 ハイアイドル	図 NO.9 55±5 空荷、 ハイアイドル	図 NO.9 55±5 空荷、 ハイアイドル	図 NO.9 55±5 空荷、 ハイアイドル	図 NO.9 55±5 空荷、 ハイアイドル	図 NO.9 55±5 空荷、 ハイアイドル	図 NO.9 55±5 空荷、 ハイアイドル	図 NO.9 55±5 空荷、 ^{77小**	図 NO.9 55±5 空荷、 ^{77仆**\rh
357±5	311±5	357±5	357±5	357±5	357±5	357±5	357±5	357±5
$35.0\pm0.5$	$30.5\pm0.5$	$35.0\pm0.5$	$35.0\pm0.5$	$35.0\pm0.5$	$35.0\pm0.5$	$35.0\pm0.5$	$35.0\pm0.5$	$35.0\pm0.5$
ハイアイト゛ル	ハイアイト゛ル	ハイアイト゛ル	ハイアイト゛ル	ハイアイト゛ル	ハイアイト゛ル	ハイアイト゛ル	ハイアイト゛ル	ハイアイト゛ル
58. 0±6. 0 568±59	$27.5\pm4.1$ $270\pm40$	$58.0\pm6.0$ $568\pm59$	$58.0\pm6.0$ $568\pm59$	$58.0\pm6.0$ $568\pm59$	28.0±3.0 274±29 その後 60° ±5°回転	28.0±3.0 274±29 その後 60° ±5°回転	28.0±3.0 274±29 その後 60° ±5°回転	28.0±3.0 274±29 その後 60° ±5°回転
58.0±6.0 568±59	$27.5\pm4.1$ $270\pm40$	58. 0±6. 0 568±59	$58.0\pm6.0$ $568\pm59$	58.0±6.0 568±59	28.0±3.0 274±29 その後 60° ±5°回転	28.0±3.0 274±29 その後 60° ±5°回転	28.0±3.0 274±29 その後 60° ±5°回転	28.0±3.0 274±29 その後 60° ±5°回転
9.2±0.9	9.2±0.9	9.2±0.9	24.5±4.1	24. 5±4. 1	24.5±4.1	24.5±4.1	24. 5±4. 1	24. 5±4. 1
90.2±9	90.2±9	90.2±9	$240 \pm 40$	$240 \pm 40$	$240 \pm 40$	$240 \pm 40$	$240 \pm 40$	$240 \pm 40$
54. 0±7. 1	27.5±4.1	54. 0±7. 1	91.8±10.2	91.8±10.2	91.8±10.2	91.8±10.2	92. $0 \pm 10.0$	92. $0 \pm 10.0$
$530 \pm 70$	$270 \pm 40$	$530 \pm 70$	$900 \pm 100$	$900 \pm 100$	$900 \pm 100$	900±100	$900 \pm 100$	900±100

-	適用範囲	モ デ ル	名	320E	320E L	320E RR	320E L RR	329D
		適用号	機	SXE10001	LAK10001	LHN10001	MEW10001	BBF10001
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位		検 査	基	準 値	
	エンジン本体	エンジン回転速度						
		ハイアイドリング	rpm	$1700 \pm 50$	$1700 \pm 50$	$1700 \pm 50$	$1700 \pm 50$	$1980 \pm 50$
		ローアイドリング	rpm	$800 \pm 50$	$800 \pm 50$	$800 \pm 50$	$800 \pm 50$	$950 \pm 50$
		(冷 却 水 温) (作 動 油 温)	(℃) (℃)	55±5	55±5	55±5	55±5	55±5
デ		弁 隙 間	(C)	25 7 5	25 7 5	25 7 5	99 - 9	99 - 9
イ		吸気弁 隙間	mm	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ	0. 38
1		排気弁 隙間	mm mm	(オート アジャス	(オート アジャス	(オート アジャス	(オート アジャス	0. 38 0. 64
		217471 14444		タ)	タ)	タ)	タ)	
ゼ		[測定条件]						(冷態時)
ル		圧縮圧力	kgf/cm <sup>2</sup>					30
エ			MPa	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ	2. 9
ン		(冷却水温)	(℃)	(コモンレール)	(コモンレール)	(コモンレール)	(コモンレール)	50
		(回転速度)	(rpm)					300
ジ	燃料装置	噴射ノズルの 燃料噴射開始圧力	kgf/cm <sup>2</sup>	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ	作動圧力(61 ~286kgf)の
ン		然付.首如四元77	MPa	(コモンレール)	(コモンレール)	(コモンレール)	(コモンレール)	約6倍
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り	mm	4.2~6.3	4.2~6.3	4.2~6.3	4.2~6.3	4.2~6.3
		測定位置・条件		オルタネータ プーリ間	オルタネータ プーリ間	オルタネータ プーリ間	オルタネータ プーリ間	オルタネータ プーリ間
		(kg とNの両方で	kg	押し付け力	押し付け力	押し付け力	押し付け力	押し付け力
		表記)	N	10kgf 98N	10kgf 98N	10kgf 98N	10kgf 98N	10kgf 98N
	走行性能	最高速度	秒	17. 1 エンジンハイ	18. 7 エンジンハイ	17. 1 エンジンハイ	18.7 エンジンハイ	19.0 エンジンハイ
		測定方法・条件		アイドル	アイドル	アイドル	アイドル	アイドル
				走行モータ 3 回空転	走行モータ 3 回空転	走行モータ 3 回空転	走行モータ 3回空転	走行モータ 3 回空転
	履帯	張り(たわみ量)	mm	3 固主料	3 固主料	3 四主料	9 回主料	9 固玉椒
	(クローラ	ゴ	IIIII					
走	ベルト)	ム 測定方法・条件 (図面番号表示)		_	_	_	_	_
疋		ル (凶曲番方衣小)						
行		張り (たわみ量)	mm	40~55 アイドラ	40~55 アイドラ	40~55 アイドラ	40~55 アイドラ	40~55 アイドラ
		測定方法・条件		キャリア間	キャリア間	キャリア間	キャリア間	キャリア間
装		(図面番号表示)		図 NO. 10	図 NO. 10	図 NO. 10	図 NO. 10	図 NO. 10
		鉄 リンクピッチの伸び	990 ton	760	760	760	760	813
置		シ	mm	100	100	100	100	019
		測定方法・条件		4 リンクヒ <sup>°</sup> ッチ	4 リンクヒ <sup>°</sup> ッチ	4 リンクヒ <sup>°</sup> ッチ	4 リンクヒ゜ッチ	4 リンクヒ <sup>°</sup> ッチ
		ユ						
		覆板取付けボルト	Kgf·m	40.8±7.1	40.8±7.1	40.8±7.1	40.8±7.1	41.0±7.1
		締付けトルク	NT	その後 120°±5°	その後 120°±5°	その後 120°±5°	その後 120°±5°	その後 120°±5°
		測定方法・条件	N·m	120 ±5 回転	120 ±5 回転	120 ±5 回転	回転	120 ±5 回転

<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	L 基	準 値	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>

	適用範囲	モ デ ル	名	320E	320E L	320E RR	320E L RR	329D
		適用号	機	SXE10001	LAK10001	LHN10001	MEW10001	BBF10001
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位		検 査	基	準 値	
	作業機自然降下	バケット先端位置 (測 定 時 間) (作 動 油 温) 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm (分) (℃)	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ
11-		ブームシリンダー アームシリンダー バケットシリンダー ブレードシリンダー	mm mm mm mm	24 25 25	24 25 25	24 25 25	24 25 25	24 25 25
作		(測 定 時 間) (作 動 油 温) 作業装置姿勢	(分) (℃)	5 55±5	5 55±5	5 55±5	5 55±5	5 55±5
業		(図面番号表示) バケット荷重	kg	図 NO. 6~7 空荷				
	作業機速度	ブ ー ム 伸ばし 縮め 作業装置姿勢	秒 秒	$3.2\pm0.5$ $1.8\pm0.5$	$3.2\pm0.5$ $1.8\pm0.5$	$3.2\pm0.5$ $1.8\pm0.5$	3.2±0.5 1.8±0.5	$3.5\pm0.5$ $2.4\pm0.5$
装		(図面番号表示) アームシリンダー伸ばし 縮 め 作業装置姿勢	秒 秒	図 NO. 9 3. 3±0. 5 2. 6±0. 5	図 NO. 9 3. 0±0. 5 2. 6±0. 5			
置		(図面番号表示) バケットシリンダー伸ばし 縮 め	秒 秒	図 NO. 10 4. 0±0. 5 2. 1±0. 5	図 NO. 10 3. 9±0. 5 2. 3±0. 5			
		作業装置姿勢 (図面番号表示) (作 動 油 温) 性能測定条件 (荷重・設定モード等)	(℃)	図 NO.11 55±5 空荷、 ハイアイドル	図 NO. 11 55±5 空荷、 ハイアイト・ル	図 NO.11 55±5 空荷、 ハイアイドル	図 NO. 11 55±5 空荷、 ハイアイト・ル	図 NO. 11 55±5 空荷、 ハイアイドル
	油圧回路図	主回路設定圧力	kgf/cm <sup>2</sup>	357±5	357±5	357±5	357±5	357±5
油圧装置	設定圧力	Id Mc Mileta & Id.	MPa	$35.0\pm0.5$	$35.0\pm0.5$	$35.0\pm0.5$	$35.0\pm0.5$	$35.0\pm0.5$
<b>爱</b>		性能測定条件 (設定モード等)		ハイアイト゛ル	ハイアイト゛ル	ハイアイト゛ル	ハイアイト゛ル	ハイアイト゛ル
	旋回ベアリン グ取付けボル	アウターレース取付け ボルトの締付けトルク	kgf·m	57.9±6.0	57.9±6.0	57.9±6.0	57.9±6.0	91.8±10.2
動	トの締付け		N∙m	$568 \pm 59$	$568 \pm 59$	568±59	$568 \pm 59$	900±100
力		インナーレース取付け ボルトの締付けトルク	kgf•m	$57.9 \pm 6.0$	$57.9 \pm 6.0$	$57.9 \pm 6.0$	$57.9\pm6.0$	$91.8 \pm 10.2$
伝		マント にゅう地はおれた ドラビク	$N \cdot m$	$568 \pm 59$	568±59	$568 \pm 59$	568±59	900±100
達	旋回減速機取 付けボルトの	油圧モーター取付けボ ルトの締付けトルク	kgf•m	24. 5±4. 1	24. 5±4. 1	24. 5±4. 1	24.5±4.1	24.5±4.1
装	締付け		N·m	$240 \pm 40$				
置		旋回減速機取付けボル トの締付けトルク	kgf∙m	91.8±10.2	$91.8 \pm 10.2$	91.8±10.2	91.8 $\pm$ 10.2	91. $8 \pm 10.2$
			$N \cdot m$	$900 \pm 100$				

	 <u> </u>	基	準 値		<u> </u>	<u> </u>
<u> </u>	<u> </u>	l		<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>

	適用範囲	モデル	名	329D L	324E	324E L	329E	329E L
		適用号	機	TAY10001	JCZ10001	KTE10001	PTY10001	RDX10001
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位		検 査	基	準 値	
	エンジン本体	エンジン回転速度						
		ハイアイドリング	rpm	$1980 \pm 50$	$1699 \pm 50$	$1699 \pm 50$	$1600 \pm 50$	$1600 \pm 50$
		ローアイドリング (冷 却 水 温)	rpm (℃)	$950 \pm 50$	$900 \pm 50$	$900 \pm 50$	$900 \pm 50$	$900 \pm 50$
		(作動油温)	(°C)	55±5	55±5	55±5	55±5	55±5
デ		弁 隙 間						
イ		吸気弁 隙間	mm	0. 38	設定ナシ (オート	設定ナシ (オート	設定ナシ (オート	設定ナシ (オート
1		排気弁 隙間	mm	0.64	アジャス	アジャス	アジャス	アジャス
ゼ		[測 定 条 件]		(冷態時)	タ)	タ)	タ)	タ)
ル		圧縮圧力	kgf/cm <sup>2</sup>	30				
工			MPa	2. 9	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ
ン		(冷却水温) (回転速度)	(℃) (rpm)	50 300	(コモンレール)	(コモンレール)	(コモンレール)	(コモンレール)
ジ	燃料装置	噴射ノズルの	$kgf/cm^2$	作動圧力(61	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ
ン		燃料噴射開始圧力	MPa	~286kgf)の 約6倍	(コモンレール)		(コモンレール)	(コモンレール)
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り	mm	4.2~6.3 オルタネータ	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ
		測定位置・条件		プーリ間	(オート テンショ	(オート テンショ	(オート テンショ	(オート テンショ
		(kg とNの両方で 表記)	kg N	押し付け力 10kgf 98N	ナ)	ナ)	ナ)	ナ)
	走行性能	最高速度	秒	21. 5	19. 5	20. 6	20. 0	22. 2
		測定方法・条件		エンジンハイ アイドル	エンジンハイ アイドル	エンジンハイ アイドル	エンジンハイ アイドル	エンジンハイ アイドル
				走行モータ	走行モータ	走行モータ	走行モータ	走行モータ
	履帯	張り(たわみ量)	mm	3 回空転	3 回空転	3 回空転	3回空転	3 回空転
	(クローラ	ゴ	111111					
走	ベルト)	ム 測定方法・条件 (図面番号表示)		_	_	_	_	_
~		ル (凶囲番号表示)						
行		張り(たわみ量)	mm	40~55	40~55	40~55	40~55	40~55
				アイドラ	アイドラ	アイドラ	アイドラ	アイドラ
装		測定方法・条件 (図面番号表示)		キャリア間 図 NO. 12	キャリア間 図 NO. 12	キャリア間 図 NO. 12	キャリア間 図 NO. 12	キャリア間 図 NO. 12
		鉄						
置		リンクピッチの伸び シ	mm	813	760	760	813	865
		測定方法・条件		4 リンクヒ <sup>°</sup> ッチ	4 リンクヒ゜ッチ	4 リンクヒ゜ッチ	4 リンクヒ゜ッチ	4 リンクヒ <sup>°</sup> ッチ
		ユ						
		覆板取付けボルト	Kgf⋅m	41. 0±7. 1	41. 0±7. 1	41. 0±7. 1	41. 0±7. 1	41. 0±7. 1
		締付けトルク	N·m	その後 120°±5°	その後 120°±5°	その後 120°±5°	その後 120°±5°	その後 120°±5°
		測定方法・条件		回転	回転	回転	回転	回転

336D	336D L	336E	336E L					
JER10001	NLS10001	CMR10001	TEG10001					
		1	検 査	基	準	値	1	
$1980 \pm 50$ $800 \pm 50$	1980±50 800±50	1600±50 950±50	1600±50 950±50					
55±5	55±5	55±5	55±5					
0.38 0.64 (冷態時)	0.38 0.64 (冷態時)	0.38 0.64 (冷態時)	0.38 0.64 (冷態時)					
設定ナシ (コモンレール)	設定ナシ (コモンレール)	設定ナシ (コモンレール)	設定ナシ (コモンレール)					
作動圧力(61 ~286kgf)の 約6倍	作動圧力(61 ~286kgf)の 約6倍	設定ナシ (コモンレール)	設定ナシ (コモンレール)					
4.2~6.3 オルタネータ プーリ間 押し付け力 10kgf 98N	4.2~6.3 オルタネータ プーリ間 押し付け力 10kgf 98N	設定ナシ (オート テンショ ナ)	設定ナシ (オート テンショ ナ)					
22.5 エンジンハイ アイドル 走行モータ 3 回空転	24.5 エンジンハイ アイドル 走行モータ 3 回空転	22.5 エンジンハイ アイドル 走行モータ 3 回空転	24.5 エンジンハイ アイドル 走行モータ 3 回空転					
_	_	_	_					
40~55 アイドラ キャリア間 図 NO. 12	40~55 アイドラ キャリア間 図 NO. 12	40~55 アイドラ キャリア間 図 NO. 12	40~55 アイドラ キャリア間 図 NO. 12					
865 4 リンクヒ <sup>°</sup> ッチ	865 4 リンクヒ <sup>°</sup> ッチ	865 4 リンクヒ <sup>°</sup> ッチ	865 4 リンクヒ <sup>°</sup> ッチ					
61.0±7.1 その後 120°±5° 回転	61.0±7.1 その後 120°±5° 回転	61.2±7.1 その後 120°±5° 回転	61.2±7.1 その後 120°±5° 回転					

-	適用範囲	モデル	名	329D L	324E	324E L	329E	329E L
		適用号	機	TAY10001	JCZ10001	KTE10001	PTY10001	RDX10001
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位		検 査	基	準 値	
	作業機自然降下	バケット先端位置 (測 定 時 間) (作 動 油 温) 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm (分) (℃)	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ
<i>ll</i> e		ブームシリンダー アームシリンダー バケットシリンダー ブレードシリンダー	mm mm mm mm	24 25 25	24 25 25	24 25 25	24 25 25	24 25 25
作		(測 定 時 間) (作 動 油 温) 作業装置姿勢	(分) (℃)	5 55±5	5 55±5	5 55±5	5 55±5	5 55±5
業		(図面番号表示) バケット荷重	kg	図 NO. 6~7 空荷				
	作業機速度	ブ ー ム 伸ばし 縮め 作業装置姿勢	秒 秒	$3.5\pm0.5$ $2.4\pm0.5$	$3.6\pm0.5$ $2.2\pm0.5$	$3.6\pm0.5$ $2.2\pm0.5$	$3.8\pm0.5$ $2.2\pm0.5$	$3.8\pm0.5$ $2.2\pm0.5$
装		(図面番号表示) アームシリンダー伸ばし 縮 め 作業装置姿勢	秒 秒	図 NO. 9 3. 0±0. 5 2. 6±0. 5	図 NO. 9 3. 2±0. 5 2. 8±0. 5	図 NO. 9 3. 2±0. 5 2. 8±0. 5	図 NO. 9 3. 1±0. 5 2. 8±0. 5	図 NO. 9 3. 1±0. 5 2. 8±0. 5
置		(図面番号表示) バケットシリンダー伸ばし 縮 め	秒 秒	図 NO. 10 3. 9±0. 5 2. 3±0. 5	図 NO. 10 4. 7±0. 5 2. 5±0. 5	図 NO. 10 4. 7±0. 5 2. 5±0. 5	図 NO. 10 4. 6±0. 5 2. 4±0. 5	図 NO. 10 4. 6±0. 5 2. 4±0. 5
		作業装置姿勢 (図面番号表示) (作 動 油 温) 性能測定条件 (荷重・設定モード等)	(℃)	図 NO. 11 55±5 空荷、 ハイアイト゛ル	図 NO. 11 55±5 空荷、 ハイアイト゛ル	図 NO. 11 55±5 空荷、 ハイアイト゛ル	図 NO. 11 55±5 空荷、 ハイアイト゛ル	図 NO. 11 55±5 空荷、 ハイアイドル
	油圧回路図	主回路設定圧力	kgf/cm <sup>2</sup>	357±5	357±5	357±5	357±5	357±5
油圧	設定圧力		MPa	$35.0\pm0.5$	$35.0\pm0.5$	$35.0\pm0.5$	$35.0\pm0.5$	$35.0\pm0.5$
油圧装置		性能測定条件 (設定モード等)		ハイアイト゛ル	ハイアイト゛ル	ハイアイト゛ル	ハイアイト゛ル	ハイアイト゛ル
	旋回ベアリン グ取付けボル	アウターレース取付け	kgf•m	91. $8 \pm 10.2$	91. $8 \pm 10.2$	91.8±10.2	91.8±10.2	91.8±10.2
動	トの締付け	ボルトの締付けトルク	N·m	$900 \pm 100$	$900 \pm 100$	900±100	$900 \pm 100$	$900 \pm 100$
カ		インナーレース取付け ボルトの締付けトルク	kgf•m	91. $8 \pm 10.2$	$91.8 \pm 10.2$			
伝		マハト 1 ^>wh13 () 1.7トラ	N·m	$900 \pm 100$				
達	旋回減速機取 付けボルトの	油圧モーター取付けボ ルトの締付けトルク	kgf•m	24.5±4.1	24.5±4.1	24.5±4.1	24.5±4.1	24.5±4.1
装	締付け		N·m	$240 \pm 40$				
置		旋回減速機取付けボル トの締付けトルク	kgf•m	91. $8 \pm 10.2$	91. $8 \pm 10.2$	$91.8 \pm 10.2$	$91.8 \pm 10.2$	91. $8 \pm 10.2$
			N·m	$900 \pm 100$	$900 \pm 100$	900±100	900±100	$900 \pm 100$

336D	336DL	336E	336EL					
JER10001	NLS10001	CMR10001	TEG10001					
		1	検 査	基	準	値	1	
設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ					
24 25 25	24 25 25	24 25 25	24 25 25					
5 55±5	5 55±5	5 55±5	5 55±5					
図 NO. 6~7 空荷	図 NO. 6~7 空荷	図 NO. 6~7 空荷	図 NO. 6~7 空荷					
$3.8\pm0.5$ $2.6\pm0.5$	$3.8\pm0.5$ $2.6\pm0.5$	$4.3\pm0.5$ $2.4\pm0.5$	$4.3\pm0.5$ $2.4\pm0.5$					
図 NO. 9 3. 4±0. 5 2. 8±0. 5	図 NO. 9 3. 4±0. 5 2. 8±0. 5	図 NO. 9 3. 5±0. 5 3. 1±0. 5	図 NO. 9 3. 5±0. 5 3. 1±0. 5					
図 NO. 10 4. 4±0. 5 2. 5±0. 5	図 NO. 10 4. 4±0. 5 2. 5±0. 5	図 NO. 10 4.8±0.5 2.5±0.5	図 NO. 10 4.8±0.5 2.5±0.5					
図 NO. 11 55±5 空荷、 ハイアイドル	図 NO. 11 55±5 空荷、 ハイアイト゛ル	図 NO. 11 55±5 空荷、 ハイア仆゛ル	図 NO. 11 55±5 空荷、 ハイアイト゛ル					
357±5	357±5	357±5	357±5					
$35.0\pm0.5$	$35.0\pm0.5$	$35.0\pm0.5$	$35.0\pm0.5$					
ハイアイト゛ル	ハイアイト゛ル	ハイアイト゛ル	ハイアイト゛ル					
91.8±10.2	91.8±10.2	91.8±10.2	91.8±10.2					
$900 \pm 100$	$900 \pm 100$	$900 \pm 100$	$900 \pm 100$					
91.8±10.2	91.8±10.2	91.8±10.2	91.8±10.2					
$900 \pm 100$	$900 \pm 100$	$900 \pm 100$	$900 \pm 100$					
24.5±4.1	$24.5 \pm 4.1$	24. 5±4. 1	24.5±4.1					
$240 \pm 40$	$240 \pm 40$	$240 \pm 40$	$240 \pm 40$					
91.8±10.2	91.8±10.2	91.8±10.2	91.8±10.2					
$900 \pm 100$	$900 \pm 100$	$900 \pm 100$	$900 \pm 100$					

307D∼325D (L)	⊠ NO
シリンダ自然伸縮	⊠ NO. 6
<ol> <li>測定条件</li> <li>機体を平坦地におき図のようにする。</li> <li>バケットは空にする。</li> <li>エンジンを停止する。</li> <li>測定要領         ブームシリンダ、スティックシリンダ、バケットシリンダ自然降下         <ol> <li>エンジンを始動する。</li> <li>バケットシリンダを伸びエンドにする。</li> <li>スティックシリンダを縮みから 70mm 伸ばす。</li> </ol> </li> <li>スティック先端ピンをブームフートピンと地上から同じ高さにする。エンジンを停止する。</li> <li>5 分間のロッド移動量を測定する。</li> </ol>	BOOM, STICK AND BUCKET CYLINDER TEST 3122216
作業機速度(ブームシリンダ)	⊠ NO. 7
測定要領 バケットシリンダ縮みエンド、スティックシリンダ縮みエンドにして 伸び試験・・・・バケット接地状態からブームシリンダ 伸びエンド迄の作動時間を測定する。 縮み試験・・・・ブームシリンダ伸びエンドからバケット接地迄の作動時間を測定する。	EXTENSION TEST  BOOM CYLINDER TEST  C48510P1
作業機速度(アームシリンダ)	図 NO. 8
測定要領     ブームの上面を平行に保つ。バケットシリンダ伸びエンドにして     伸び試験・・・・・ スティックシリンダ縮みエンドから伸びエンド迄の作動時間を測定する。     縮み試験・・・・・ スティックシリンダ伸びエンドから縮みエンド迄の作動時間を測定する。	EXTENSION RETRACTION TEST  STICK CYLINDER TEST  C48511P1

307D∼325D (L)	⊠ NO
作業機速度(バケットシリンダ)	図 NO. 9
測定要領 ブームの上面を地面に平行にし、スティックを垂直に立てる。  伸び試験・・・・ バケットシリンダ縮みエンドから伸びエンド迄の作動時間を測定する。  縮み試験・・・・ バケットシリンダ伸びエンドから縮みエンド迄の作動時間を測定する。	EXTENSION TEST  BUCKET CYLINDER TEST  C48512P1
履帯張り	図 NO. 1 O
<ol> <li>アイドラからキャリアローラまで届く角材をトラックの上に置くこと。</li> <li>トラックシュー上面と角材下面の最大たるみ量が 40~50mmあればトラックは正しく調整されている。尚、張り調整時はトラック周りに付着している土砂などを取り除いてから実施しすること。</li> </ol>	325529

		モデル	名	311F L	312F	312F GC	314F	315F L
-	適用範囲							
			機	JFT00001	KMK00001	FKE00001	RAF00001	TDY00001
区分		検査項目(条件)	単位		検 査	基	準 値	
	エンジン本体	エンジン回転速度   ハイアイドリング	${\tt min}^{-1}$	1800±50	2000±50	1790±50	2000±50	2000±50
		ローアイドリング	min <sup>-1</sup>	1050±50	1000±50	1050±50	900±50	900±50
		(冷却水温)	(℃)	_	_	_	_	_
		(作動油温)	(℃)	55±5	55±5	55±5	55±5	55±5
エ		弁 隙 間						
4		吸気弁 隙間	mm	設定無し	設定無し	設定無し	設定無し	設定無し
ン		排気弁 隙間	mm	(オートア ジャスタ)	(オートア ジャスタ)	(オートア ジャスタ)	(オートア ジャスタ)	(オートア ジャスタ)
		(測定条件)	(℃)					
ジ		圧縮圧力又は 気筒間圧縮圧力差	MPa kg/cm²	設定無し (コモン	設定無し (コモン	設定無し (コモン	設定無し(コモン	設定無し (コモン
ン		(冷 却 水 温) (回 転 速 度)	(°C) (rpm)	レール)	レール)	レール)	レール)	レール)
	燃料装置	噴射ノズルの	MPa	設定無し	設定無し	設定無し	設定無し	設定無し
		燃料噴射開始圧力	$kg/cm^2$	(コモン レール)	(コモン レール)	(コモン レール)	(コモン レール)	(コモン レール)
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り	mm	14~20	設定無し (オート	14~20	設定無し (オート	設定無し(オート
		測定位置・条件 (中間を指で押す力)	N (kg)	110 (11. 3)	テンショ ナ)	110 (11. 3)	テンショ ナ)	テンショ ナ)
	走行性能	最高速度	秒/3回	15.8	15. 2 (STD)	17. 5	16. 3	16. 3
		(クローラベルト 3 回転の速度)			16. 2 (LONG)			
	履 帯 (クローラ	ゴ 張り(たわみ量)	mm					
走	ベルト)	ム		_	_	_	_	_
行		張り(たわみ量)	mm	40-55	40-55	40-55	40-55	40-55
装		測定方法・条件 (図面番号表示) 鉄		(図1)	(図1)	(図1)	(図1)	(図1)
置		リンクピッチの伸びシ 測定方法・ 条件	mm	ー (トラック アジャス タ)	ー (トラック アジャス タ)	ー (トラック アジャス タ)	ー (トラック アジャス タ)	ー (トラック アジャス タ)
	1・新亩其淮値な	履板取付けボルト 締付けトルク	N·m	175±40 その後 120±5° 回転	175±40 その後 120±5° 回転	175±40 その後 120±5° 回転	175±40 その後 120±5° 回転	175±40 その後 120±5° 回転

316F L	320 GC	320	323	325F L	326F L	330F L	336F	336F
XAD00001	KTN00001	HEX00001	RAZ00001	YCA00001	TMR00001	LCG00001	YFD00001	NBL00001
			検 査	基	準 値			•
$2000 \pm 50$	$2000 \pm 50$	$2000 \pm 50$	$2000 \pm 50$	$1800 \pm 50$	1800±50	1800±50	1800±50	$1800 \pm 50$
950±50	900±50	$900 \pm 50$	900±50	900±50	900±50	900±50	900±50	900±50
_ 55±5	— 55±5	— 55±5	— 55±5	— 55±5	— 55±5	— 55±5	_ 55±5	— 55±5
設定無し (オートア ジャスタ)	設定無し (オートア ジャスタ)	設定無し (オートア ジャスタ)	設定無し (オートア ジャスタ)	設定無し (オートア ジャスタ)	設定無し (オートア ジャスタ)	設定無し (オートア ジャスタ)	0.38±0.08 0.64±0.08 冷機時	0.38±0.08 0.64±0.08 冷機時
設定無し (コモン レール)	設定無し (コモン レール)	設定無し (コモン レール)	設定無し (コモン レール)	設定無し (コモン レール)	設定無し (コモン レール)	設定無し (コモン レール)	設定無し (コモン レール)	設定無し (コモン レール)
設定無し (コモン レール)	設定無し (コモン レール)	設定無し (コモン レール)	設定無し (コモン レール)	設定無し (コモン レール)	設定無し (コモン レール)	設定無し (コモン レール)	設定無し (コモン レール)	設定無し (コモン レール)
設定無し (オート テンショ ナ)	設定無し (オート テンショ ナ)	設定無し (オート テンショ ナ)	設定無し (オート テンショ ナ)	設定無し (オート テンショ ナ)	設定無し (オート テンショ ナ)	設定無し (オート テンショ ナ)	設定無し (オート テンショ ナ)	設定無し (オート テンショ ナ)
17. 2	15. 8	16. 2 (STD) 17. 6 (LONG)	17. 6	17.9 (STD)	17. 1 (STD) 19. 3 (LONG)	18. 7 (STD) 20. 9 (LONG)	22. 5 (STD) 24. 5 (LONG)	22. 5 (STD) 24. 5 (LONG)
_	_	_	_	_	_	_	_	_
40-55	40-55	40-55	40-55	40-55	40-55	40-55	40-55	40-55
(図1)	(図1)	(図1)	(図1)	(図1)	(図1)	(図1)	(図1)	(図1)
- (トラック アジャス タ)	ー (トラック アジャス タ)	ー (トラック アジャス タ)	ー (トラック アジャス タ)	ー (トラック アジャス タ)	ー (トラック アジャス タ)	ー (トラック アジャス タ)	- (トラック アジャス タ)	ー (トラック アジャス タ)
400±70 その後 120±5° 回転	400±40 その後 120±5° 回転	400±40 その後 120±5° 回転	400±40 その後 120±5° 回転	400±70 その後 120±5° 回転	400±70 その後 120±5° 回転	400±70 その後 120±5° 回転	700±40 その後 120±5° 回転	700±40 その後 120±5° 回転

)	適用範囲	モデル	名	311F L	312F	312F GC	314F	315F L
		適用号	機	JFT00001	KMK00001	FKE00001	RAF00001	TDY00001
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位		検 査	基	準 値	
	作業機 自然降下	バケット先端位置 (測 定 時 間) (作 動 油 温) 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm (分) (℃)	設定無し	設定無し	設定無し	設定無し	設定無し
作	シリンダー 自 然 伸 縮	ブームシリンダー	mm	-/6	-/4.5	-/4.5	-/4.5	-/4.5
	*	アームシリンダー	mm	10/25	10/25	10/25	10/25	10/25
業		バケットシリンダー	mm	20/10	20/10	20/10	20/10	20/10
		ブレードシリンダー 作業装置姿勢	mm	_	9	_	9	9
装		(図面番号表示) (作動油温)	(℃)	(図 2) (55±5)				
	作業機速度 ★	ブーム上げ	sec	$2.9\pm0.3$	3.4±0.3	$3.3\pm0.5$	$3.3\pm0.3$	$3.2\pm0.3$
置	^	アームシリンダー伸ばし 縮 め	sec sec	$2.3\pm0.3$ $2.1\pm0.3$	$2.6\pm0.3$ $2.6\pm0.3$	$2.7\pm0.5$ $2.7\pm0.5$	$2.6\pm0.3$ $2.6\pm0.3$	$2.5\pm0.3$ $2.5\pm0.3$
		バケットシリンダー伸ばし 縮 め	sec sec	$4.0\pm0.3$ $2.1\pm0.3$	$3.8\pm0.3$ $2.0\pm0.3$	$3.7\pm0.8$ $2.2\pm0.5$	$3.9\pm0.3$ $2.0\pm0.3$	$3.8\pm0.3$ $2.0\pm0.3$
		性能測定条件					STD ブーム	STD ブーム
		(図面番号表示)		(図3)	(図3)	(図3)	(図3)	(図3)
油	油 圧 回 路 設 定 圧 力	主回路設定圧力	MPa	30.5±0.5	30.5±0.5	30. 5 +0. 5 -1. 5	30.5±0.5	30.5±0.5
圧装置		性能測定条件 (エンジン:定格回転) (油温:55±5℃)						
		アウターレース取付け ボルトの締付けトルク	N·m	270±40	270±40	270±40	270±40	270±40
動		インナーレース取付け ボルトの締付けトルク	N·m	$270 \pm 40$				
力		ヘハノレートマノが作行すす」 トプレグ						
伝	LA - NASL 101 -	W						
達装		油圧モーター取付けボ ルトの締付けトルク	N·m	90.2±9.0	90.2±9.0	90.2±9.0	90.2±9.0	90.2±9.0
置		旋回減速機取付けボル トの締付けトルク	N·m	270±40	270±40	270±40	270±40	270±40
	1・発声甘潍値な							

316F L	320 GC	320	323	325F L	326F L	330F L	336F	336F
XAD00001	KTN00001	HEX00001	RAZ00001	YCA00001	TMR00001	LCG00001	YFD00001	NBL00001
Mibooot	MINOSOI	TIEMO O O T	検 査	基	準値	Beddddi	1100001	1,000001
設定無し	設定無し	設定無し	設定無し	設定無し	設定無し	設定無し	設定無し	設定無し
-/4.5	-/15	-/15	-/15	-/4.5	-/4.5	-/4.5	-/6	-/6
10/25	10/25	10/25	10/25	10/25	20/10	20/10	10/25	10/25
20/10	20/10	20/10	20/10	20/10	10/20	10/20	20/10	20/10
_	_	_	_	_	_	_	_	_
(図 2) (55±5)	(図 2) (55±5)	(図 2) (55±5)	(図 2) (55±5)	(図 2) (55±5)	(図 2) (55±5)	(図 2) (55±5)	(図 2) (55±5)	(図 2) (55±5)
$3.1\pm0.3$	$3.3\pm0.3$	$3.3\pm0.3$	$3.3\pm0.3$	$3.4\pm0.3$	$3.3\pm0.3$	$3.4\pm0.3$	$3.4\pm0.5$	$3.4\pm0.5$
$2.9\pm0.3$ $2.3\pm0.3$	$3.0\pm0.3$ $2.7\pm0.3$	$3.2\pm0.3$ $2.7\pm0.3$	$2.9\pm0.3$ $2.7\pm0.3$	$3.2\pm0.3$ $2.5\pm0.3$	$3.0\pm0.3$ $2.6\pm0.3$	$2.8\pm0.3$ $2.6\pm0.3$	$3.3\pm0.5$ $2.9\pm0.5$	$3.3\pm0.5$ $2.9\pm0.5$
$4.3\pm0.3$ $2.2\pm0.3$	$3.2\pm0.3$ $1.8\pm0.3$	$3.5\pm0.3$ $1.8\pm0.3$	$3.5\pm0.3$ $1.8\pm0.3$	$3.8\pm0.3$ $2.0\pm0.3$	$4.2\pm0.3$ $2.3\pm0.3$	$4.1\pm0.3$ $2.3\pm0.3$	$4.3\pm0.5$ $2.3\pm0.5$	$4.3\pm0.5$ $2.3\pm0.5$
(図3)	(図3)	(図3)	(図3)	B/SLCV 無し (図 3)	CB バケット (図 3)	CB バケット (図 3)	DB バケット STD ブーム (図 3)	DB バケット STD ブーム (図 3)
$35.0\pm0.5$	35. 0 <sup>+0. 5</sup> <sub>-2. 0</sub>	35. 0 <sup>+0. 5</sup> <sub>-2. 0</sub>	35. 0 <sup>+0. 5</sup> <sub>-2. 0</sub>	35. 0 <sup>+0. 5</sup> <sub>-1. 0</sub>	$35.0\pm0.5$	$35.0\pm0.5$	35.0±0.5	$35.0\pm0.5$
				(STD)	(STD)	(STD)	(STD)	(STD)
270±40	150±15 その後 60±5° 回転	150±15 その後 60±5° 回転	150±15 その後 60±5° 回転	270±40	900±100	900±100	900±100	900±100
$270 \pm 40$	150±15 その後 60±5° 回転	150±15 その後 60±5° 回転	150±15 その後 60±5° 回転	$270 \pm 40$	900±100	900±100	900±100	900±100
90.2±9.0	90.2±9.0	90.2±9.0	90.2±9.0	90.2±9.0	105±20	105±20	105±20	105±20
250±25 その後 45±5° 回転	250±25 その後 45±5° 回転	250±25 その後 45±5° 回転	250±25 その後 45±5° 回転	250±25 その後 45±5° 回転	900±100	900±100	900±100	900±100

			-					
-	適用範囲	モ デ ル	名 	336F L	336F L	336F XE	336F L XE	
		適用号	機	LCL00001	DSW00001	NAJ00001	PFL00001	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位		検 査	基	準 値	
	エンジン本体	—						
		ハイアイドリング	min <sup>-1</sup>	$1800 \pm 50$	$1800 \pm 50$	$1800 \pm 50$	$1800 \pm 50$	
		ローアイドリング	min <sup>-1</sup>	$900 \pm 50$	$900 \pm 50$	$900 \pm 50$	$900 \pm 50$	
		(冷 却 水 温) (作 動 油 温)	(℃) (℃)	- 55±5	— 55±5	— 55±5	— 55±5	
		弁 隙 間	(0)	00 - 0	30 - 3	33 - 3	33 - 3	
エ		吸気弁 隙間	mm	0.38±0.08	$0.38\pm0.08$	0.38±0.08	0.38±0.08	
ン		排気弁 隙間	mm	$0.64\pm0.08$	$0.64\pm0.08$	0.64±0.08	$0.64 \pm 0.08$	
		(測定条件)	(℃)	冷機時	冷機時	冷機時	冷機時	
ジ		圧縮圧力又は 気筒間圧縮圧力差	MPa kg/cm²	設定無し (コモン	設定無し (コモン	設定無し (コモン	設定無し (コモン	
ン		(冷 却 水 温) (回 転 速 度)	(℃) (rpm)	レール)	レール)	レール)	レール)	
	燃料装置		MPa	設定無し	設定無し	設定無し	設定無し	
		燃料噴射開始圧力	kg/cm <sup>2</sup>	(コモン レール)	(コモン レール)	(コモン レール)	(コモン レール)	
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り	mm	設定無し(オート	設定無し(オート	設定無し(オート	設定無し(オート	
		測定位置・条件 (中間を指で押す力)	N (kg)	テンショ ナ)	テンショ ナ)	テンショ ナ)	テンショナ)	
	走行性能	最高速度	秒/3回	22. 5	22. 5	22. 5	22. 5	
		(クローラベルト		(STD) 24.5	(STD) 24.5	(STD) 24. 5	(STD) 24. 5	
		3 回転の速度)		(LONG)	(LONG)	(LONG)	(LONG)	
	履帯	ゴ 張り (たわみ量)	mm					
走	(クローラ ベルト)	ム ベ 測定方法・条件 ル (図面番号表示)		_	_	_	_	
行		張り(たわみ量)	mm	40-55	40-55	40-55	40-55	
11		測定方法・条件						
装		(図面番号表示)		(図1)	(図1)	(図1)	(図1)	
		リンクピッチの伸び	mm	_			-	
置		ュ [測定方法・ 条件 ]		(トラック アジャス タ)	(トラック アジャス タ)	(トラック アジャス タ)	(トラック アジャス タ)	
		履板取付けボルト	N·m	700±40	700±40	700±40	700±40	
		締付けトルク		その後 120±5° 回転	その後 120±5° 回転	その後 120±5° 回転	その後 120±5° 回転	

I	I	検 査	基	準 値	I	l

								1	<u> </u>	
j	適用範囲	モ	デ	ル 名	7	336F L	336F L	336F XE	336F L XE	
		適	用	号 核	幾	LCL00001	DSW00001	NAJ00001	PFL00001	
区分	検査箇所	検査項目	(条件)	)	単位		検 査	基	準 値	
	作業機 自然降下	バケット先端 (測 定 時 (作 動 油 作業装置3 (図面番号)	間) 温) ※勢		mm (分) (℃)	設定無し	設定無し	設定無し	設定無し	
作	シリンダー 自 然 伸 縮	ブームシリン	/ダー		mm	-/6	-/6	-/6	-/6	
	*	アームシリン	/ダー		mm	10/25	10/25	10/25	10/25	
業		バケットシリ	レダー	-	mm	20/10	20/10	20/10	20/10	
		ブレードシリ 作業装置箋		-	mm	_	_	_	_	
装		(図面番号)	表示)		(°C)	(図 2) (55±5)	(図 2) (55±5)	(図 2) (55±5)	(図 2) (55±5)	
	作業機速度	ブーム上	げ		sec	$3.4\pm0.5$	$3.4\pm0.5$	$3.4\pm0.5$	$3.4\pm0.5$	
置	*	アームシリンク		ばしめ	sec sec	$3.3\pm0.5$ $2.9\pm0.5$	$3.3\pm0.5$ $2.9\pm0.5$	$3.3\pm0.5$ $3.0\pm0.5$	$3.3\pm0.5$ $3.0\pm0.5$	
		バケットシリン	ダー伸 <i>l</i> 縮		sec sec	$4.3\pm0.5$ $2.3\pm0.5$	$4.3\pm0.5$ $2.3\pm0.5$	$4.3\pm0.5$ $2.3\pm0.5$	$4.3\pm0.5$ $2.3\pm0.5$	
		性能測定条	<b>冷</b> 件					DBバケット	DBバケット	
		(図面番号	表示)			STD ブーム (図 3)	STD ブーム (図 3)	(図 3)	(図3)	
油	油 圧 回 路 設 定 圧 力	主回路設定圧	三力		MPa	$35.0\pm0.5$	$35.0\pm0.5$	35. 0 <sup>+0. 5</sup> <sub>-1. 0</sub>	35. 0 <sup>+0. 5</sup> <sub>-1. 0</sub>	
王生装置		性能測定条 (エンジン: (油温:55)	定格回			(STD)	(STD)			
	旋回ベアリン グ取付けボル トの締付け				N·m	900±100	900±100	900±100	900±100	
動		インナーレー ボルトの締付			N·m	$900 \pm 100$	900±100	900±100	900±100	
力伝	旋回減速機取	油圧モーター	-取付	けボ	N·m	105±20	105±20	105±20	105±20	
	付けボルトの締付け					- <b>-</b>				
装	i Viah [ 기 t /	旋回減速機即 たの締付けト		ボル	N·m	900±100	900±100	900±100	900±100	
置	1.杂亩甘淮佔太		·/レツ							

	検 <u>査</u>	基	準 値			
1	I.	I.		I.	1	1

	Ned also I. M.
項目	
履帯張り (たわみ量)	<ol> <li>アイドラからキャリアローラまで届く角材をトラックの上に置く。</li> <li>トラックシュー上面と角材下面の最大たるみ量が 40~50mmあればトラックは正しく調整されている。</li> <li>尚、張り調整時はトラック周りに付着している土砂などを取り除いてから実施しすること。</li> </ol>
シリンダ自然伸縮	測定条件 1. 機体を平坦地におき図のようにする 2. バケットは空にする 3. エンジンを停止する
	測定要領 ブームシリンダ、スティックシリンダ、バケットシリンダ自然降下 1. エンジンを始動する。 2. バケットシリンダを伸びエンドにする。 3. スティックシリンダを縮みから 70mm 伸ばす。 4. スティック先端ピンをブームフートピンと地上から同じ高さにする。エンジンを停止する。 5 分間のロッド移動量を測定する。

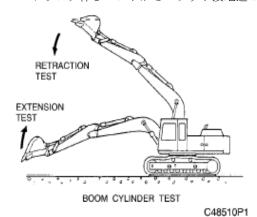
## 作業機速度 (ブームシリンダ)

### 測定要領

バケットシリンダ縮みエンド、スティックシリンダ縮みエンドにし

伸び試験・・・・・ バケット接地状態からブームシリンダ伸びエンド迄の作動時間を測定

縮み試験…… ブームシリンダ伸びエンドからバケット接地迄の作動時間を測定



### 図 3-1

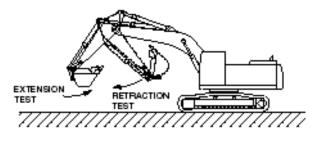
## 作業機速度 (アームシリンダ)

### 測定要領

ブームの上面を平行に保つ。バケットシリンダ伸びエンドにし

伸び試験・・・・・ スティックシリンダ縮みエンドから伸びエンド迄の作動時間を測定

縮み試験・・・・・ スティックシリンダ伸びエンドから縮みエンド迄の作動時間を測定



STICK CYLINDER TEST

#### 図 3-2

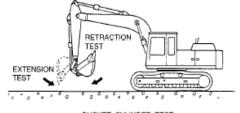
## 作業機速度 (バケット シリンダ)

### 測定要領

ブームの上面を地面に平行にし、スティックを垂直に立て

伸び試験・・・・・ バケットシリンダ縮みエンドから伸びエンド迄の作動時間を測定

縮み試験・・・・ バケットシリンダ伸びエンドから縮みエンド迄の作動時間を測定



BUCKET CYLINDER TEST

図 3-3

C48512P1

C48511P1

# クボタ

				H 00 G	H 05 6	H 40 GD	UEE AD	
ì	適用範囲	モデル	名	U-30-6 H 仕様	U-35-6 H 仕様	U-40-6E H 仕様	U55-6E H 仕様	
		適用号	機	10001~	10001~	10001~	10001~	
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位		検 査	基	準 値	
	エンジン本体	エンジン回転速度						
		ハイアイドリング	min <sup>-1</sup>	2175~2225	2175~2225	2200≧	2300≧	
		ローアイドリング	$\min^{-1}$	1025~1075	1025~1075	1100~1250	1100~1250	
		(冷 却 水 温)	(℃)	(50≧)	(50≧)	(50≧)	(50≧)	
		(作動油温)	(℃)	$(50 \pm 5)$	$(50 \pm 5)$	$(50 \pm 5)$	$(50 \pm 5)$	
		弁 隙 間						
		吸気弁 隙間	mm	0. 18~0. 22	0. 18~0. 22	0.18~0.22	0.13~0.17	
エ		排気弁 隙間	mm	0. 18~0. 22	0.18~0.22	0.18~0.22	0.13~0.17	
ン		(測 定 条 件)	(℃)	(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)	
		圧縮圧力又は	MPa	3. 23~3. 72	3. 23~3. 72	2.94~3.23	3. 2	
		気筒間圧縮圧力差	kgf/cm <sup>2</sup>	33~38	33~38	30.0~32.9	33	
ジ		(冷却水温)	(℃)	(80~90)	(80~90)	(80~90)	(80~90)	
		(回転速度)	(rpm)	(250rpm)	(250rpm)	(250rpm)	(250rpm)	
ン	燃料装置	噴射ノズルの	MPa	13.7~14.7	13.7~14.7			
	,	燃料噴射開始圧力	1111 6	1011	1011	_	_	
			kgf/cm <sup>2</sup>	140~150	140~150			
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り	mm	9 <b>~</b> 11	9~11	7 <b>∼</b> 9	7 <b>∼</b> 9	
		測定位置・条件	N·m	58. 8∼68. 6N	58.8∼68.6N	58. 8∼68. 6N	58.8∼68.6N	
		(中間を指で押す力)	(kgf)	$(6\sim7\mathrm{Kgf})$	(6∼7Kgf)	(6∼7Kgf)	(6∼7Kgf)	
				オルタネータ〜 ファンプーリ	オルタネータ〜 ファンプーリ	オルタネータ〜 クランクプーリ	オルタネータ〜 クランクプーリ	
	十 年 45	目立法座	て 人					
	走行性能	取尚迷茂	秒	6.9~8.6 〔2 速〕	7.2~8.8 〔2 速〕	6.7~8.2 〔2 速〕	6.7~8.2 〔2 速〕	
		(測定方法・条件)		(2 85)	(2 (2)	(2 (2)	(2)	
				(図 No. 7)	(図 No. 7)	(図 No. 7)	(図 No. 7)	
	履帯	<sub>ゴ</sub> 張り(たわみ量)	mm	10~15	10~15	10~15	10~15	
	(クローラ	<u></u>						
走	ベルト)	ベ 〔測定方法・条件 ル (図面番号表示)〕		〔図 No. 5〕	〔図 No. 5〕	〔図 No. 5〕	〔図 No. 5〕	
		ト L・D 寸法		D D	D D	D D	D D	
行		張り(たわみ量)	mm	75~80	75~80	80~85	80~85	
1.1		CORRESPONDED TO THE PARTY.						
		〔測定方法・条件		רוֹס ווי בוֹ	〔図 No. 5〕	〔図 No. 5〕	(IVI No. E)	
装		(図面番号表示)] 鉄 L・D 寸法		〔図 No. 5〕 D	D D	[図 No. 5] D	〔図 No. 5〕 D	
		サンクピッチの伸び	mm	406. 4	406. 4	540	540	
置		シ						
1		八測定方法・   条件		[図 No. 6]	〔図 No. 6〕	〔図 No. 6〕	〔図 No. 6〕	
		履板取付けボルト	N·m					
		締付けトルク	1 6					
			kgf·m	_	_	_	_	
ب	   ・		l		I .	I .	l	

RX-306E H 仕様	RX-406E H 仕様	RX-506 H 仕様		KX-57-6E H 仕様				
20001~	20001~	10001~		10001~				
20001	20001	10001	<u> </u> 検 査	基	<u> </u> 準	値		
			1K II.	<b>A</b>		III.		
$ 2450 \geqq \\ 1000 \sim 1100 \\ (50 \geqq) \\ (50 \pm 5) $	$ 2450 \ge \\ 1000 \sim 1100 \\ (50 \ge) \\ (50 \pm 5) $	$ 2200 \ge \\ 1100 \sim 1250 \\ (50 \ge) \\ (50 \pm 5) $		$ 2300 \ge \\ 1050 \sim 1200 \\ (50 \ge) \\ (50 \pm 5) $				
(30 ± 3)	(30 ± 3)	(30 ± 3)		(30 ± 3)				
0. 18~0. 22 0. 18~0. 22	0. 18~0. 22 0. 18~0. 22	0. 18~0. 22 0. 18~0. 22		0. 13~0. 17 0. 13~0. 17				
(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)		(冷態時)				
3. 23~3. 72 33~38	3. 23~3. 72 33~38	$2.94\sim3.23$ $30.0\sim32.9$		3. 2 33				
(80~90) (250rpm)	(80~90) (250rpm)	(80~90) (250rpm)		(80~90) (250rpm)				
13.7~14.7	13.7~14.7							
140~150	140~150	_						
7	7	7~9		7 <b>∼</b> 9				
98N (10kgf)  オルタネータ〜 クランクプーリ	98N(10kgf) オルタネータ〜 クランクプーリ	58.8~68.6N (6~7Kgf) オルタネータ~ クランクプーリ		58.8~68.6N (6~7Kgf) オルタネータ~ クランクプーリ				
7.1~8.8 〔2 速〕	7.5~9.0 〔2 速〕	7.2~8.8 〔2 速〕		6.7~8.2 〔2 速〕				
[図 No. 7]	〔図 No. 7	(図 No. 7)		〔図 No. 7〕				
10~15	10~15	10~15		10~15				
(図 No. 5)	〔図 No. 5〕	〔図 No. 5〕		[図 No. 5]				
D	D	D		D				
75~80	75~80	80~85		80~85				
(図 No. 5)	〔図 No. 5〕	〔図 No. 5〕		[図 No. 5]				
D	D	D		D				
406. 4	406. 4	540		540				
[図 No. 6]	[図 No. 6]	[図 No. 6]		[図 No. 6]				
-	-	-		_				

# クボタ

				<u> </u>				
	適用範囲	モデル	名	U-30-6 H 仕様	U-35-6 H 仕様	U-40-6E H 仕様	U55-6E H 仕様	
		適用号	機	10001~	10001~	10001~	10001~	
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位		検 査	基	準 値	
	作 業 機	バケット先端位置	mm					
	自然降下	<ul><li>(測定時間)</li><li>(作動油温)</li><li>作業装置姿勢</li><li>(図面番号表示)</li></ul>	(分) (℃)	_	_	_	_	
	シリンダー	ブームシリンダー	mm	20≧	20≧	20≧	20≧	
	自然伸縮		負荷kg	162	198	252	270	
作		(図面番号表示) アームシリンダー	mm	〔図 No. 1〕 10≧	〔図 No. 1〕 10≧	〔図 No. 1〕 10≧	〔図 No. 1〕 10≧	
		作業装置姿勢	負荷 kg	162	198	252	270	
		(図面番号表示)		(図 No. 1)	(図 No. 1)	(図 No. 1)	(図 No. 1)	
NII.		バケットシリンダー 作業装置姿勢	mm 負荷 kg	10≧ 162	10≧ 198	10≧ 252	10≧ 270	
業		(図面番号表示)	只用 Kg	102 〔図 No. 1〕	196 〔図 No. 1〕	252 〔図 No. 1〕	②No. 1)	
		ブレードシリンダー	mm	20≧	20≧	20≧	20≧	
		作業装置姿勢 (図面番号表示)		(図 No. 8)	〔図 No. 8〕	〔図 No. 8〕	〔図 No. 8〕	
装		(作動油温)	(℃)	50±5	50±5	50±5	50±5	
	作業機速度	ブーム上げ	S	$2.6\pm0.3$	$2.6\pm0.3$	$2.6\pm0.3$	2.6±0.3	
		作業装置姿勢 (図面番号表示)		〔図 No. 2〕	〔図 No. 2〕	〔図 No. 2〕	〔図 No. 2〕	
		アームシリンダー伸ばし	S	$2.5\pm0.3$	$2.5 \pm 0.3$	$2.5 \pm 0.3$	$2.9 \pm 0.3$	
置		縮め	S	$2.8\pm0.3$	$2.8\pm0.3$	$2.3\pm0.3$	$2.6\pm0.3$	
		作業装置姿勢 (図面番号表示)		〔図 No. 3〕	〔図 No. 3〕	〔図 No. 3〕	〔図 No. 3〕	
		バケットシリンダー伸ばし	S	$2.7 \pm 0.3$	$2.7 \pm 0.3$	2.8±0.3	2.8±0.3	
		縮め	S	$1.9\pm0.3$	$1.8\pm 0.3$	$2.0\pm0.3$	$1.9\pm0.3$	
		作業装置姿勢 (図面番号表示) 性能測定条件		〔図 No. 4〕	〔図 No. 4〕	〔図 No. 4〕	〔図 No. 4〕	
		(荷重・設定モード等)		〔無負荷〕	〔無負荷〕	〔無負荷〕	〔無負荷〕	
油圧	油 圧 回 路 設 定 圧 力	主回路設定圧力 (P1/P2)	MPa kgf/cm²	24. 5 250	24. 5 250	24. 5 250	27. 9 280	
装置	- /- /- /J	性能測定条件	油温/	50±5℃/	50±5℃/	50±5℃/	50±5℃/	
直			Eng	フル回転	フル回転	フル回転	フル回転	
	旋回ベアリン グ取付けボル	アウターレース取付け ボルトの締付けトルク	$N \cdot m$	259.9~304.0	259.9~304.0	259.9~304.0	259.9~304.0	
	トの締付け	- / ·   - / /	kgf•m	26.5~31.0	26.5~31.0	26.5~31.0	26.5~31.0	
動		インナーレース取付け ボルトの締付けトルク	$N \cdot m$	259.9~304.0	259.9~304.0	259.9~304.0	259.9~304.0	
力		マント   マンMは   3 (1)   1.7トラ	Kgf∙m	26.5~31.0	26. 5~31. 0	26.5~31.0	26.5~31.0	
伝		油圧モーター取付けボ	N·m	166.7~196.1	166.7~196.1	259.9~304.0	259.9~304.0	
達	付けホルトの 締付け	ルトの締付けトルク	kgf·m	17.0~20.0	17.0~20.0	26.5~31.0	26.5~31.0	
装		旋回減速機取付けボル	N·m					
置		トの締付けトルク	kgf·m					
			01 1111	_	_	_	_	
<u> </u>	1. သまま進結な			<u> </u>				

RX-306E H 仕様	RX-406E H 仕様	RX-506 H 仕様		KX-57-6E H 仕様				
20001~	20001~	10001~		10001~				
20001	20001	10001	<u> </u> 検 査	基	準	値		
_	_	_		_	·	,,		
$20 \ge$ $162$ [⊠ No. 1] $10 \ge$ $162$ [⊠ No. 1] $10 \ge$ $162$ [⊠ No. 1] $10 \ge$ $162$ [⊠ No. 1]	20≥ 198 [図 No. 1] 10≥ 198 [図 No. 1] 10≥ 198 [図 No. 1] 20≥	$20 \ge 378$ [⊠ No. 1] $10 \ge 378$ [⊠ No. 1] $10 \ge 378$ [⊠ No. 1] $10 \ge 378$ [⊠ No. 1] $20 \ge 378$		20≥ 288 [図 No. 1] 10≥ 288 [図 No. 1] 10≥ 288 [図 No. 1] 288 [図 No. 1]				
(図 No. 8) 50±5	〔図 No. 8〕 50±5	(図 No. 8) 50±5		〔図 No. 8〕 50±5				
$3.7\pm0.3$	$3.7\pm0.3$	$3.4\pm0.3$		$2.7\pm0.3$				
[図 No. 2] 3. 9±0. 3 2. 5±0. 3	(図 No. 2) 4. 0±0. 3 2. 6±0. 3	[図 No. 2] 3. 2±0. 3 2. 6±0. 3		[図 No. 2] 2. 7±0. 3 2. 7±0. 3				
(図 No. 3) 2. 6±0. 3 1. 6±0. 3	(図 No. 3) 2. 6±0. 3 1. 6±0. 3	(図 No. 3) 3. 4±0. 3 2. 0±0. 3		(図 No. 3) 3.0±0.3 2.1±0.3				
(図 No. 4)	[図 No. 4]	(図 No. 4)		(図 No. 4)				
〔無負荷〕	〔無負荷〕	〔無負荷〕		〔無負荷〕				
25.5 260 50±5℃/ フル回転	25.5 260 50±5℃/ フル回転	24.5 250 50±5℃/ フル回転		27.9±0.5 285±5 50±5℃/ フル回転				
259.9~304.0	259.9~304.0	259.9~304.0		259.9~304.0				
26.5~31.0	26.5~31.0	26. 5~31. 0		26.5~31.0				
259.9~304.0	259. 9~304. 0	259.9~304.0		259.9~304.0				
26.5~31.0	26.5~31.0	26. 5~31. 0		26.5~31.0				
166.7~196.1	166.7~196.1	259.9~304.0		259.9~304.0				
17.0~20.0	17.0~20.0	26.5~31.0		26.5~31.0				
_	_	-		_				

ク	
項目	測 定 方 法
シリンダの自然降下量	
<ol> <li>(測定要領)</li> <li>水平な場所に機械を置く。バケット山積負荷とする。</li> <li>アームシリンダを一杯縮め、バケットシリンダを一杯伸ばす。</li> <li>バケットの底面地上高さを、1m程度の位置にする。</li> <li>ブーム、アーム、バケットのシリンダロッドに印をつける。</li> <li>10分間後の降下量を、スケールで測定する。油温:50±5℃</li> </ol>	図 No. 1
<ol> <li>ブームシリンダ</li> <li>アームシリンダ、バケットシリンダを最縮小。</li> <li>エンジンを最高回転にする。</li> <li>接地→シリンダエンド間の所要時間を測定する。</li> <li>注、クッション作動時間は含まない。</li> </ol>	図 No. 2
<ol> <li>アームシリンダ</li> <li>ブーム、アームを図の状態にする。</li> <li>エンジンを最高回転にする。</li> <li>アームシリンダのフルストロークの所要時間を測定する。</li> </ol>	図 No. 3
<ol> <li>バケットシリンダ</li> <li>ブーム、アームを図の状態にする。</li> <li>エンジンを最高回転にする。</li> <li>バケットシリンダのフルストロークの所要時間を測定する。</li> </ol>	

# 方 項 目 測 定 法 クローラの張り クローラ部を浮かす 注) ゴムクローラの場合は継目マーク(∞)を上部 中央にくるようにして調整する。 調整後1~2回クローラを回して張代を確認する。 ・トラックローラの踏面と、リンク踏面とのすき間 L又Dを測定する。 図 No. 5 鉄シューリンクピッチの伸び 測定方法 (4リンク分) ・マスタピンから1~2 リンク離れた4リンク分を 測定する。 ・シューリンクを張った状態で測定すること。 図 No. 6 走行性能 最高速度測定方法 条件 作動油温度:50±5℃ ・走行姿勢にし、各速度の最高速度が得られるまで 助走する。 ・10m間の所要時間を測定する。 ①助走 ②測定区間(10m) 図 No. 7 ブレードシリンダ自然伸縮 測定方法 条件 作動油温度:50±5℃ ・フロントとブレードを使用し上図のように車体を 持ち上げる。 ・ブレードのシリンダロッドに印を付ける。 ・10 分後の降下量をスケールで測定する。 図 No. 8

# クボタ

# クレーン時の旋回速度測定

適用	節 囲	モ デ ル	名	U-30-6	U-35-6	U-40-6E	U-55-6E	
		適用号	機	10001~	10001~	10001~	10001~	
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位		検 査	基	準 値	
達動	クレーン	2回転の所要時間	秒	13.9~20.6	13.9~20.6	14.3~21.4	13. 5~20. 3	
装力	時の旋回速度	エンジン回転数	rpm	1775~1825	1775~1825	1575~1725	1575~1725	
置伝		測定姿勢	参照図	図番 G-001	図番 G-001	図番 G-001	図番 G-001	

適用	1 範 囲	モデル	名	RX-306E	RX-406E	RX-506		
		適用号	機	20001~	20001~	10001~		
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位		検 査	基	準 値	
達動		2回転の所要時間	秒	15. 2~22. 6	15. 2~22. 6	14.3~21.4		
装力	クレーン 時の旋回	エンジン回転数	rpm	1725~1875	1725~1875	1575~1725		
置伝	速度	測定姿勢	参照図	図番 G-001	図番 G-001	図番 G-001		

## 旋回所要時間の測定方法

図番G-001

- ・測定前に左右の旋回操作を繰り返し、旋回モーターを十分温めておく。
- ・作動油温度を 50±5 ℃にする。
- ・測定姿勢は、ブームシリンダー、アームシリンダー、バッケットシリンダーを最伸長とする。
- ・ 旋回姿勢は、ブームを上げ、アーム掻き込み、バケット掻き込みとする。
- ・自動切替付の機種は、クレーンモードスイッチを 押すと自動的に機種別のエンジン回転数になるの で、2回転する時間を測定する。
- ・自動切り替え以外の機種は、エンジン最高回転で、 旋回操作レバーをフルストローク操作し、旋回体 が3回転する時間を測定する。

#### 【注意】

・測定を開始する前に、旋回範囲内に人や障害物がないことを確認すること。



				T	T	T	T	1
j	適用範囲	モデル	名	SK10SR-3 後方小旋回	SK17SR-5 後方小旋回	SK20SR-5V 後方小旋回	SK20UR-6 超小旋回	SK28SR-6 後方小旋回
		適用号	機	PA04-1000∼	PU10-20000~	PM11-20000~	PB05−2201∼	PD03-05001~
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位		検 査	基	準 値	
	エンジン本体	エンジン回転速度						
		ハイアイドリング	min <sup>-1</sup>	$2160 \pm 25$	$2350 \pm 25$	$2570\pm25$	$2375 \pm 25$	$2570 \pm 25$
		ローアイドリング	min <sup>-1</sup>	$1250 \pm 25$	$1225 \pm 25$	$1200 \pm 25$	$1250 \pm 25$	1450+25
		(冷 却 水 温)	(℃)	60~90	60~90	60~90	60~90	60~90
		(作動油温)	(℃)	$(50 \pm 5)$	(50)	(50)	(50)	(50)
		弁 隙 間						
		吸気弁 隙間	mm	$0.2\pm 0.05$				
エ		排気弁 隙間	mm	$0.2\pm 0.05$				
ン		(測定条件)	( )	(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)
		圧縮圧力又は	MPa	3. 20	3. 20	3.40	$3.45\pm0.1$	$3.16\pm0.1$
		気筒間圧縮圧力差	kg/cm <sup>2</sup>	33	33	33	25	25
ジ		(冷却水温)	(℃)	60~90	60~90	60~90	60~90	60~90
		(回転速度)	$(\min^{-1})$	250	250	250	250	250
ン	燃料装置	噴射ノズルの	MPa	12. 3	13. 7	19. 6	19. 6	
		燃料噴射開始圧力						_
			kg/cm <sup>2</sup>	125	140	200	200	
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り	mm	8~10	8~10	8~10	8~10	8~10
		測定位置・条件		ウォータポンプ <b>)</b>	ウォータポンプ <b>)</b>	ウォータポンプ <b>)</b>	ウォータポンプ <b>)</b>	ウォータポンプ <b>)</b>
		(kgとNの両方で表記)		クランクプーリ	クランクプーリ	クランクプーリ	クランクプーリ	クランクプーリ
				10kg (98N)				
	走行性能		S	13. 7	15. 7	18.8	18.8	18.8
		鉄		クローラ5回転	16.1 クローラ5回転	19.3 クローラ5回転	19.3 クローラ5回転	19.3 クローラ5回転
		(測定方法・条件)		高速モード	高速モード	高速モード	高速モード	高速モード
				図-01	図-01	図-01	図-01	図-01
	履帯	ゴ 張り (たわみ量)	mm	60~70	45~50	80~90	80~90	70~80
走	(クローラ ベルト)	ム 測定方法・条件						
疋	7× 1.)	ル (図面番号表示)		図-02	図-02	図-02	図-02	図-02
		F						
行		張り (たわみ量)	mm	75~80	75~80	90~95	75~80	110~120
		測定方法・条件						
装		(図面番号表示)		図-02	図-02	図-02	図-02	図-02
12		鉄						
		リンクピッチの伸び	mm		90~95	115~130	115~130	105~130
置		シ    測定方法・		_	1リンクピン	1リンクピン	1リンクピン	1リンクピン
		ユ 条件			間距離	間距離	間距離	間距離
			2.7					
			N·m					
			kg•m	_	_	_	_	_
		測定方法・						
Щ	・新雨其淮値な	条件	j					

	1					I	ı
SK30SR-6 後方小旋回	SK30UR-6 超小旋回	SK35SR-6 後方小旋回	SK38UR-6 超小旋回	SK45SR-6 後方小旋回	SK50UR-6E 超小旋回	SK55SR-6E 後方小旋回	
PW15-50001~	PR09-20001~	PX16-30001~	PQ03-01001~	PH08-10001~	YJ08-20001~	PS04-10001~	
			検査	基	準 値	•	
$2570 \pm 25$	$2570\pm25$	$2570 \pm 25$	$2570 \pm 25$	$2590 \pm 25$	$2430 \pm 10$	$2430 \pm 10$	
$1450 \pm 25$	1450+25	$1450 \pm 25$	$1450 \pm 25$	$1290 \pm 25$	$1150 \pm 10$	$1150 \pm 10$	
(60~90)	(60~90)	(60~90)	(60~90)	$(60\sim 90)$	$(60\sim 90)$	(60~90)	
(50)	(50)	(50)	(50)	(50)	(50)	(50)	
$0.2\pm 0.05$	$0.2\pm 0.05$	$0.2\pm 0.05$	$0.2\pm 0.05$	$0.2\pm 0.05$	$0.2\pm 0.05$	$0.2\pm 0.05$	
$0.2\pm 0.05$	$0.2\pm 0.05$	$0.2\pm 0.05$	$0.2\pm 0.05$	$0.2\pm 0.05$	$0.2\pm 0.05$	$0.2\pm 0.05$	
(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)	
$3.16\pm0.1$	$3.16\pm0.1$	$3.16\pm0.1$	$3.16\pm0.1$	$3.43\pm0.1$	$3.43\pm0.1$	$3.43\pm0.1$	
25	25	25	25	25	25	25	
60~90	60~90	60~90	60~90	60~90	60~90	60~90	
250	250	250	250	250	250	250	
_	_	_	_	_	_	_	
8~10	8 <b>∼</b> 10	8 <b>∼</b> 10	8~10	8 <b>∼</b> 10	8 <b>∼</b> 10	8~10	
ウォータポンプ	ウォータポンプ	ウォータポンプ	ウォータポンプ	ウォータポンプ	ウォータポンプ	ウォータポンプ	
<b>`</b>	}	}	}	<b>}</b>	}	}	
クランクプーリ 10kg (98N)	クランクプーリ 10kg (98N)	クランクプーリ 10kg (98N)	クランクプーリ 10kg (98N)	クランクプーリ 10kg (98N)	クランクプーリ 10kg (98N)	クランクプーリ 10kg (98N)	
18.9	18. 9	18. 9	18. 9	21. 9	22. 5	23. 5	
19. 3	19. 3	19. 3	19. 3	20. 5	22. 3	23. 3	
クローラ5回転	クローラ5回転	クローラ5回転	クローラ5回転	クローラ5回転	クローラ5回転	クローラ5回転	
高速モード	高速モード	高速モード	高速モード	高速モード	高速モード	高速モード	
図-01	図-01	図-01	図-01	図-01	図-01	図-01	
70~80	70~80	70~80	70~80	80~90	80~90	80~90	
図-02	図-02	図-02	図-02	図-02	図-02	図-02	
115 100	115 100	115 100	110 100	100 150	100 150	100 150	
115~130	115~130	115~130	118~128	130~150	130~150	130~150	
図-02	図-02	図-02	図-02	図-02	図-02	図-02	
105	105	105	105.0	105	105	105	
105	105	105	105. 0	135	135	135	
1リンクピン	1リンクピン	1リンクピン	1リンクピン	1リンクピン	1リンクピン	1リンクピン	
間距離	間距離	間距離	間距離	間距離	間距離	間距離	

				T				
j	適用範囲	モデル	名	SK10SR-3 後方小旋回	SK17SR-5 後方小旋回	SK20SR-5V 後方小旋回	SK20UR-6 超小旋回	SK28SR-6 後方小旋回
		適用号	機	PA04-1000∼	PU10-2000∼	PM11-20000~	PB05-2201∼	PD03-05001~
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位		検 査	基	準 値	
	作業機	バケット先端位置	mm	222	140	150	140	150
	自然降下	(測 定 時 間) (作 動 油 温) 作業装置姿勢	(min) (°C)	18 50	10 50	12 50	12 50	12 50
		(図面番号表示)		図-03	図-03	図-03	図-03	図-03
	シリンダー 自 然 伸 縮	ブームシリンダー 標準/クレーン 作業装置姿勢	mm	18	10	12	12	12
作		(図面番号表示) アームシリンダー 標準/クレーン	mm	図-03 12	⊠ −03 7	図-03 5	図-03 5	図-03 5
業		作業装置姿勢 (図面番号表示) バケットシリンダー 作業装置姿勢	mm	⊠-03 4	⊠-03 4	⊠-03 4	⊠-03 4	図-03 4
		(図面番号表示) ブレードシリンダー 作業装置姿勢	mm	⊠-03 3	図-03 3	⊠-03 3	⊠-03 3	⊠-03 3
装		(図面番号表示) (作 動 油 温)	(℃)	図-03 50	図-03 50	図-03 50	図-03 50	図-03 50
	作業機速度	ブーム上げ	S	$2.5\pm0.4$	$2.3\pm0.3$	$2.2\pm0.4$	$2.2\pm0.4$	$2.5\pm0.4$
置		作業装置姿勢 (図面番号表示) アームシリンダー伸ばし 縮 め 作業装置姿勢	S S	$\boxtimes -04$ 3. $7 \pm 0.5$ 2. $4 \pm 0.3$	$\boxtimes -04$ 2. $7 \pm 0.4$ 2. $1 \pm 0.4$	$\boxtimes -04$ 2. $4\pm 0.4$ 1. $5\pm 0.4$	$\boxtimes -04$ 2. $4\pm 0.4$ 1. $5\pm 0.4$	$\boxtimes -04$ 2. $9\pm 0.4$ 2. $0\pm 0.4$
		(図面番号表示) バケットシリンダー伸ばし 縮 め	S S	図-05 2.5±0.4 1.8±0.3	図-05 2.7±0.4 1.8±0.4	$\boxtimes -05$ 2. $4\pm 0$ . 4 1. $4\pm 0$ . 4	図-05 2.8±0.4 1.9±0.4	図 $-05$ 2.8 $\pm$ 0.4 1.9 $\pm$ 0.4
		作業装置姿勢 (図面番号表示) 性能測定条件		図-06	図-06	図-06	図-06	図-06
	V	(荷重・設定モード等)	3.65	無負荷	無負荷	無負荷	無負荷	無負荷
油	油 圧 回 路 設 定 圧 力	主回路設定圧力	MPa	20.6	21.6	23. 0	23. 0	23. 0
油圧装置			$kg/cm^2$	210	220	235	235	235
置		性能測定条件 (設定モード等)		油温 50℃ Eng・Hi <i>T</i> 作ル	油温 50℃ Eng・Hi <i>Tイ</i> ドル	油温 50℃ Eng・Hiアボル	油温 50℃ Eng・Hi <i>T</i> 作ル	油温 50℃ Eng・Hi7イトル
	旋回ベアリン グ取付けボル	アウターレース取付け ボルトの締付けトルク	N·m	_	_	_	_	_
動	トの締付け		kg•m					
力		インナーレース取付け ボルトの締付けトルク	N·m	115. 0	115. 0	115. 0	115. 0	115. 0
伝			kg•m	11. 7	11. 7	11. 7	11. 7	11. 7
達		油圧モーター取付けボ	N·m	65. 7	115. 0	115. 0	115. 0	115. 0
装	取付けボルト 締付け	ルトの締付けトルク	kg•m	6. 7	11. 7	11. 7	11. 7	11. 7
置		旋回減速機取付けボル トの締付けトルク	N·m		_	_	_	_
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		kg•m					

SK30SR-6 後方小旋回	SK30UR-6 超小旋回	SK35SR-6 後方小旋回	SK38UR-6 超小旋回	SK45SR-6 後方小旋回	SK50UR-6E 超小旋回	SK55SR-6E 後方小旋回	
PW15-50001~	PR09-20001~	PX16-30001~	PQ03-01001~	PH08-10001~	YJ08-20001~	PS04-10001~	
			検 査	基	準 値		 
150	240	150	240	150	240	150	
10 50~60	10 50~60	10 50~60	10 50~60	10 50~60	10 50~60	10 50~60	
図-03	図-03	図-03	図-03	図-03	図-03	図-03	
14	14	24	14	14	14	10	
⊠-03 10	⊠-03 10	⊠-03 10	⊠-03 10	⊠-03 10	図-03 10	⊠-03 10	
図−03 6	⊠-03 8	⊠-03 6	⊠-03 6	⊠-03 6	⊠-03 6	⊠-03 6	
⊠-03 6	図−03 12	図-03 6	図-03 6	⊠-03 6	図-03 6	図-03 6	
図−03 50∼60	図-03 50~60	図−03 50∼60	図-03 50~60	図-03 50~60	図-03 50~60	図-03 50~60	
$2.8\pm0.4$	$3.6\pm0.4$	$3.2\pm0.5$	$3.5\pm0.4$	$3.6\pm0.6$	$3.2\pm0.5$	$3.6\pm0.3$	
$\boxtimes -04$ 3. $1\pm 0.4$ 1. $9\pm 0.4$	図 −04 3.8±0.4 4.1±0.4	$\boxtimes -04$ 3. $7 \pm 0.4$ 2. $6 \pm 0.4$	$\boxed{ 2 - 04}$ 3. $8 \pm 0.4$ 4. $1 \pm 0.4$	$\boxed{ 2 - 04 }$ 3. $6 \pm 0$ . 4 2. $1 \pm 0$ . 4	図-04 4.2±0.4 4.4±0.4	$\boxtimes -04$ 3. $6 \pm 0$ . 4 2. $1 \pm 0$ . 4	
⊠-05 3.1±0.4 1.8±0.4	図 $-05$ 3.9 $\pm$ 0.4 2.7 $\pm$ 0.4	図-05 3.6±0.4 2.4±0.4	図-05 4.2±0.4 3.1±0.4	図-05 3.2±0.4 1.9±0.4	$\boxtimes -05$ 3. $7 \pm 0.4$ 2. $7 \pm 0.4$	図-05 3.2±0.4 1.9±0.4	
図-06	図-06	図-06	図-06	図-06	図-06	図-06	
無負荷	無負荷	無負荷	無負荷	無負荷	無負荷	無負荷	
23. 0	23. 0	23. 0	23. 0	23. 0	23. 0	23. 0	
235	235	235	235	235	235	235	
油温 50℃ Eng・Hiアイドル	油温 50℃ Eng・Hiアイドル	油温 50℃ Eng・Hiアイドル	油温 50℃ Eng・Hiアイドル	油温 50℃ Eng・Hiアバル	油温 50℃ Eng•Hiアイドル	油温 50℃ Eng・Hiアイドル	
	_			_			
114. 7	114. 7	114. 7	114. 7	114. 7	114. 7	114. 7	
11.7	11. 7	11. 7	11. 7	11. 7	11. 7	11. 7	
115. 0	115. 0	115. 0	115. 0	115. 0	216.6	216. 6	
11.7	11. 7	11. 7	11. 7	11. 7	22. 1	22. 1	 
_	_	_	_	_	_	_	

### 走行速度(5回転)

- ・エンジン 定格回転
- ·作動油温 50°C ~ 60°C
- ・測定姿勢 ホウアタッチメントとドーザを使用し、車体を持ち上げる。
- ・クローラシューを回転させ、2回転目より数え、5回転するまでに要する時間を測定する。(等速回転後の測定)

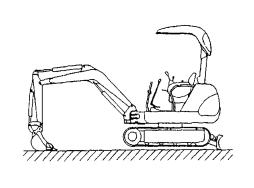


図-01

### クローラの張り

・ホウアタッチメントとドーザを使用し、車体を 持ち上げる。

クローラフレーム中央部におけるフレーム下面とクローラシュ上面とのすきまを測定する。

注) ゴムクローラの場合は、"M"マークの印 された継目部を上部中央にして測定する こと。

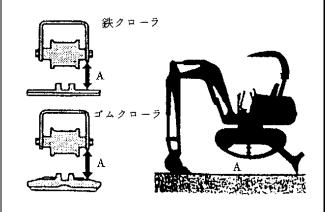


図-02

### シリンダ自然降下量

ブーム、アーム、バケット、ドーザ、バスケット先端

- ・エンジン 停止
- ·作動油温 50°C ~ 60°C
- ・測定姿勢 ドーザ、アームシリンダは最縮小、 バケットシリンダは最伸長とし、 ブームフートピンとバケットピン の高さを同一にする。
- ・測定姿勢を10分間保ち、その間に変化したロッドの長さ、及びバケット先端での変化量を測定する。

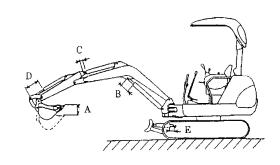


図-03

## ブームシリンダ速度

- ・エンジン 定格回転
- ·作動油温 50°C ~ 60°C
- ・測定姿勢 アームシリンダを最縮小、バケットシリンダは最伸長とする。ドーザを設地させる。
- ・バケットの設置位置(最高上げ位置)から、最高上げ位置(地上設置位置)までの所要時間を測定する。(クッション作動時間は含まない)

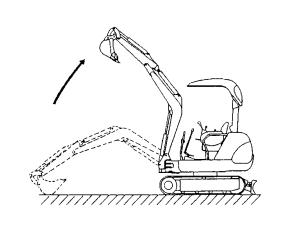


図-04

### アームシリンダ速度

- ・エンジン 定格回転
- ·作動油温 50°C ~ 60°C
- ・測定姿勢 アームシリンダを最縮小、バケットシリンダは最伸長とし、アームを水平にする。ドーザを設地させる。
- ・アームシリンダの最伸長時(最縮小時)から最縮小時(最伸長時)までの時間を測定する。

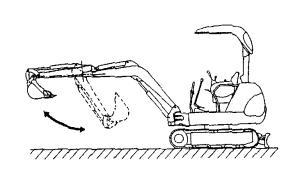


図-05

### バケットシリンダ速度

- ・エンジン 定格運転
- ·作動油温 50°C ~ 60°C
- ・測定姿勢 アームシリンダを最縮小にしてア ームを水平にする。ドーザを設地 させる。
- ・バケットシリンダの最伸長時(最縮小時)から 最縮小時(最伸長時)までの時間を測定する。

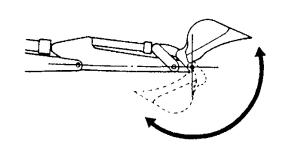


図-06

					T	T	T	1
ì	適用範囲	モデル	名	SK80UR-6 超小旋回	SK80UR-6E 超小旋回	SK75SR-3E 後方小旋回	SK80SR+3 後方小旋回	SK80SR+3E 後方小旋回
		適用号	機	YR10-10001~	YR11-11001~	YT08-30001~	YT07-25001~	YT08-30360~
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位			基	準 値	
	エンジン本体	エンジン回転速度						
		ハイアイドリング	$min^{-1}$	$2420 \pm 30$	2000	$2320 \pm 20$	$2320 \pm 30$	$2420 \pm 30$
		ローアイドリング	$\min^{-1}$	1050	1000	$1000 \pm 30$	$1000 \pm 20$	1050
		(冷 却 水 温)	(℃)	$(60\sim 90)$	(60~90)	(60~90)	(60~90)	(60~90)
		(作動油温)	(℃)	$(45 \sim 55)$	$(45\sim55)$	$(45\sim55)$	$(45\sim55)$	$(45\sim55)$
		弁 隙 間						
		吸気弁 隙間	mm	0. 4	0.4	0.4	0.4	0.4
工		排気弁 隙間	mm	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
ン		(測定条件)	( )	(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)
		圧縮圧力又は	MPa	3.04	3. 04	3. 04	3.04	3. 04
ジ		気筒間圧縮圧力差	kg/cm <sup>2</sup>	30	30	30	30	30
<i>&gt;</i>		(冷 却 水 温) (回 転 速 度)	(°C) (min⁻¹)	(60~90) (200)	(60~90) (200)	(60~90) (200)	(60~90) (200)	(60~90) (200)
ン	燃料装置	噴射ノズルの	MPa	16. 7	16.7	16.7	16. 7	16. 7
		燃料噴射開始圧力	1 /2	170	170	170	170	170
	VA 1-11 VI-1 IIII		kg/cm <sup>2</sup>	170	170	170	170	170
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り	mm	4~6	4~6	4~6	4~6	4~6
		測定位置・条件		10kg (98N)	10kg (98N)	10kg (98N)	10kg (98N)	10kg (98N)
		(kgとNの エナベま会)		オルタネータ	オルタネータ	オルタネータ	オルタネータ	オルタネータ
		両方で表記)		く クランクプーリ	く クランクプーリ	く クランクプーリ	クランクプーリ	く クランクプーリ
	走 行 性 能	最高速度 ゴム	min <sup>-1</sup>	37.0~40.9	37.0~40.9	37.0~40.9	37.0~40.9	37.0~40.9
		鉄		0 ) —	0 )	o y malastr	0 )	
		   (測定方法・条件)		スプロケット回転数 Sモード	スプロケット回転数 Sモード	スプロケット回転数 Sモード	スプロケット回転数 Sモード	スプロケット回転数 Sモード
		(例足为位 木田)		図-01	図-01	図-01	図-01	図-01
	履帯	ゴ 張り (たわみ量)	mm	140~150	140~150	140~150	140~150	140~150
	(クローラ	<u></u>						
走	ベルト)	ベ 測定方法・条件 ル (図面番号表示) ト		図-02	図-02	図-02	図-02	図-02
行		張り(たわみ量)	mm	200~230	200~230	200~300	200~300	200~300
1.1								
		測定方法・条件 (図面番号表示)		図-02	図-02	図-02	図-02	図-02
装		鉄		Z 02	Z 02	Z 02	Z 02	Z 02
		リンクピッチの伸び	mm	160	160	160	160	160
置		シ    測定方法・		1リンクピン	1リンクピン	1リンクピン	1    \/ h \&\/	1リンクピン
		コ 条件		間距離	間距離	間距離	1リンクピン 間距離	間距離
		履板取付けボルト 締付けトルク	N·m	294	294	294	294	294
		測定方法・ 条件	kg•m	30 トルクレンチ	30 トルクレンチ	30 トルクレンチ	30 トルクレンチ	30 トルクレンチ
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・							

	<b>検</b> 査	L 基	準 値	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>

適 用 範 囲		モデル	名	SK80UR-6 超小旋回	SK80UR-6E 超小旋回	SK75SR-3E 後方小旋回	SK80SR+3 後方小旋回	SK80SR+3E 後方小旋回
		適用号	機	YR10-10001~	YR11-11001~	YT08-30001~	YT07-25001~	YT08-30360~
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位			· 基		
	作業機	バケット先端位置	mm	_	_	_	_	_
	自然降下	(測 定 時 間) (作 動 油 温) 作業装置姿勢	(min) (°C)	(5) (50)	(5) (50)	(5) (50)	(5) (50)	(5) (50)
		(図面番号表示)		図-03	図-03	図-03	図-03	図-03
	シリンダー 自 然 伸 縮	ブームシリンダー 標準/クレーン 作業装置姿勢	mm	3. 0	3. 0	3. 0	3. 0	3. 0
作		(図面番号表示) アームシリンダー 標準/クレーン 作業装置姿勢	mm	図−03 3.0	図−03 3.0	図−03 3.0	図-03 3.0	図−03 3.0
業		(図面番号表示) バケットシリンダー 作業装置姿勢	mm	図-03 -	図-03 -	図-03 -	図-03 -	図-03 -
		(図面番号表示) ブレードシリンダー 作業装置姿勢	mm	図-03 3.0	図-03 3.0	図-03 3.0	図-03 3.0	図-03 3.0
装		(図面番号表示) (作 動 油 温)	(℃)	図-03 (50)	図-03 (50)	図-03 (50)	図-03 (50)	(50)
置	作業機速度	ブーム上げ作業装置姿勢(図面番号表示)	S	2.9~3.5 図-04	2.9~3.5 図-04	2.9~3.5 図-04	2.9~3.5 図-04	2.9~3.5 図-04
		アームシリンダー伸ばし 縮 め 作業装置姿勢	S S	2. 3~2. 9 2. 6~3. 3				
		(図面番号表示) バケットシリンダー伸ばし 縮 め	S S	$\boxtimes -05$ 3. $7 \sim 4$ . 3 2. $4 \sim 2$ . 9	$\boxtimes -05$ 3. $7 \sim 4$ . 3 2. $4 \sim 2$ . 9	$\boxtimes -05$ 3. $7 \sim 4$ . 3 2. $4 \sim 2$ . 9	$\boxtimes -05$ 3. $7 \sim 4$ . 3 2. $4 \sim 2$ . 9	$\boxtimes -05$ 3. $7 \sim 4$ . 3 2. $4 \sim 2$ . 9
		作業装置姿勢 (図面番号表示) 性能測定条件		図-06	図-06	図-06	⊠-06	図-06
	油圧回路	(荷重·設定モード等) 主回路設定圧力	MPa	無負荷 29.4	無負荷 29.4	無負荷 29.4	無負荷 29.4	無負荷 29.4
油圧装置	設定圧力		kg/cm <sup>2</sup>	300	300	300	300	300
置		性能測定条件 (設定モード等)		油温 50℃ Eng•Hi7イトル	油温 50℃ Eng•Hiアイドル	油温 50℃ Eng•Hi アイトル	油温 50℃ Eng•Hi アイドル	油温 50℃ Eng•Hi アイドル
<b>35.1</b>	旋回ベアリン グ取付けボル トの締付け	アウターレース取付け ボルトの締付けトルク	N·m kg·m	_	_	_	_	_
動力	. ^ 5.1 dhv > ^ 1	インナーレース取付け	N·m	279	279	279	279	279
伝		ボルトの締付けトルク	kg•m	28. 4	28. 4	28. 4	28. 4	28. 4
達装	旋回減速機の 取付けボルト 締付け	油圧モーター取付けボ ルトの締付けトルク	N·m kg·m	_	_	_	_	_
置	/ <b>1.1 1.1 1.1 1.1 1.1</b>	旋回減速機取付けボル	N·m	279	279	279	279	279
		トの締付けトルク	kg•m	28. 4	28. 4	28. 4	28. 4	28. 4

		<u> </u>	L 基	準 値	I	I	<u> </u>
L		I .	I .		l .	I .	l

## 走行速度

· 条 件

作動油温 ;50±5℃ 左右の履帯の張り均等

• 準 備

走行モータカバーに、マグネット付反射盤を取付けます。

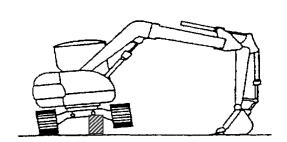
図のように旋回フレームを約90° 旋回して アタッチメントを使用して片足のシュープレートが地面から浮くようにします。

・測定

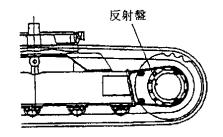
エンジン回転数 ; ハイアイドル

走行2速スイッチ;2速 測定箇所 ;右、左

方 法 ;ストロボ回転計で回転数測定



片足浮し姿勢

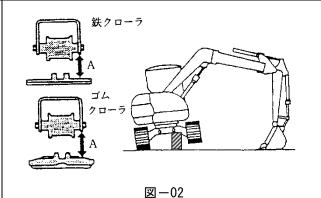


反射盤貼付位置

図-01

### クローラの張り

- ・図のように 旋回フレームを約90° 旋回してアタッチメントを使用して片足のシュープレートが地面から浮くようにします。
- ・クローラフレーム中央部におけるフレーム下面と クローラシュ上面とのすきまを測定する。
  - 注) ゴムクローラの場合は、"M" マークの印された継目部を上部中央にして測定すること。



### シリンダ自然降下量

条件

作動油温 ;50±5℃ 水平堅固な平坦地

シリンダ交換直後の場合は、シリンダ内のエア抜き後にします。

アームシリンダはストロークエンド 30mm 動いた (クッション範囲を外した) 状態

- 準 備
- バケット空荷、アーム最伸(但しアームシリンダ 30 mm伸びた位置)、バケット爪先 1.5 m高さを保持します。
- 測 定

エンジンキーOFF後5分間経過時を測定します。 3回測定し、平均を測定値とします。

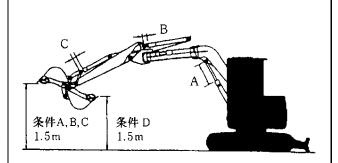


図-03

### ブームシリンダ速度

· 条 件

作動油温 ; 50±5℃ エンジン ; ハイアイドル

作業モード; S

クッションストロークを除く作動時間

• 準 備

バケット空荷で平坦地

・ブーム操作レバー・フルストロークでバケット地面と最高位置の間の作動所要時間を測定します。 測定は3回行い、平均を測定値とします。

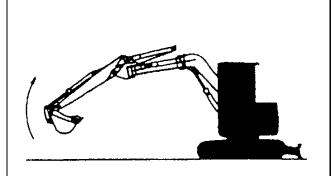


図-04

### アームシリンダ速度

· 条 件

作動油温 ; 50±5℃ エンジン ; ハイアイドル

作業モード;S

クッションストロークを除く作動時間

• 準 備

バケット空荷で平坦地

・バケット爪先が地上約30cm高さになる姿勢で、 アーム操作レバー・フルストロークで全ストロー ク作動所要時間を測定します。3回行い、平均を 測定値とします。

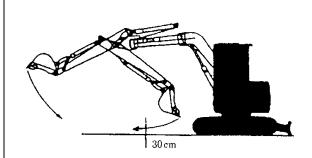


図-05

### バケットシリンダ速度

• 条 件

作動油温 ; 50±5℃ エンジン ; ハイアイドル

作業モード; S

クッションストロークを除く作動時間

• 準 備

バケット空荷で平坦地

・バケット爪先が地上約30cm高さになる姿勢で、 バケット操作レバー・フルストロークで全ストローク作動所要時間を測定します。3回行い、平均 を測定値とします。

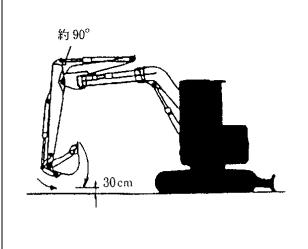


図-06

ì	適用範囲	モーデール	名	SK125SR-3 後方小旋回	SK125SR-5 後方小旋回	SK135SR-3 後方小旋回	SK135SR-5 後方小旋回	
		適用号	機	YV07-10001~	YV08-12001~	YY07-25001~	YY08-32001~	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位			 基		
	エンジン本体	エンジン回転速度						
		ハイアイドリング	min <sup>-1</sup>	$2340 \pm 20$	2000±20	$2340\pm20$	2000±20	
		ローアイドリング	min <sup>-1</sup>	$1000\pm20$	$800\pm20$	$1000\pm20$	800±20	
		(冷却水温)	(℃)	(75)	(75)	(75)	(75)	
		(作動油温)	(℃)	(50)	(50)	(50)	(50)	
		弁 隙 間						
		吸気弁 隙間	mm	0. 15	0. 15	0. 15	0. 15	
エ		排気弁 隙間	mm mm	0. 15	0. 15	0. 15	0. 15	
		かん(月	111111	0. 10	0.10	0.10	0.10	
ン		(測定条件)	( )	(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)	
		圧縮圧力又は	MPa	2.90	2.90	2.90	2.90	
ジ		気筒間圧縮圧力差	kg/cm <sup>2</sup>	30	30	30	30	
		(冷 却 水 温) (回 転 速 度)	(°C) (min <sup>-1</sup> )	(20~30) (300)	(20~30) (300)	(20~30) (300)	(20~30) (300)	
ン	燃料装置	噴射ノズルの	MPa					
		燃料噴射開始圧力	kg/cm <sup>2</sup>	_	_	_	_	
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り	mm	7~9	7~9	7~9	7~9	
		〔測定位置・条件 (kgとNの両方で表記)〕		10kg (98N) オルタネータ と クランクプーリ	10kg (98N) オルタネータ く クランクプーリ	10kg (98N) オルタネータ と クランクプーリ	10kg (98N) オルタネータ く クランクプーリ	
	走行性能	最高速度 ゴム	min <sup>-1</sup>	50.6~56.0	50.6~56.0	50.6~56.0	50.6~56.0	
		鉄 (測定方法・条件)		スプロケット回転数 Sモード 図ー01	スプロケット回転数 Sモード 図ー01	スプロケット回転数 Sモード 図一01	スプロケット回転数 Sモード 図ー01	
	履帯	ゴ 張り (たわみ量)	mm					
走	(クローラ ベルト)	ムベルト (測定方法・条件) (図面番号表示)		-	_	_	_	
行		張り(たわみ量)	mm	320~350	320~350	320~350	320~350	
装		(図面番号表示) 鉄		〔図-02〕	【図−02】	【図−02】	〔図−02〕	
		リンクピッチの伸びシ	mm	171. 45	171. 45	171. 45	171. 45	
置		型 関定方法・ 条件		(1 リンクピン) 間距離	(1 リンクピン) 間距離	(1 リンクピン) 間距離	(1 リンクピン) 間距離	
		履板取付けボルト 締付けトルク	N·m	412±39	412±39	412±39	412±39	
	・新市生潍値な	測定方法・条件	kg•m	(トルクレンチ)	(トルクレンチ)	(トルクレンチ)	(トルクレンチ)	

	I							T 1
SK200-9	SK200H-9	SK250-9	SK225SR-3	SK225SR-5	SK235SR-3	SK235SR-5	SK200-10	SK250-10
YN13-70001~	WB02-00101~	LQ14-09001~	YB07-05001~	YB08-06001~	YF07-03001~	YF08-04001~	YN15-08001~	LQ16-10001~
			検 査	基	準 値			
$2000 \pm 30$	$2000 \pm 30$	2100±30	$2000 \pm 30$	$2000 \pm 30$	$2000 \pm 30$	$2000 \pm 30$	$2000 \pm 30$	2310±30
$800 \pm 30$	800±30	$800 \pm 30$	$800 \pm 30$	$800 \pm 30$	$800 \pm 30$	$800 \pm 25$	$1000 \pm 25$	$800 \pm 25$
(75)	(75)	(75)	(75)	(75)	(75)	(75)	(75)	(75)
(50)	(50)	(50)	(50)	(50)	(50)	(50)	(50)	(50)
0. 30	0.30	0.30	0. 30	0.30	0.30	0.30	0.30	0. 30
0.45	0.45	0.45	0. 45	0.45	0. 45	0. 45	0.45	0.45
	V. 10	0. 10	VV 10	0, 10	0, 10	0. 10	V. 10	*****
(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)
3.4~3.7	3.4~3.7	3.4~3.7	3.4~3.7	2. 5	2. 5	3.4~3.7	3.4~3.7	3.4~3.7
35~38	35~38	35~38	35~38	26	26	35~38	35~38	35~38
(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
(280)	(280)	(280)	(280)	(280)	(280)	(280)	(280)	(280)
_	_	_	_	_	_	_	_	_
10~12	10~12	10~12	10~12	10~12	10~15	10~12	10~12	10~12
10kg (98N)	10kg (98N)	10kg (98N)	10kg (98N)	10kg (98N)	10kg (98N)	10kg (98N)	10kg (98N)	(10kg (98N)
オルタネータ	オルタネータ	オルタネータ	オルタネータ	オルタネータ	オルタネータ	オルタネータ	オルタネータ	オルタネータ
h=\h=\1	) 	b = 1 12 12	) h = 1 14 14 14	) h=\h-\h-\n-\n-\n-\n-\n-\n-\n-\n-\n-\n-\n-\n-\n-	) h=\h=\ 11	b = 1 121 121 12	) b=\b=\l	│
$25.6 \sim 50.4$	(2-5) $(2-5)$ $(2-5)$ $(2-5)$ $(3-$	クーラントポンプ	クーラントポンプ	クランクプーリ	クランクプーリ	クーラントポンプ	(クランクプーリ) 46.5~50.4	$47.9 \sim 52.9$
45.6~50.4	45.6~50.4	47. 9~52. 9	41.3~52.9	41.3~52.9	41.3~52.9	41.3~52.9	40.5~50.4	41.9~52.9
(スプロケット回転数)	(スプロケット回転数)	(スプロケット回転数)	(スプロケット回転数)	(スプロケット回転数)	(スプロケット回転数)	(スプロケット回転数)	(スプロケット回転数)	(スプロケット回転数)
Mモード	Hモード	Hモード	Hモード	Mモード	Mモード	Hモード	Sモード	Sモード
図-01	図-01	図-01	図-01	図-01	図-01	図-01	図-01	図-01
_	_	_	_	_	_	_	_	_
320~350	320~350	320~350	320~350	320~350	320~350	320~350	320~350	320~350
図-02	図-02	【図−02】	図-02	図-02	図-02	図-02	図-02	図-02
190. 0	190. 0	190. 0	190. 0	190. 0	190. 0	190. 0	190. 0	190. 0
( 11	( 11	( 11	( 11	( 11	( 11	( 11	(111, 2.0.	(111
[ 1 リンクピン]   間距離	(1 リンクピン)   問 距 離	[ 1 リンクピン]   間距離	1 リンクピン 間距離	(1リンクピン) 間距離	(1 リンクピン) 間距離	1リンクピン	(1 リンクピン)   間距離	(1 リンクピン)     問題離
	日曜   月		( 印坪州 )					
853	853	853	853	853	853	853	853	853
87.0	87.0	87.0	87.0	87.0	87.0	87.0	87.0	87.0
トルクレンチ	トルクレンチ	トルクレンチ	トルクレンチ	トルクレンチ	トルクレンチ	トルクレンチ	トルクレンチ	トルクレンチ
				- /	- /		, ,	. ,

				<u> </u>	<u> </u>	I		
ì	適用範囲	モデル:	名	SK125SR-3 後方小旋回	SK125SR-5 後方小旋回	SK135SR-3 後方小旋回	SK135SR-5 後方小旋回	
		適用号	機	YV07-10001~	YV08-12001~	YY07-25001~	YY08-32001~	
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位		検 査	基	準 値	
	作 業 機	バケット先端位置	mm	_	_	_	_	
	自然降下	(測 定 時 間) (作 動 油 温) 「作業装置姿勢	(min) (°C)	5 50	5 50	5 50	5 50	
		(図面番号表示)		図-03	図-03	図-03	図-03	
	シリンダー 自 然 伸 縮	ブームシリンダー 標準/クレーン 作業装置姿勢	mm	3. 0	3. 0	3. 0	3. 0	
作		【(図面番号表示) アームシリンダー 標準/クレーン 作業装置姿勢	mm	図−03 4.0	図−03 4.0	図−03 4.0	図-03 4.0	
業		(図面番号表示) バケットシリンダー 「作業装置姿勢	mm	⊠-03	⊠-03	図-03	図-03	
装		【(図面番号表示)】 ブレードシリンダー 【作業装置姿勢 (図面番号表示)】	mm					
2×		(作動油温)	$(\mathcal{C})$	50	50	50	50	
	作業機速度	ブーム上げ 作業装置姿勢	S	3.0~3.6	3.0~3.6	3.0~3.6	3.0~3.6	
置		【(図面番号表示)】 アームシリンダー伸ばし縮め	S S	$\boxtimes -04$ 2. 8 $\sim$ 3. 4 2. 4 $\sim$ 3. 0	$\boxtimes -04$ $4.0 \sim 4.7$ $2.4 \sim 3.0$	$\boxtimes -04$ 3. $4 \sim 4$ . 2 2. $4 \sim 3$ . 0	$\boxtimes -04$ 4. 6 $\sim$ 5. 3 2. 4 $\sim$ 3. 0	
		【作業装置姿勢 (図面番号表示) バケットシリンダー伸ばし 縮め	S S	$\boxtimes -05$ 2. $8 \sim 3$ . $4$ 2. $1 \sim 2$ . $7$	$\boxtimes -05$ 2.8 $\sim$ 3.4 2.1 $\sim$ 2.7	$\boxtimes -05$ 2. $8 \sim 3$ . 4 2. $1 \sim 2$ . 7	$\boxtimes -05$ 2.8 $\sim$ 3.4 2.1 $\sim$ 2.7	
		「作業装置姿勢 (図面番号表示)」 「性能測定条件 (荷重・設定モード等)」		図-06 無負荷 Sモード	図-06 無負荷 Sモード	図-06 無負荷 Sモード	図-06 無負荷 Sモード	
	油圧回路	主回路設定圧力	MPa	34. 3	32. 3	34. 3	34. 3	
油圧装置	設定圧力		${\rm kg/cm^2}$	350	350	350	350	
習		(世能測定条件 (設定モード等)		油温 50℃ Eng•Hi アイドル	油温 50℃ Eng•Hi アイドル	油温 50℃ Eng•Hi アイドル	油温 50℃ Eng•Hi アイドル	
	旋回ベアリン グ取付けボル	アウターレース取付け ボルトの締付けトルク	N·m	279	279	392	392	
動	トの締付け		kgm	28. 5	28. 5	40. 0	40.0	
力		インナーレース取付け ボルトの締付けトルク	N·m	279	279	564	564	
伝		1 AND 1417 17: 7	kgm	28. 5	28. 5	57. 5	57. 5	
\L.	取付けボルト	油圧モーター取付けボ ルトの締付けトルク	N·m	_	_	_	_	
	締付け		kgm					
置		旋回減速機取付けボル トの締付けトルク	N·m	539	539	539	539	
	FD . 实声甘淮/d		kgm	55. 0	55. 0	55. 0	55. 0	

<sup>★</sup> 印:新車基準値を表す。

<sup>★</sup>標準/クレーン:標準仕様/クレーン機能付き仕様を表す。

SK200-9	SK200H-9	SK250-9	SK225SR-3	SK225SR-5	SK235SR-3	SK235SR-5	SK200-10	SK250-10
YN13-70001~	WB02-00101~	LQ14-09001~	YB07-05001~	YB08-06001~	YF07-03001~	YF08-04001~	YN15-08001~	LQ16-10001~
		Г	検 査	基	準 値	T	Г	T
_	_	_	_	_	_	_	_	_
10 50	10 50	10 50	10 50	5 50	5 50	5 50	5 50	5 50
図-03	図-03	図-03	図-03	図-03	図-03	図-03	図-03	図-03
14. 0	14. 0	14. 0	14. 0	14. 0	14. 0	14. 0	14. 0	14. 0
図-03 11.0	図−03 11.0	図−03 11.0	⊠-03 11.0	図−03 11.0	図−03 11.0	⊠−03 11.0	図−03 11.0	図-03 11.0
図-03	図-03	図-03	図-03	図-03	図-03	図-03	図-03	図-03
_	-	_	_	-	_	_	_	_
50	50	50	50	50	50	50	50	50
2.5~3.1	2.5~3.1	2.8~3.4	3.1~3.7	3.1~3.7	3.2~3.8	3.2~3.8	2.5~3.1	2.5~3.1
$\boxtimes -04$ 3. $0 \sim 3$ . 6 2. $3 \sim 2$ . 9	$\boxtimes -04$ 3. 0 $\sim$ 3. 6 2. 3 $\sim$ 2. 9	$\boxtimes -04$ 3. 2 $\sim$ 3. 8 2. 6 $\sim$ 3. 0	$\boxtimes -04$ 3. $0 \sim 3$ . 6 2. $2 \sim 2$ . 8	$\boxtimes -04$ 3. 0 $\sim$ 3. 6 2. 2 $\sim$ 2. 8	$\boxtimes -04$ 3. 2 $\sim$ 3. 8 2. 4 $\sim$ 3. 0			
$\boxtimes -05$ 2. 2~2. 8 1. 7~2. 3	$\boxtimes -05$ 2. 2 $\sim$ 2. 8 1. 7 $\sim$ 2. 3	$\boxtimes -05$ 2. 5 $\sim$ 3. 1 2. 0 $\sim$ 2. 6	図-05 2.3~2.9 1.8~2.4	$\boxtimes -05$ 2. $3\sim 2.9$ 1. $8\sim 2.4$	図-05 2.2~2.8 1.9~2.5	$\boxtimes -05$ 2. 2 $\sim$ 2. 8 1. 9 $\sim$ 2. 5	$\boxtimes -05$ 2. 2 $\sim$ 2. 8 1. 7 $\sim$ 2. 3	$\boxtimes -05$ 2. 2 $\sim$ 2. 8 1. 7 $\sim$ 2. 3
図-06 無負荷 Mモード	図-06 無負荷 Hi アイドル	図-06 無負荷 Hi アイドル	図-06 無負荷 Hi アイドル	図-06 無負荷 Mモード	図-06 無負荷 Mモード	図-06 無負荷 Hi アイドル	図-06 無負荷 Sモード	図-06 無負荷 Sモード
34. 3	34. 3	34. 3	34. 3	34. 3	34. 3	34. 3	34. 3	34. 3
350	350	350	350	350	350	350	350	350
油温 50℃ Eng·Hi アイドル	油温 50℃ Eng·Hi アイドル	油温 50℃ Eng·Hi アイドル	油温 50℃ Eng·Hi アイドル	油温 50℃ Eng·Hi アイドル	油温 50℃ Eng·Hi アイドル	油温 50℃ Eng•Hi アイトル	油温 50℃ Eng•Hi アイドル	油温 50℃ Eng•Hi アイドル
_		_	_		_	_	_	_
564	564	564	564	564	564	564	564	564
57. 5	57. 5	57. 5	57. 5	57. 5	57. 5	57. 5	57. 5	57. 5
_	_	_	_	_	_	_	_	_
539	539	539	539	539	539	539	539	539
55. 0	55. 0	55. 0	55. 0	55. 0	55. 0	55. 0	55. 0	55. 0

### コベルコ建機

### 走行速度

・エンジン ; ハイアイドル

·作動油温 ; 50±5℃

・作業モード; S又はMモード

・走行切替えスイッチ;2速

・方 法

旋回フレームを 90° 旋回してアタッチメントを 使用して片側のクローラが地面から浮くように し、走行モータカバーにマグネット付き反射盤を 取付けストロボ回転計で回転数を測定します。

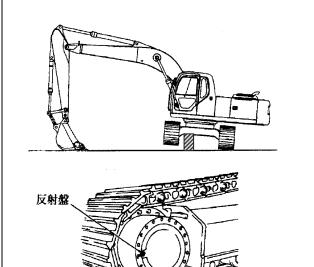
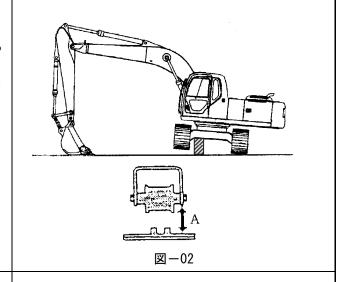


図-01

### クローラの張り

- ・図のように 旋回フレームを約90° 旋回してアタッチメントを使用して片側のクローラが地面から浮くようにします。
- ・クローラフレーム中央部におけるフレーム下面と クローラシュ上面との隙間を測定します。



#### シリンダ油蜜

- ·作動油温;50±5℃
- ・水平堅土上で行います。 シリンダ交換直後の場合は、シリンダ内のエア抜き後にします。
- アームシリンダはストロークエンド30mm動いた (クッション範囲を外した)状態
- ・バケット空荷、バケット爪先 1.5m高さを保持します。
- ・エンジン停止後、5分間経過時を測定します。 3回測定し、平均を測定値とします。

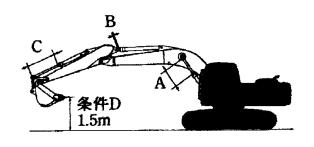


図-03

### ブームシリンダ速度

・エンジン ; ハイアイドル

· 作動油温 ; 50±5℃

作業モード;S又はMモード

・クッションストロークを除く作動時間

・バケット空荷で平坦地

方 法

ブーム操作レバーフルストロークでバケット地面 から最高位置の間の作動所要時間を測定します。 測定は3回行い、平均を測定値とします。

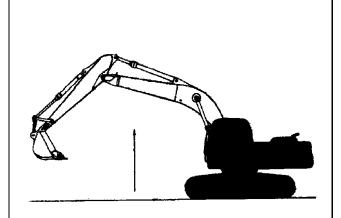


図-04

#### アームシリンダ速度

・エンジン ; ハイアイドル

· 作動油温 ; 50± 5℃

作業モード;S又はMモード

・クッションストロークを除く作動時間

・バケット空荷で平坦地

・方 法

バケット爪先が地上約30cm高さになる姿勢で、 アーム操作レバーフルストロークにおいて全スト ローク作動所要時間を測定します。

測定は3回行い、平均を測定値とします。

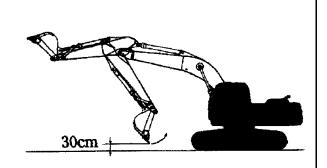


図-05

#### バケットシリンダ速度

・エンジン ; ハイアイドル

· 作動油温 ; 50±5℃

作業モード; S又はMモード

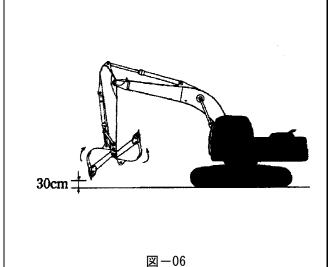
・クッションストロークを除く作動時間

・バケット空荷で平坦地

・方 法

バケット爪先が地上約30cm高さになる姿勢で、 バケット操作レバーフルストロークにおいて全ス トローク作動所要時間を測定します。

測定は3回行い、平均を測定値とします。



j	適用範囲	モデル	名	PC30MR-5	PC35MR-5	PC45MR-5	PC55MR-5	PC30UU-6
		適用号	機	50001~	30001∼	30001∼	20001~	20001~
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位		検 査	基	準 値	
	エンジン本体	エンジン回転速度						
		ハイアイドリング	min <sup>-1</sup>	$2350 \pm 50$	$2350 \pm 50$	$2430 \pm 50$	$2430 \pm 50$	$2400 \pm 50$
		ローアイドリング	$\min^{-1}$	$1200 \pm 50$	$1200 \pm 50$	$1225 \pm 50$	$1225 \pm 50$	$1200 \pm 50$
		(冷 却 水 温)	(℃)	(60~100)	$(60 \sim 100)$	$(60\sim 100)$	(60~100)	(60~100)
		(作動油温)	(℃)	$(45\sim55)$	$(45\sim55)$	$(45 \sim 55)$	$(45\sim55)$	$(45\sim55)$
		弁 隙 間						
		吸気弁   隙間	mm	$0.20\pm0.05$	$0.20\pm0.05$	$0.20\pm0.05$	$0.20\pm0.05$	$0.20\pm0.05$
工		排気弁 隙間	mm	$0.20\pm0.05$	$0.20\pm0.05$	$0.20\pm0.05$	$0.20\pm0.05$	$0.20\pm0.05$
ン		(測定条件)	(℃)	(常 温)	(常 温)	(常 温)	(常 温)	(常 温)
		圧 縮 圧 力	MPa	2.65	2.65	2.45	2. 45	2.65
			kg/cm <sup>2</sup>	27	27	25	25	27
ジ		(エンジン油温)	(℃)	(40~60)	(40~60)	$(40\sim60)$	(40~60)	(40~60)
		(回転速度)	$(\min^{-1})$	(250)	(250)	(250)	(250)	(250)
ン	燃料装置	噴射ノズルの	MPa					
		燃料噴射開始圧力		コモンレール	コモンレール	コモンレール	コモンレール	コモンレール
			kg/cm <sup>2</sup>					
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り	mm	7~10	7~10	5~8	5~8	7~10
				<i>てアンプーリ</i> ∼オルタネータ	( ファンプーリ ∼オルタネータ )	( ファンプーリ ∼オルタネータ	( ファンプーリ ∼オルタネータ	( ファンプーリ
		測定位置・条件		プーリ	プーリ	プーリ	プーリ	プーリ
				指圧 10kg	指圧 10kg	指圧 10kg	指圧 10kg	指圧 10kg
	1. /- I/I //s		_	98N J	98N J	98N J	98N J	98N J
	走 行 性 能	最 高 速 度	S	ゴム履帯 15.7±4	ゴム履帯 15.7±4	ゴム履帯 15.7±4	ゴム履帯 15.7±4	ゴム履帯 15.7±4
		( 測字片里, 久井 )		鉄履帯	鉄履帯	鉄履帯	鉄履帯	鉄履帯
		(図面番号表示)		16. 4±4	$16.4\pm4$	$16.7\pm4$	$16.7\pm4$	$[6.4\pm 4]$
				[ 20m 走行]	[ 20m 走行 ]	[ 20m 走行 ]	[ 20m 走行 ]	[ 20m 走行 ]
	履帯	ゴ 張り (たわみ量)	mm	1~3	1~3	1~3	1~3	1~3
	(クローラ ベルト)	ム   ベ   「測定方法・条件 ]		アイドラと キャリアローラ	アイドラと キャリアローラ	アイドラと	アイドラと	アイドラと キャリアローラ
走	, , ,	ル (図面番号表示)		の中間部	の中間部	の中間部	の中間部	の中間部
		,		図 2-5 参照	図 2-5 参照	図 2-5 参照	【図 2-5 参照】	【図 2-5 参照】
行		張り (たわみ量)	mm	10~30	5~15	10~30	10~30	10~30
		   「測定方法・条件〕		アイドラと キャリアローラ	アイドラと キャリアローラ	アイドラと キャリアローラ	アイドラと キャリアローラ	アイドラと キャリアローラ
ماراد		(図面番号表示)		の中間部	の中間部	の中間部	の中間部	の中間部
装		鉄		図 3-3 参照	図 3-3 参照	図 3-3 参照	図 3-3 参照	図 3-3 参照
		リンクピッチの伸び	mm	107	107	143	143	107
置		シープルを対象を						
		ュー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		1リンク	1リンク	[1リンク]	[1リンク]	[1リンク]
		履板取付けボルト	N·m					
		締付けトルク	lea • ***	_	_	_	_	_
		測定方法・	kg•m			<u> </u>		
		条件						
1 1	, 如由甘淮はた	1. 3						

PC38UU-6	PC58UU-6					
60001~	30001~					
		検 査	基	準 値		
$2400\pm50$ $1200\pm50$ $(60\sim100)$ $(45\sim55)$	$2550\pm50$ $1225\pm50$ $(60\sim100)$ $(45\sim55)$					
0.20±0.05 0.20±0.05 (常 温)	0.20±0.05 0.20±0.05 (常 温)					
2. 65 27	2. 45 25					
(40~60) (250)	(40~60) (250)					
コモンレール	コモンレール					
7~10 (ファンプーリ 〜オルタネータ プーリ 指圧 10kg 98N	7~10 (ファンプーリ 〜オルタネータ プーリ 指圧 10kg 98N					
ゴム履帯 15.0±4 鉄履帯 15.4±4 〔20m 走行〕	ゴム履帯 17.1±4 鉄履帯 16.4±4 〔20m 走行〕					
1~3 アイドラと キャリアローラ の中間部 図 2-5 参照	1~3 アイドラと キャリアローラ の中間部 図 2-5 参照					
10~30 アイドラと キャリアローラ の中間部 図 3-3 参照	10~30 アイドラと キャリアローラ の中間部 図 3-3 参照					
107	143					

								Ţ		
ì	適用範囲	モ	デ	ル	名	PC30MR-5	PC35MR-5	PC45MR-5	PC55MR-5	PC30UU-6
		適	用	号	機	20001~	20001~	20002~	30001~	15001~
区分	検査箇所	検査項目	(条件	牛)	単位		検 査	基	準 値	
	作業機	バケット先幼	#位置	<u> </u>	mm	450	450	450	450	450
	自然降下	(測 定 町 (作 動 )	由温		(min) (°C)	(15) (45~55)	(15) (45~55)	(15) (45~55)	(15) (45~55)	(15) (45~55)
		作業装置 (図面番号 荷 重	号表示	₹)	kg N	図 4-1 参照 144 1410	図 4-1 参照 108 1058	図 4-1 参照 230 2254	図 4-1 参照 250 2450	図 4-1 参照 144 1410
	シリンダー 自 然 伸 縮	アームシリン バケットシ! ブレードシ!	レダー リンタ リンタ	- i — i —	mm mm mm	30 30 30 45	15 44 24 45	30 30 30 45	30 30 30 45	30 30 30 45
業		(測 定 F (作 動 ? (作業装置	由温		(min) (℃)	$(15)$ $(45\sim55)$				
装		一(図面番号	号表示	₹)	$\left(\begin{array}{c} kg \\ N \end{array}\right)$	図 4-1 参照 144 1410	図 4-1 参照 108 1058	図 4-1 参照 230 2254	図 4-1 参照 250 2450	図 4-1 参照 144 1410
	作業機速度	ブ ー ム 上	姿勢	₹) ]	S	3.2 [図5参照]	3.0 [図5参照]	3.4 (図5参照)	3.4 [図5参照]	4.0 [図5参照]
置		アームシリン 作業装置 (図面番号	終 姿勢	宿め	S S	3.4 3.1 [図6参照]	3.0 2.6 〔図6参照〕	3.6 3.0 (図6参照)	3.7 3.0 〔図6参照〕	4.1 3.3 [図6参照]
		バケットシリン 作業装置 (図面番号) (性能測定	/ダー作 終 姿勢 号表示	申ばしん	S S	3.2 2.5 〔図7参照〕	3.2 2.6 〔図7参照〕	3.5 2.4 〔図7参照〕	3.4 2.4 〔図7参照〕	3.2 2.5 〔図7参照〕
		(荷重·設		・ド等)		〔無負荷〕	〔無負荷〕	〔無負荷〕	〔無負荷〕	〔無負荷〕
) <del>-</del>	油 圧 回 路 設 定 圧 力	主回路設定原	王力		MPa	25.5~26.9		$26.5\pm0.98$		
油圧装置				ž)	kg/cm <sup>2</sup>	260~275	$265 \pm 10$	$270 \pm 10$	270±10	$250 \pm 10$
<u>E.</u>		・油温 ・エンジ	· ン回!	転	(°C) (min⁻¹)	(45~55) (フル回転)	(45~55) (フル回転)	(45~55) (フル回転)	(45~55) (フル回転)	(45~55) (フル回転)
	旋回ベアリン グ取付けボル	アウターレー ボルトの締(	-		N·m	118~137	118~137	118~137	118~137	98~123
	トの締付け	1 4 17 5 1 4 5 VAINT	3 + 7 T	<i></i> /	kg•m	12.0~14.0	12.0~14.0	12.0~14.0	12.0~14.0	10.0~12.5
動		インナーレー	-		N·m	98~123	118~137	98~123	98~123	98~123
力		ボルトの締件	寸け上	・ルク	kg•m	10~12.5	12.0~14.0	10~12.5	10~12.5	10.0~12.5
伝	旋回減速機取	油圧モータ	一取化	サけボ	N·m					
達	付けボルトの					_	_	_	_	_
装	締付け	4	π <b>έ.</b> / 1 ·	. L . 19° -	kg·m					
置		旋回減速機 トの締付け			N·m					
					kg•m					
4 5	・	1. 3			1		I	1	l	l

PC38UU-6	PC58UU-6							
15001~	15001~	+->-	査	 基	準	店		
450	450	<u>検</u>	笡	-	毕	値		
(15)	(15)							
$(45\sim55)$	$(45\sim55)$							
図 4-1 参照	図 4-1 参照							
180 1760	360 3530							
30	15							
30 30	45 22							
45	45							
(15) (45~55)	$(15)$ $(45\sim55)$							
図 4-1 参照 180	図 4-1 参照 360							
L 1760 J	3530							
3.0 〔図5参照〕	3.6 [図5参照]							
4.6	4. 2							
3. 9	3. 7							
〔図6参照〕	[図6参照]							
4. 1	3.9							
[図7参照]	[図7参照]							
〔無負荷〕	〔無負荷〕							
25.5~26.9	$26.5\pm0.98$							
260~275	$270 \pm 10$							
(45 55)	(45 55)							
(45~55) (フル回転)	(45~55) (フル回転)							
98~123	98~123							
10.0~12.5	10.0~12.5							
98~123	98~123	 					 	
10.0~12.5	10.0~12.5							

				1		7	1	,
j	適用範囲	モデル	名	PC120-11	PC130-11	PC170LC-10	PC200-10	PC200-11
		適用号	機	90001~	90001~	30001∼	450001~	500001~
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位		検 査	基	準 値	
	エンジン本体	エンジン回転速度						
		ハイアイドリング	min <sup>-1</sup>	$2000 \pm 50$	$2000 \pm 50$	$2100 \pm 30$	1850±70	1850±70
		ローアイドリング	min <sup>-1</sup>	$1100 \pm 50$	$1100 \pm 50$	$1050 \pm 50$	$1050 \pm 50$	$1050 \pm 50$
		(冷 却 水 温)	(℃)	$(75\sim 94)$	$(75\sim 94)$	(60~100)	(30~102)	(60~100)
		(作動油温)	(℃)	$(45\sim55)$	$(45\sim55)$	$(45\sim55)$	$(45\sim55)$	$(45\sim55)$
		弁 隙 間						
エ		吸気弁 隙間	mm	0.35	0. 35	0. 25	0. 25	0. 25
		排気弁 隙間	mm	0.50	0.50	0.51	0. 51	0. 51
ン		(測定条件)	(℃)	(常 温)	(常 温)	(常 温)	(常 温)	(常温)
		圧縮圧力又は	MPa	2.0	2. 0	1.69	1.69	1. 69
ジ		気筒間圧縮圧力差	kg/cm <sup>2</sup>	20. 0	20. 0	17. 2	17. 2	17. 2
		(エンジン油温) (回 転 速 度)	(°C) (min <sup>-1</sup> )	$(40\sim60)$ $(320\sim360)$	$(40\sim60)$ $(250\sim280)$	$(40\sim60)$ $(250\sim280)$	$(40\sim60)$ $(250\sim280)$	$(40\sim60)$ $(250\sim280)$
ン	燃料装置	噴射ノズルの	MPa					
		燃料噴射開始圧力		コモンレール	コモンレール	コモンレール	コモンレール	コモンレール
			kg/cm <sup>2</sup>					
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り	mm					
		[ 測定位置・条件 ]		オートテンション	オートテンション	オートテンション	オートテンション	オートテンション
	走行性能	最 高 速 度	S	17 以下	17 以下	12.0~15.0	12.0~15.0	12.0~15.0
		(測定方法・条件) (図面番号表示)		20m 走行 ]	〔20m 走行〕	20m 走行 ]	〔20m 走行〕	〔20m 走行〕
	履 帯 (クローラ	ゴ 張り(たわみ量) ム (アントレント ない)	mm					
走	ベルト)	べ 測定方法・条件 (図面番号表示)		_	_	_	_	
		張り (たわみ量)	mm	10~30	10~30	10~30	10~30	10~30
行				アイドラ・	アイドラ・	アイドラ・	アイドラ・	アイドラ・
		測定方法・条件   (図面番号表示)		キャリアローラ間 中間部	キャリアローラ間   中間部	トキャリアローラ間 中間部	キャリアローラ間   中間部	キャリアローラ間   中間部
装				図3-2参照	図3-2参照	図3-2参照	図3-2参照	図3-2参照
		鉄リンクピッチの伸び	mm	178. 3	178. 3	193. 3	193. 3	193. 3
置		シュークリングルの大学を表生の主義を表生のよう。		[1リンク]	(1リンク)	[1リンク]	[1リンク]	[1リンク]
		履板取付けボルト締付けトルク	kg·m N·m					
		測定方法・ 条件	1 111	角度締め	角度締め	角度締め	角度締め	角度締め
4 10	1・新甫其準値を	-+- 1-	•					

	<b>検</b> 査	L 基	準 値		
			, ,		

					ı			
-	適用範囲	モデル	名	PC120-11	PC130-11	PC170LC-10	PC200-10	PC200-11
		適用号	機	80001~	80001~	30001∼	450001~	500001~
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位		検 査	基	準 値	
	作業機	バケット先端位置	mm	700	700	900	900	900
	自然降下	(測定時間) (作動油温)	(min) (℃)	(15) (45~55)	(15) (45~55)	(15) (45~55)	(15) (45~55)	(15) (45~55)
		作業装置姿勢 (図面番号表示) 荷 重	kg N	図 4-1 参照 810	图 4-1 参照 810	図 4-1 参照 1080	図 4-1 参照 1440	図 4-1 参照 1440
作	シリンダー 自 然 伸 縮	ブームシリンダー アームシリンダー バケットシリンダー ブレードシリンダー	mm mm mm	12 90 40	12 90 40	27 240 58	27 240 58	27 240 58
業		(測 定 時 間) (作 動 油 温) (作業装置姿勢	(min) (°C)	(15) (45~55)	(15) (45~55)	(15) (45~55)	(15) (45~55)	(15) (45~55)
装		(図面番号表示) 荷 重	kg N	図 4-1 参照 810	図 4-1 参照 810	図 4-1 参照 1080	図 4-1 参照 1440	図 4-1 参照 1440
<b></b>	作業機速度	ブーム上げ 「作業装置姿勢 (図面番号表示)	S	4.1 (図5参照)	4.1 (図5参照)	4.9 (図5参照)	4.7 (図5参照)	4.7 (図5参照)
置		アームシリンダー伸ばし縮め ( 作業装置姿勢 ( 図面番号表示)	S S	3.7 3.8 〔図6参照〕	4.7 3.8 〔図6参照〕	4.5 3.5 (図6参照)	4.5 3.5 〔図6参照〕	4.5 3.5 (図6参照)
		バケットシリンダー伸ばし 縮め 作業装置姿勢 (図面番号表示)	S S	3.4 2.7 〔図7参照〕	3.4 2.7 〔図7参照〕	3.5 3.0 〔図7参照〕	3.3 2.7 〔図7参照〕	3.1 2.7 〔図7参照〕
		(性能測定条件 (荷重・設定モード等)		無負荷 Pモード	無負荷 Pモード	無負荷 Pモード	無負荷 Pモード	無負荷 Pモード
	油圧回路	主回路設定圧力	MPa	$31.9 \pm 1.0$	$31.9 \pm 1.0$	33.3~36.8	33.1~37.2	33. 1~37. 2
油圧装置	設定圧力	性能測定条件	kg/cm <sup>2</sup>	325±10	325±10	340~375	338~380	338~380
<b>巻置</b>		(設定モード等) ・油温 ・エンジン回転	(°C) (min <sup>-1</sup> )	Pモード (45~55) (フル回転)	Pモード (45~55) (フル回転)	Pモード (45~55) (フル回転)	Pモード (45~55) (フル回転)	Pモード (45~55) (フル回転)
	旋回ベアリン グ取付けボル	アウターレース取付け ボルトの締付けトルク	N·m	245~308.9	245~308.9	716~814	716~814	716~814
	トの締付	1.4.4. 1.4.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1	kg•m	25.0~31.5	25.0~31.5	73.0~83.0	73.0~83.0	73.0~83.0
動力		インナーレース取付け ボルトの締付けトルク	N·m	245~308.9	245~308.9	588~677	716~814	716~814
			kg•m	25.0~31.5	25.0~31.5	60.0~69.0	73.0~83.0	73.0~83.0
伝		油圧モーター取付けボ	N·m	98.8~122.5	98.8~122.5	85±4.3	59~74	59~74
達装	付けボルトの 締付け	ルトの締付けトルク	kg•m	10.0~12.5	10.0~12.5	8.7±0.44	6.0~7.5	6.0~7.5
爱置		旋回減速機取付けボル トの締付けトルク	N·m	304~362	304~362	490~608	490~608	490~608
			kg•m	31.0~37.0	31.0~37.0	50.0~62.0	50 <b>~</b> 62	50 <b>~</b> 62
Ш	1・発声其準値な							

			<b>検</b> 査	L 基	準 値			
					, ,			
1	<u>l</u>	l		I		l	<u>I</u>	<u> </u>

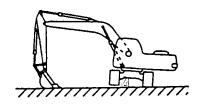
j	適用範囲	モデル	名	PC78UU-10	PC78US-10	PC128US-10 PC138US-10	PC228US-10	
		適用号	機	30001~	30001~	40001~	1001~	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位		検 査	基	準 値	
	エンジン本体	エンジン回転速度						
		ハイアイドリング	min <sup>-1</sup>	1950±50	1950±50	$2000 \pm 60$	$1850 \pm 70$	
		ローアイドリング	min <sup>-1</sup>	$1150  {}^{+50}_{0}$	1150 +50	$1100 \pm 50$	$1050 \pm 50$	
		(冷 却 水 温)	(℃)	(75~94)	(75~94)	(75~94)	(60~100)	
		(作動油温)	(℃)	(45~55)	(45~55)	(45~55)	(45~55)	
		弁 隙 間						
エ		吸気弁 隙間	mm	0.35	0.35	0.35	0. 25	
		排気弁隙間	mm	0.50	0.50	0.50	0.51	
ン								
		(測定条件)	(℃)	(常温)	(常温)	(常温)	(常 温)	
		圧縮圧力又は	MPa	2.0以上	2.0以上	2.0以上	1.69以上	
ジ		気筒間圧縮圧力差	kg/cm <sup>2</sup>	20 以上	20 以上	20 以上	17.2以上	
ン		(エンジン油温) (回 転 速 度)	(°C) (min <sup>-1</sup> )	$(40\sim60)$ $(320\sim360)$	$(40\sim60)$ $(320\sim360)$	$(40\sim60)$ $(320\sim360)$	$(40\sim60)$ $(250\sim280)$	
	燃料装置	噴射ノズルの	MPa					
		燃料噴射開始圧力	kg/cm <sup>2</sup>	コモンレール	コモンレール	コモンレール	コモンレール	
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り						
	17 47 表 但	ファン原動・シャトの近り	mm					
		測定位置・条件		オートテンション	オートテンション	オートテンション	オートテンション	
	走行性能	最 高 速 度	S	18 以下	18 以下	17以下	12.4~13.7	
		(測定方法・条件) (図面番号表示)		[20m 走行時]	[20m 走行時]	[20m 走行時]	[20m 走行時]	
	履帯	ゴ 張り(たわみ量)	mm	1~3	1~3			
	(クローラ ベルト)	ム 測定方法・条件		アイドラ・	アイドラ・	_	_	
走	1 ()	ル (図面番号表示)		中間部	中間部			
		F (==== 32(4)		図 2-2 参照	図 2-2 参照			
行		張り (たわみ量)	mm	10~30	10~30	10~30	10~30	
		測定方法・条件		アイドラ・ キャリアローラ間	アイドラ・	アイドラ・	アイドラ・	
装		(図面番号表示)		中間部	中間部	中間部	中間部	
衣		鉄		【図 3-2 参照】	図 3-2 参照	図 3-2 参照	[図 3-2 参照]	
		リンクピッチの伸びシ	mm	157. 3	157. 3	178. 3	193. 3	
置		測定方法・条件		[1リンク]	[1リンク]	[1リンク]	[1リンク]	
		ュ						
			kg•m					
		締付けトルク						
		測定方法・条件	N·m	角度締め	角度締め	角度締め	角度締め	
	・ 新甫	1 1		i .	1	1	l	i .

	<u> </u>	L 基	準 値		

j	適用範囲	モ デ ル	名	PC78UU-10	PC78US-10	PC128US-10 PC138US-10	PC228US-10	
		適用号	機	30001∼	30001∼	40001~	1001~	
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位		検 査	基	準 値	
	作業機	バケット先端位置	mm	600	600	700	900	
	自然降下	(測 定 時 間) (作 動 油 温)	(min) (°C)	(15) (45~55)	(15) (45~55)	(15) (45~55)	(15) (45~55)	
		作業装置姿勢 (図面番号表示) 荷 重	$\left( \begin{array}{c} kg \\ N \end{array} \right)$	図 4-1 参照 450	図 4-1 参照 450	図 4-1 参照 450	図 4-1 参照 1440	
作		ブームシリンダー アームシリンダー バケットシリンダー ブレードシリンダー (測 定 時 間)	mm mm mm	12 62 38 刃先 30 (15)	12 62 38 — (15)	12 90 40 刃先 47 (15)	27 240 58 —	
業		(例 足 时 间) (作 動 油 温) (作業装置姿勢	(min) (℃)	$(45\sim55)$	$(45\sim55)$	$(45\sim55)$	$(15)$ $(45\sim55)$	
装		(図面番号表示) 荷 重	$\begin{pmatrix} kg \\ N \end{pmatrix}$	図 4-1 参照 450	図 4-1 参照 450	図 4-1 参照 450	図 4-1 参照 1440	
AX.	作業機速度	作業装置姿勢 (図面番号表示)	S	4.5 [図5参照]	4.0 [図5参照]	4.4 [図5参照]	5.2 〔図5参照〕	
置		アームシリンダー伸ばし 縮め 作業装置姿勢 (図面番号表示)	S S	4.0 3.3 〔図6参照〕	4.0 3.3 〔図6参照〕	4.0 3.7 [図6参照]	4.5 3.5 [図6参照]	
		バケットシリンダー伸ばし 縮 め 作業装置姿勢 (図面番号表示)	S S	4.0 3.1 〔図7参照〕	4.0 3.1 〔図7参照〕	3.7 2.9 〔図7参照〕	3.3 2.7 〔図7参照〕	
		( 性能測定条件 ( 荷重・設定モード等)		〔無負荷〕	〔無負荷〕	〔無負荷〕	〔無負荷〕	
	油 圧 回 路 設 定 圧 力	主回路設定圧力	MPa	26. 5±1. 5	26.5±1.5	34. 8 <sup>+2. 0</sup> <sub>-1. 5</sub>	33.1~37.2	
油圧		(世能測定条件 ) (設定モード等)	$kg/cm^2$	$270 \pm 15$	$270 \pm 15$	$355^{+20}_{-15}$	338~380	
!圧装置		(設定セート等) ・油温 ・エンジン回転	(°C) (min⁻¹)	(45~55) (フル回転) Pモード	(45~55) (フル回転) Pモード	(45~55) (フル回転) Pモード	(45~55) (フル回転) Pモード	
	旋回ベアリン グ取付けボル	アウターレース取付け ボルトの締付けトルク	N·m	235~285	235~285	343~382	$765 \pm 49$	
	トの締付け		kg•m	23.5~29.5	23.5~29.5	35.0~39.0	$78 \pm 5$	
動		インナーレース取付け ボルトの締付けトルク	N·m	235~285	235~285	245~308	623±39	
力		・タント しょくかはしまり レントン	kg•m	23.5~29.5	23.5~29.5	25.0~31.5	63. $5 \pm 4$	
伝法	旋回減速機取		N·m	58. 8~73. 5	58.8~73.5	98. 8~122. 5	59~74	
達装	付けボルトの 締付け	ルトの締付けトルク	kg•m	6.0~7.5	6.0~7.5	10.0~12.5	6.0~7.5	
~ 置		旋回減速機取付けボル	N·m	333~372	333~372	304~362	490~608	
		トの締付けトルク	kg•m	34.0~38.0	34.0~38.0	31.0~37.0	50.0~62.0	
Щ	・		<u> </u>					

		<u> </u>	準 値		
	快 宜	-	华 旭		

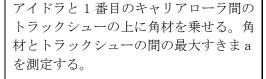
#### 走行性能測定姿勢

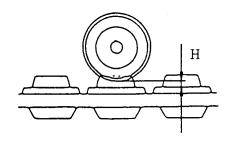


- ・エンジンフル
- 作動油温:45~55℃
- ・履帯を片側ずつ持上げて1回転空転後 の5回転の空転所要時間

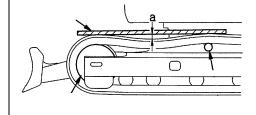
(図 No. 1)

ゴム履帯の張り (たわみ量) 測 定 方 法 履帯を浮かせゴムクローラの継ぎ目部 (Mマーク) をアイドラ·スプロケット間 中心上側にし、トラックローラとゴムク ローラ転動面とのすき間を測定する。





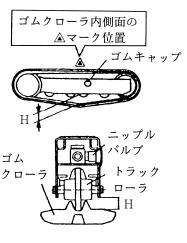
(図 No. 2-1)



(図 No. 2-2)

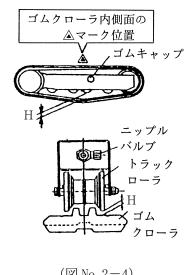
履帯を浮かせ、ゴムクローラ内周面の▲ マークをクローラフレーム上部のスラセ 板の上に合わせた状態で、クローラフレ ーム下面とゴムクローラ踏面とのすき間 を測定する。

ゴムクローラ内側面の ▲マーク位置



(図 No. 2-3)

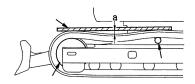
履帯を浮かせ、ゴムクローラ内周面の▲ マークをクローラフレーム上部のスラセ 板の上に合わせた状態で、アイドラ側よ り2番目のトラックローラ転動面とゴム クローラ踏面とのすき間を測定する。



(図 No. 2-4)

アイドラからキャリアローラまで届く角 材を履帯上に置く。

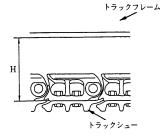
履帯上面と角材下面間の最大たるみ量を 測定する。



(図 No. 2-5)

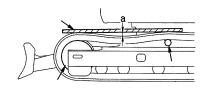
### 鉄製履帯の張り (たわみ量) 測定方法

履帯を浮かせ、トラックローラ踏面とトラックリンク上面とのすき間を測定する。



(図 No. 3-1)

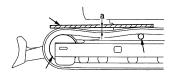
アイドラと1番目のキャリアローラ間のトラックシューの上に角材を乗せる。角材とトラックシューの間の最大すきま a を測定する。



(図 No. 3-2)

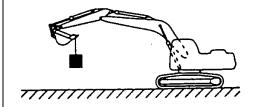
アイドラからキャリアローラまで届く角 材を履帯上に置く。

履帯上面と角材下面間の最大たるみ量を 測定する。



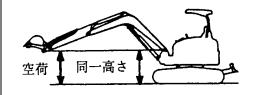
(図 No. 3-3)

### 作業機自然降下量 及び 各シリンダーの 自然伸縮量測定姿勢



- ・上記の姿勢から各シリンダの伸び量、 縮み量およびバケットツース先端の降 下量を測定する。
- · 水平 · 平坦地
- ・バケット: 定格負荷
- レバー中立
- エンジン停止
- 作動油温: 45~55℃
- ・セッティング直後に測定開始
- ・5 分毎に降下量を測定し、15 分間にて 判定する。

(図 No. 4-1)



- ・エンジン:停止
- ・作動油温:45~55℃
- ・ブームピンとバケットピンの高さを同 ーとする。
- ・上記の本機姿勢で10分間の各シリンダ ロッドの伸び量又は縮み量を測定す る。
- ・ブレード自然降下量は最大上げ位置より 10 分間のシリンダロッド縮み量を 測定する。

(図 No. 4-2)

作業機速度測定姿勢	ブーム上げ	空荷	アームシリンダ 伸ばし 及び 縮め	空荷 一个一个
		・エンジンフル ・作動油温:45~55℃ (図 No.5)		・エンジンフル ・作動油温:45~55℃ (図 No.6)
	バケットシリ ンダ 伸ばし 及び 縮め	空荷		
		・エンジンフル ・作動油温:45~55℃ (図 No.7)		

# 住友建機

-	適用範囲	モデル	名	SH75X-6A	SH125X-6	SH135X-6	SH235X-6	SH200HB-6
		適用号	機	75X6-3101	125X6-1101	135X6-1101	235X6-1101	200Н6-1101
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位		検 査	基	準 値	
	エンジン本体	エンジン回転速度						
		ハイアイドリング	$\min^{-1}$	$2000 \pm 20$	1900±20	1900±20	$1650 \pm 20$	$1760 \pm 10$
		ローアイドリング	$\min^{-1}$	$1000\pm20$	$1000\pm20$	$1000 \pm 20$	$900 \pm 20$	$1100 \pm 10$
		(冷 却 水 温) (作 動 油 温)	(℃) (℃)	$(70\sim85)$ $(45\sim55)$	$(70\sim85)$ $(45\sim55)$	$(70\sim85)$ $(45\sim55)$	$(70\sim85)$ $(45\sim55)$	$(70\sim85)$ $(45\sim55)$
		弁 隙 間						
エ		吸気弁 隙間	mm					
ン		排気弁 隙間	mm	_	_	_	_	_
		(測定条件)	(°C)					
ジ		圧縮圧力又は 気筒間圧縮圧力差	MPa kg/cm²	_	_	_	_	_
ン		(冷 却 水 温) (回 転 速 度)	(°C) (rpm)					
	燃料装置	噴射ノズルの 燃料噴射開始圧力	MPa kg/cm²	コモンレール	コモンレール	コモンレール	コモンレール	コモンレール
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り	mm		6.6~7.4 ファンからオルタ ネータプーリー間	· ·		6.0~8.0 ファンからオルタ ネータプーリー間
		測定位置・条件 (中間を指で押す力)	(N)	98	98	98	98	98
	走 行 性 能	最高速度	秒/6m	3, 4~5. 2	3.3~4.5	3.3~4.5	3.7~4.9	3.3~4.3
		(6m の所要時間)						
	履 帯 (クローラ	張り(たわみ量)	mm					
走	ベルト)	ム ベ 測定方法・条件 ル (図面番号表示) ト		_	_	_	_	_
行		張り(たわみ量)	mm	160~180	220~240	220~240	300~330	290~310
装		測定方法・条件 (図面番号表示)						
25		サンクピッチの伸び	mm	154	171. 45	171. 45	190	190
置		シ 測定方法・ 条件		(1 リンク)	(1 リンク)	(1 リンク)	(1 リンク)	(1 リンク)
		履板取付けボルト   締付けトルク	N·m	373~451	373~451	373~451	755~853	755~853
			kg•m	38.1~46.0	38.1~46.0	38.1~46.0	77.0~87.0	77.0~87.0
	]・新車基準値を	**						

	I							1
SH120-7	SH200-7	SH200LC-7	SH250-7		SH125X-7	SH135X-7	SH235X-7	
120A7-1101	200A7-1101	200L7-1101	250A7-1101		125X7-1101	135X7-1101	235X7-1101	
			検 査	基	準 値			
2000±10 (SPモード) 1000±10	1750±10 (SP モード) 900±10	1750±10 (SP モード) 900±10	2000±10 (SP モード) 900±10		1950±10 (SP モード) 1000±10	1950±10 (SP モード) 1000±10	1750±10 (SP モード) 900±10	
$(70\sim85)$ $(45\sim55)$	$(70\sim85)$ $(45\sim55)$	$(70\sim85)$ $(45\sim55)$	$(70\sim85)$ $(45\sim55)$		$(70\sim85)$ $(45\sim55)$	$(70\sim85)$ $(45\sim55)$	$(70\sim85)$ $(45\sim55)$	
_	_	_	_		-	_	_	
_	_	_	_		-	_	_	
コモンレール	コモンレール	コモンレール	コモンレール		コモンレール	コモンレール	コモンレール	
6.6~7.4 ファンからオルタ ネータプーリー間 (10kg) (98N)	6.0~8.0 ファンからオルタ ネータプーリー間 (10kg) (98N)	6.0~8.0 ファンからオルタ ネータプーリー間 (10kg) (98N)	6.0~8.0 ファンからオルタ ネータプーリー間 (10kg) (98N)		6.6~7.4 ファンからオルタ ネータプーリー間 (10kg) (98N)	6.6~7.4 ファンからオルタ ネータプーリー間 (10kg) (98N)	6.0~8.0 ファンからオルタ ネータプーリー間 (10kg) (98N)	
3.4~4.4	3.3~4.3	3.3~4.3	3.4~4.4		3, 4~4, 4	3, 4~4, 4	3,8~4,8	
_	_	_	_		-	_	_	
220~240	300~330	300~330	300~330		220~240	220~240	300~330	
171.5	190	190	190		171, 45	171, 45	190	
(1 リンク)	(1 リンク)	(1 リンク)	(1 リンク)		(1 リンク)	(1 リンク)	(1 リンク)	
373~451	250~350	250~350	250~350		373~451	373~451	250~300	
38.1~46	25. 5~35. 7	25. 5~35. 7	25.6~35.7		38.1~46.0	38.1~46.0	25.5~30.6	
L								

# 住友建機

				T	T		T	
<u>;</u>	適用範囲	モデル	名	SH75X-6A	SH125X-6	SH135X-6	SH235X-6	SH200HB-6
		適用号	機	75X6-3101	125X6-1101	135X6-1101	235X6-1101	200Н6-1101
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位		検査	基	準 値	
	作業機自然降下	バケット先端位置	mm	300	200	200	250	250
		(測定時間)	(分)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)
		(作動油温)	(°C)	(45~55)	(45~55)	(45~55)	(45~55)	(45~55)
作	シリンダー 自 然 伸 縮	ブームシリンダー	mm	0~6	0~5	0~5	0~5	0~5
		アームシリンダー	mm	0~31	0~12	0~12	0~12	0~12
業		バケットシリンダー	mm	0~13	0~15	0 <b>∼</b> 15	0~13	0~13
		ブレードシリンダー	mm	0~12	0~12	0~12	_	_
		(作動油温)	(℃)	(45~55)	(45~45)	(45~55)	(45~55)	(45~55)
装	作業機速度	ブーム上げ	sec	2.9~4.1	3.3~4.5	3.3~4.5	3.1~4.3	2.5~3.7
		アームシリンダー伸ばし 縮 め	sec sec	$2.5 \sim 3.7$ $1.7 \sim 2.9$	2. 3~3. 5 1. 7~2. 9	2. 3~3. 5 1. 7~2. 9	2.6~3.8 1.9~3.1	2.5~3.7 2.0~3.2
置		バケットシリンダー伸ばし 縮 め	sec sec	2.7~3.9 1.6~2.8	2.0~3.2 1.5~2.7	2.0~3.2 1.5~2.7	2. 1~3. 3 1. 6~2. 8	2.7~3.9 1.5~2.7
				(空荷・ SP モード)	(空荷・ SP モード)	(空荷・ SP モード)	(空荷・ SP モード)	(空荷・ SP モード)
油	油圧回路設定圧力	主回路設定圧力	MPa	29. 4	32.3~36.3	32.3~36.3	32.3~36.8	32.3~36.8
油圧装置		性能測定条件 (エンジン:定格回路) (油温:50±5℃)	kg/cm <sup>2</sup>	(SP モード)	(SP モード)	(SP モード)	(SP モード)	(SP モード)
	旋回ベアリン グ取付けボル	アウターレース取付け ボルトの締付けトルク	$N \cdot m$	252~283.4	280~312	280~312	468~545	468~545
	トの締付け	スパノレ 「トロン州市中」() 「トノレン	kg•m	25.7~28.9	28.6~31.8	28.6~31.8	47.8~55.6	47.8~55.6
動		インナーレース取付け ボルトの締付けトルク	N·m	252~283.4	280~312	280~312	468~545	468~545
力			kg•m	25.7~28.9	28.6~31.8	28.6~31.8	47.8~55.6	47.8~55.6
伝達	旋回減速機取 付けボルトの	油圧モーター取付けボ ルトの締付けトルク	N·m	68. 6	98	98	90	
装	締付け	フェ じゃろがはおまり レントン	kg•m	7	10	10	9. 2	_
置		旋回減速機取付けボル トの締付けトルク	N·m	272.6~317.7	280~312	280~312	539. 4~629. 6	539. 4~629. 6
			kg•m	27.8~32.4	28.6~31.8	28.6~31.8	55. 0~64. 2	55. 0∼64. 2
	1. 発声甘淮荷な							

SH120-7	SH200-7	SH200LC-7	SH250-7		SH125X-7	SH135X-7	SH235X-7	
120A7-1101	200A7-1101	200L7-1101	250A7-1101		125X7-1101	135X7-1101	235X7-1101	
			検 査	基	準 値			
200	250	250	250		200	200	250	
(10)	(10)	(10)	(10)		(10)	(10)	(10)	
(45~55)	(45~55)	(45~55)	(45~55)		(45~55)	(45~55)	(45~55)	
0~5	0~5	0~5	0~5		0~5	0~5	0~5	
0~12	0~12	0~12	0~13		0~12	0~12	0~12	
0~15	0~13	0~13	0~12		0~15	0~15	0~13	
_	_	_	_		0~12	0~12	0~12	
(45~55)	(45~55)	(45~55)	(45~55)		(45~45)	(45~45)	(45~45)	
2.5~3.7	2.5~3.7	2.5~3.7	2. 6~3.6		3.0~4.2	3.0~4.2	2.8~4.0	
2.0~3.2 1.5~2.7	2. 1~3. 3 1. 8~3. 0	2. 1~3. 3 1. 8~3. 0	2. 4~3. 6 2. 1~3. 1		2. 1~3. 3 1. 3~2. 5	2. 1~3. 3 1. 3~2. 5	2. 1~3. 3 1. 8~3. 0	
2. 2~3. 4 1. 4~2. 6	2. 5~3. 7 1. 5~2. 7	2.5~3.7 1.5~2.7	2.5~3.7 2.0~3.0		2. 0~3. 2 1. 5~2. 7	2.0~3.2 1.5~2.7	2.5~3.7 1.5~2.7	
(空荷・ SP モード)	(空荷・ SP モード)	(空荷・ SP モード)	(空荷・ SP モード)		(空荷・ SP モード)	(空荷・ SP モード)	(空荷・ SP モード)	
32.3~36.3	32.3~36.3	32.3~36.3	32.3~36.3		32. 3~36. 3	32.3~36.3	32.3~36.3	
(SP モード)	(SP モード)	(SP モード)	(SP モード)		(SP モード)	(SP モード)	(SP モード)	
280~312	468~545	468~545	784~914		280~312	280~312	468~545	
28.6~31.8	47.8~55.6	47.8~55.6	80~93.3		28.6~31.8	28.6~31.8	47.8~55.6	
280~312	518~590	518~590	784~914		280~312	280~312	518~590	
28.6~31.8	52.9~60.2	52.9~60.2	80~93.3		28.6~31.8	28.6~31.8	52.9~60.2	
90	90	90	90		87~119	87~119	87~119	
9. 2	9. 2	9. 2	9. 2		8.9~12.1	8.9~12.1	8.9~12.1	
280~312	539. 4~629. 6	539.4~629.6	784~914		280~312	280~312	539. 4~629. 6	
28.6~31.8	55. 0~64. 2	55. 0~64. 2	80~93.3		28.6~31.8	28.6~31.8	55. 0~64. 2	
	ı	ı	ı	ı		1	1	i .

# 住友建機

# ・クレーン時の旋回速度測定

適用	1 範 囲	モデル	名	SH75X-6A	SH125X-6	SH135X-6	SH235X-6	SH200HB-6
		適用号	機	075X6-3101	125X6-1101	135X6-1101	235X6-1101	200Н6-1101
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位		検 査	基	準 値	
達動装力置伝	クレーン 時の旋回 速度	1回転の所有時間	秒	5.8~8.0	5.8~7.2	5.8~7.2	5.1~6.5	5.0~6.6

適用	〕範囲	モ デ ル	名	SH120-7	SH200-7	SH200LC-7	SH250-7	
		適用号	機	120A7-1101	200A7-1101	200L7-1101	250A7-1101	
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位		検 査	基	準 値	
達動装力置伝	クレーン 時の旋回 速度	1回転の所有時間	秒	4.4~5.6	5.0~6.4	5.0~6.4	5.9~6.9	

適用範囲	モデル	名	SH125X-7	SH135X-7	SH235X-7		
	適用号	機	125X7-1101	135X7-1101	235X7-1101		
区分 検査箇所	検査項目 (条件)	単位		検 査	基	準 値	
達動	1回転の所有時間	秒	5.3~6.9	5.3~6.9	5.2~6.6		

_								
		モデル	名	ZX17U-5A	ZX20U-5A	ZX20UR-5A	ZX30U-5B	ZX30UR-5B
	適用範囲	適用号	機	ABA50− 030001∼	ACDA0− 020001∼	ACHA0− 020001∼	ADH90− 050001∼	ADMA0− 050001∼
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位		検 査	基	準 値	
	エンジン本体	エンジン回転速度						
		ハイアイドリング ローアイドリング (冷 却 水 温) (作 動 油 温)	min <sup>-1</sup> min <sup>-1</sup> (°C) (°C)	2550±50 1350±50 (50以上) (50±5)	2350±50 1350±50 (50以上) (50±5)	2350±50 1350±50 (50以上) (50±5)	2430±50 1300±50 (50以上) (50±5)	2230±50 1300±50 (50以上) (50±5)
エ		弁 隙 間 吸気弁 隙間	mm	0. 15~0. 25	0. 15~0. 25	0. 15~0. 25	0. 15~0. 25	0. 15~0. 25
		排気弁 隙間	mm	0. 15~0. 25	0. 15~0. 25	0. 15~0. 25	0. 15~0. 25	0. $15 \sim 0.25$
ン		(測定条件)	(℃)	(冷間)	(冷間)	(冷間)	(冷間)	(冷間)
ジ		圧縮圧力又は 気筒間圧縮圧力差	MPa kg/cm²	$3.24\pm0.1$ $33\pm1$	$3.43\pm0.1$ $35\pm1$	$3.43\pm0.1$ $35\pm1$	$3.43\pm0.1$ $35\pm1$	$3.43\pm0.1$ $35\pm1$
ン		(冷 却 水 温) (回 転 速 度)	(°C) (rpm)	(暖気運転後) (セル回転)	(暖気運転後) (セル回転)	(暖気運転後) (セル回転)	(暖気運転後) (セル回転)	(暖気運転後) (セル回転)
	燃料装置	噴射ノズルの 燃料噴射開始圧力	MPa	11.8~12.8	11.8~12.8	11.8~12.8	19.6~20.6	19.6~20.6
		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	$kg/cm^2$	120~130	120~130	120~130	200~210	200~210
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り [測定位置・条件] kgとNの両方で表記	mm (kg)	7~9 ファン〜オルタ ネータプーリ間 10kgf (98N)	7~9 ファン~オルタ ネータプーリ間 10kgf (98N)	7~9 ファン~オルタ ネータプーリ間 10kgf (98N)	8~10 ファン〜オルタ ネータプーリ間 10kgf (98N)	8~10 ファン〜オルタ ネータプーリ間 10kgf (98N)
	走行性能	最高速度 ゴム 鉄 [測定方法・条件]	秒/3回	8.5±1.5 - ジャッキア ップし空転 (高速)	9.3±1.5 - ジャッキア ップし空転 (高速)	9.3±1.5 - ジャッキア ップし空転 (高速)	11.2±1.5 11.5±1.5 ジャッキア ップし空転 (高速)	10.1±1.5 10.3±1.5 ジャッキア ップし空転 (高速)
	履 帯 (クローラ	ボ 張り(たわみ量)	mm		10~15 クローラの継			10~15 クローラの継
走	ベルト)	ベ 測定方法・条件 ル (図面番号表示) ト			目をトラック フレームの下 側中央にする	フレームの下		目をトラック フレームの下 側中央にする
行		張り(たわみ量)	mm	_	_	_	120~140	120~140
装		測定方法・条件 (図面番号表示) 鉄		_	_	_	_	_
		リンクピッチの伸び シ	mm	_	_	_	_	
置		ュ (測定方法・ 条件 )		_	_	_	_	_
		履板取付けボルト 締付けトルク	N·m	_	_	_	_	_
			kg•m	_	_	_	-	_
$\Box$	1・発声甘潍値な							

						1		
ZX35U-5B	ZX40U-5B	ZX40UR-5B	ZX50U-5B	ZX55UR-5B				
ADJ90- 060001∼	AEHA0− 050001∼	AEMA0− 050001∼	AEJA0− 060002∼	AFEA0− 050001∼				
			<u> </u>	L 基	<u> </u>	 直	<u> </u>	
			1,7		, ,,			
2430±50	2430±50	$2430 \pm 50$	$2430 \pm 50$	$2430 \pm 50$				
$1300 \pm 50$	$1200 \pm 50$	$1300 \pm 50$	$1200 \pm 50$	$1200 \pm 50$				
(50以上)	(50以上)	(50以上)	(50以上)	(50 以上)				
$(50 \pm 5)$	$(50 \pm 5)$	$(50 \pm 5)$	$(50 \pm 5)$	$(50 \pm 5)$				
0.15~0.25	0.15~0.25	0.15~0.25	0.15~0.25	0.15~0.25				
0.15~0.25	0.15~0.25	0.15~0.25	0.15~0.25	0.15~0.25				
(冷間)	(冷間)	(冷間)	(冷間)	(冷間)				
$3.43\pm0.1$ $35\pm1$	$3.24\pm0.1$ $33\pm1$	$3.43\pm0.1$ $35\pm1$	$3.24\pm0.1$ $33\pm1$	$3.24\pm0.1$ $33\pm1$				
30 ± 1	33 - 1	30 - 1	33 - 1	33 - 1				
(暖気運転後)	(暖気運転後)	(暖気運転後)	(暖気運転後)	(暖気運転後)				
(セル回転)	(セル回転)	(セル回転)	(セル回転)	(セル回転)				
19.6~20.6	135	19.6~20.6	135	135				
200~210	1377	200~210	1377	1377				
8~10	8~10	8~10	8~10	8~10				
ファン〜オルタ ネータプーリ間	ファン〜オルタ ネータプーリ間	ファン〜オルタ ネータプーリ間	ファン〜オルタ ネータプーリ間	ファン〜オルタ ネータプーリ間				
10kgf (98N)	10kgf (98N)	10kgf (98N)	10kgf (98N)	10kgf (98N)				
11. 2±1. 5	12. 4±1. 5	10.7±1.5	17. 0±1. 5	12.9±2.0				
11.5±1.5	13. 1±1. 5	11.0±1.5	18. 3±1. 5	13.6±2.0				
ジャッキア ップし空転	ジャッキア ップし空転	ジャッキア ップし空転	ジャッキア ップし空転	ジャッキア ップし空転				
(高速)	(高速)	(高速)	(高速)	(高速)				
10~15	10~15	10~15	10~15	10~15				
クローラの継	クローラの継	クローラの継	クローラの継	クローラの継				
目をトラック フレームの下		目をトラック フレームの下	目をトラック フレームの下	目をトラック フレームの下				
側中央にする	側中央にする	側中央にする	側中央にする	側中央にする				
120~140	140~160	120~140	140~160	140~160				
	_	_	_	_				
	_	_	_	_				
_	_	_	_	_				
_	_	_	_	_				
_	_	_	_	_				

_				T	1	1	T	[
		モデル	名	ZX17U-5A	ZX20U-5A	ZX20UR-5A	ZX30U-5B	ZX30UR-5B
	適用範囲	適用号	機	ABA50− 030001∼	ACDA0− 020001∼	ACHA0− 020001∼	ADH90− 050001∼	ADMA0− 050001∼
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位		検 査	基	準 値	
	作業機	バケット先端位置	mm	<b>≦</b> 150	<b>≦</b> 150	<b>≦</b> 150	<b>≦</b> 100	<b>≦</b> 90
	自然降下	(測 定 時 間) (作 動 油 温) 作業装置姿勢	(分) (℃)	5 (50±5)	$5 (50 \pm 5)$	5 (50±5)	5 (50±5)	$5 (50 \pm 5)$
		(図面番号表示)		(図番 C-001)				
作	シリンダー 自 然 伸 縮	ブームシリンダー アームシリンダー	mm mm	≦10 縮み量 ≦8 伸び量	≦10 縮み量 ≦8 伸び量	≦10 縮み量 ≦8 伸び量	≦5 縮み量 ≦8 伸び量	≦4 縮み量 ≦10 伸び量
		バケットシリンダー	mm	≦5 縮み量	≦5 縮み量	≦5 縮み量	≦5 縮み量	≦6 縮み量
業		ブレードシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示) (測定時間) (作 動 油 温)	mm (°C)	≤3 伸び量 (図番 C-001) (5) (50±5)	≦3 伸び量 (図番 C-001) (5) (50±5)	≦3 伸び量 (図番 C-001) (5) (50±5)	≦3 伸び量 (図番 C-001) (5) (50±5)	≦3 伸び量 (図番 C-001) (5) (50±5)
装	作業機速度	ブーム上げ	sec	$2.0\pm0.3$	2.6±0.3	3.5±0.3	2. 4±0. 3	$3.2\pm0.3$
置	作 来 傚 坯 及	作業装置姿勢 (図面番号表示) アームシリンダー伸ばし 縮 め 作業装置姿勢	sec sec	(図番 D-001) 3.1±0.3 2.2±0.3	(図番 D-001) 2.7±0.3 2.2±0.3	(図番 D-001) 2.8±0.3 2.3±0.3	(図番 D-001) 2.6±0.3 2.4±0.3	(図番 D-001) 3. 1±0. 3 2. 4±0. 3
		(図面番号表示)		(図番 E-001)				
		バケットシリンダー伸ばし 縮 め	sec	$2.4\pm0.3$ $1.7\pm0.3$	$2.4\pm0.3$ $1.4\pm0.3$	$2.4\pm0.3$ $1.4\pm0.3$	$2.4\pm0.3$ $1.6\pm0.3$	$2.5\pm0.3$ $1.6\pm0.3$
		作業装置姿勢 (図面番号表示) 性能測定条件 (荷重・設定モード等)	sec	1.7±0.3 (図番 F-001) 荷重無し、 ハイアイドル	1.4±0.3 (図番 F-001) 荷重無し、 ハイアイドル	(図番 F-001) 荷重無し、	1.0±0.3 (図番 F-001) 荷重無し、 ハイアイドル	1.0±0.3 (図番F-001) 荷重無し、 ハイアイドル
	油圧回路	主回路設定圧力	MPa	21.2±1.0	22.1±1.0	22.1±1.0	25.4±1.0	24.5 $\pm$ 1.0
油圧装置	設定圧力	性能測定条件	kgf/cm <sup>2</sup>	215±10	$225 \pm 10$	$225 \pm 10$	$259 \pm 10$	$250 \pm 10$
置		(エンジン:定格回路) (油温:50±5℃)		ハイアイドル	ハイアイドル	ハイアイドル	ハイアイドル	ハイアイドル
	グ取付けボル	アウターレース取付け ボルトの締付けトルク	N·m	50	110	110	110	110
壬上	トの締付け		kg•m	5	11	11	11	11
動力		インナーレース取付け ボルトの締付けトルク	N·m	50	110	110	110	110
伝			kg•m	5	11	11	11	11
達	付けボルトの	油圧モーター取付けボルトの締付けトルク	N·m	_	_	_	_	_
装	締付け		kg•m	_	_	_	_	_
置		旋回減速機取付けボル トの締付けトルク	N·m	90	90	90	140	180
			kg•m	9	9	9	14	18
<u></u>	1. 発声甘淮信な							

ZX35U-5B	ZX40U-5B	ZX40UR-5B	ZX50U-5B	ZX55UR-5B				
ADJ90− 060001∼	AEHA0− 050001∼	AEMA0− 050001∼	AEJA0− 060002∼	AFEA0− 050001∼				
				基	準	値		
≦100	<b>≦</b> 100	<b>≦</b> 90	<b>≦</b> 100	<b>≦</b> 90				
5	5	5	5	5				
$(50 \pm 5)$	$(50 \pm 5)$	$(50 \pm 5)$	$(50 \pm 5)$	$(50 \pm 5)$				
(図番 C-001)	(図番 C-001)	(図番 C-001)	(図番 C-001)	(図番 C-001)				
≦5 縮み量	≦5 縮み量	≦4 縮み量	≦5 縮み量	≦4 縮み量				
<u>₩₩</u>	≦8	MB0万里 ≦10	### <i>F</i> <b> </b>	<b>≦</b> 10				
伸び量 ≦5	伸び量 ≦5	伸び量 ≦6	伸び量 ≦5	伸び量 ≦6				
縮み量	縮み量	縮み量	縮み量	縮み量				
≦3 伸び量	≦3 伸び量	≦5 伸び量	≦3 伸び量	≦5 伸び量				
(図番 C-001)	(図番 C-001)	(図番 C-001)	(図番 C-001)	(図番 C-001)				
$(5)$ $(50\pm 5)$	(5) (50±5)	(5) (50±5)	(5) (50±5)	$(5)$ $(50\pm 5)$				
$2.7\pm0.3$	2. 1±0. 3	3.0±0.3	2. 4±0. 3	2.8±0.3				
(図番 D-001)	(図番 D-001)	(図番 D-001)	(図番 D-001)	(図番 D-001)				
3.3±0.3	2.6±0.3	3.2±0.3	2.7±0.3	3.1±0.3				
$2.8\pm0.3$	$2.3\pm0.3$	$2.5\pm0.3$	$2.4\pm0.3$	$2.5\pm0.3$				
(図番 E-001)	(図番 E-001)	(図番 E-001)	(図番 E-001)	(図番 E-001)				
$2.4\pm0.3$ $1.6\pm0.3$	$2.3\pm0.3$ $1.7\pm0.3$	$2.8\pm0.3$ $2.0\pm0.3$	$2.6\pm0.3$ $1.7\pm0.3$	$3.1\pm0.3$ $2.1\pm0.3$				
1.0 ± 0.3	1.7 ±0.3	2.0 ± 0.3	1. 7 = 0. 3	2.1 = 0.3				
(図番 F-001) 荷重無し、	(図番 F-001) 荷重無し、	(図番 F-001) 荷重無し、	(図番 F-001) 荷重無し、	(図番 F-001) 荷重無し、				
19 里無 し、			何里無し、 ハイアイドル	19 里無し、 ハイアイドル				
25.4±1.0	$25.3\pm1.0$	24.5±1.0	$25.3\pm1.0$	$25.0\pm1.0$				
$259 \pm 10$	258±10	$250 \pm 10$	258±10	$255 \pm 10$				
ハイアイドル	ハイアイドル	ハイアイドル	ハイアイドル	ハイアイドル				
	7 4 7 7 1 170			7 19 7 7 1170				
110	110	110	110	110				
11	11	11	11	11				
110	110	110	110	110				
11	11	11	11	11				
_	_	_	_	_				
_	_	_	_	_				
140	270	180	270	270				
14	27	18	27	27				
	2.		2.	2.				

	1				T	T	r	1
		モデル	名	ZX75US-5B	ZX75UR-5B	ZX120-5B	ZX120-6	ZX135US-5B
j	適用範囲	適用号	機	DEPA0- 070001~	DENA0- 060001~	DADA0− 090815∼	DAQA0- 100990~	DAEA0- 090813
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位		検 査	基	準 値	
	エンジン本体	エンジン回転速度						
		ハイアイドリング ローアイドリング (冷 却 水 温) (作 動 油 温)	min <sup>-1</sup> min <sup>-1</sup> (°C) (°C)	1800±50 1000±50 (50以上) (50±5)	1800±50 1000±50 (50以上) (50±5)	1800±50 1050±50 (50以上) (50±5)	1800±50 1050±50 (50以上) (50±5)	1800±50 1050±50 (50以上) (50±5)
		弁 隙 間						
H		吸気弁 隙間 排気弁 隙間	mm mm	0. 15~0. 25 0. 15~0. 25	0. 15~0. 25 0. 15~0. 25	0. 15 0. 15	0. 15 0. 15	0. 15 0. 15
ン		(測定条件)	(℃)	(冷間時)	(冷間時)	(冷間時)	(冷間時)	(冷間時)
ジ		圧縮圧力又は 気筒間圧縮圧力差	MPa kg/cm²	$3.43\pm0.1$ $35\pm1$	$3.43\pm0.1$ $35\pm1$	$3.04\pm0.2$ $31\pm2$	$3.00\pm0.2$ $31\pm2$	$3.04\pm0.2$ $31\pm2$
ン		(冷 却 水 温) (回 転 速 度)	(°C) (rpm)	(暖気運転後) (セル回転)	(暖気運転後) (セル回転)	(暖気運転後) (セル回転)	(暖気運転後) (セル回転)	(暖気運転後) (セル回転)
•	燃料装置	噴射ノズルの 燃料噴射開始圧力	MPa kg/cm²	コモンレール	コモンレール	コモンレール	コモンレール	コモンレール
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り [測定位置・条件] kgとNの両方で表記	mm (kg)	7~9 ファン〜オルタ ネータプーリ間 10kgf (98N)	7~9 ファン〜オルタ ネータプーリ間 10kgf (98N)	7~8 ファン~オルタ ネータプーリ間 10kgf (98N)	7~8 ファン~オルタ ネータプーリ間 10kgf (98N)	7~8 ファン~オルタ ネータプーリ間 10kgf (98N)
	走 行 性 能	最高速度 ゴム 鉄 [測定方法・条件]	秒/3回	13.5±1.0 13.5±1.0 ジャッキア ップし空転 (高速)	13.5±1.0 13.5±1.0 ジャッキア ップし空転 (高速)	ー 25.4±2.0 ジャッキア ップし空転	ー 15.2±2.0 ジャッキア ップし空転	- 25.4±2.0 ジャッキア ップし空転
走	履 帯 (クローラ ベルト)	ボ 張り (たわみ量) ム ベ 測定方法・条件 (図面番号表示)	mm	15~20 クローラの継目を トラックフレームの下 側中央にする (図番 A-001)	15~20 クローラの継目を トラックフレームの下 側中央にする (図番 A-001)	該当なし	該当なし	該当なし
行		張り (たわみ量)	mm	210~245	210~245	250~280	250~280	250~280
装		測定方法・条件 (図面番号表示) 鉄		(図番 B-001)	(図番 B-001)	(図番 B-001)	(図番 B-001)	(図番 B-001)
置		リンクピッチの伸び シ コ (測定方法・ 条件 )	mm	_	_	_	_	_
		履板取付けボルト   締付けトルク	N·m	245	245	410	410	410
		[測定方法・条件]	kg•m	24. 5 トルクレンチ	24. 5 トルクレンチ	42 トルクレンチ	41 トルクレンチ	42 トルクレンチ
	  ・新甫其淮値を	<u> </u>	l				l .	

ZX135US-6	ZX160LC-5B	ZX200-5B	ZX200X-5B	ZX200-6	ZH200-A	ZH200-5B	ZH200-6	ZX225US-3
DASA0- 101021~	DBEA0− 020046∼	DCKA0− 300272∼	DCKA9− 305097∼	DC4A0- 500299~	DCFA0- 010001~	DCSA0- 020001~	DFXA0− 030001∼	1U4- 200021~
			<u> </u>	 基	<u> </u>			
					. ,,			
1800±50 1050±50 (50以上)	2000±50 900±50 (50 以上)	1800±50 800±50 (50 以上)	1800±50 800±50 (50 以上)	1800±50 800±50 (50以上)	1800±50 800±50 (50以上)	1800±50 800±50 (50以上)	1885±50 845±50 (50以上)	1800±50 800±50 (50 以上)
$(50 \pm 5)$	$(50 \pm 5)$	$(50 \pm 5)$	$(50\pm 5)$	$(50 \pm 5)$	$(50\pm 5)$	$(50 \pm 5)$	$(50 \pm 5)$	$(50 \pm 5)$
0. 15 0. 15	0. 15 0. 15	0. 15 0. 15	0. 4 0. 4	0. 4 0. 4	0. 4 0. 4	0. 4 0. 4	0. 20~0. 30 0. 35~0. 45	0. 4 0. 4
(冷間時)	(冷間時)	(冷間時)	(冷間時)	(冷間時)	(冷間時)	(冷間時)	(冷間時)	(冷間時)
3	$3.04\pm0.2$ $31\pm2$	$3.04\pm0.2$ $31\pm2$	$3.04\pm0.2$ $31\pm2$	$3.04\pm0.2$ $31\pm2$	$3.04\pm0.2$ $31\pm2$	$3.04\pm0.2$ $31\pm2$	2.7	$3.04\pm0.2$ $31\pm2$
(暖気運転後) (200)	(暖気運転後) (セル回転)	(暖気運転後) (250)	(暖気運転後) (セル回転)					
コモンレール	コモンレール	コモンレール	コモンレール	コモンレール	コモンレール	コモンレール	コモンレール	コモンレール
7~8 ファン~オルタ ネータプーリ間 10kgf (98N)	7~8 ファン~オルタ ネータプーリ間 10kgf (98N)	5~6 ファン〜オルタ ネータプーリ間 10kgf (98N)	5~6 ファン〜オルタ ネータプーリ間 10kgf (98N)	5~6 ファン〜オルタ ネータプーリ間 10kgf (98N)	5~6 ファン~オルタ ネータプーリ間 10kgf (98N)	5~6 ファン~オルタ ネータプーリ間 10kgf (98N)	V ベルトテンショナ 一 一	5~6 ファン~オルタ ネータプーリ間 10kgf (98N)
ー 15.2±2.0 ジャッキア ップし空転	ー 16.9±2.0 ジャッキア ップし空転	ー 17.2±1.0 ジャッキア ップし空転	ー 17.2±1.0 ジャッキア ップし空転	ー 17.2±1.0 ジャッキア ップし空転	ー 17.2±1.0 ジャッキア ップし空転	ー 17.2±1.0 ジャッキア ップし空転	ー 18.8±1.0 ジャッキア ップし空転	ー 17.2±1.0 ジャッキア ップし空転
該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
250~280	285~320	300~335	300~335	300~335	300~335	300~335	300~335	300~335
(図番 B-001)	(図番 B-001)	(図番 B-001)	(図番 B-001)	(図番 B-001)	(図番 B-001)	(図番 B-001)	(図番 B-001)	(図番 B-001)
_	_	-	-	_	_	_	_	_
410	804	804	804	820	804	804	804	804
42 トルクレンチ	82 トルクレンチ	82 トルクレンチ	82 トルクレンチ	82 トルクレンチ	82 トルクレンチ	82 トルクレンチ	80 トルクレンチ	82 トルクレンチ

				7		T		
		モーデール	名	ZX75US-5B	ZX75UR-5B	ZX120-5B	ZX120-6	ZX135US-5B
	適用範囲	適用号	機	DEPA0- 070001~	DENA0- 060001~	DADA0− 090815∼	DAQA0- 100990~	DAEA0- 090813
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位		検 査	基	準 値	
	作業機	バケット先端位置	mm	100	100	150	100	100
	自然降下	(測 定 時 間) (作 動 油 温) 作業装置姿勢	(分) (℃)	(5) (50±5)	(5) (50±5)	(5) (50±5)	(5) (50±5)	(5) (50±5)
		(図面番号表示)		(図番 C-001)				
作	シリンダー 自 然 伸 縮	ブームシリンダー アームシリンダー	mm mm	≦10 縮み量 ≦20	≦10 縮み量 ≦20	≦10 縮み量 ≦20	≦10 縮み量 ≦20	≦10 縮み量 ≦20
		バケットシリンダー	mm	伸び量 ≦10 縮み量	伸び量 ≦10 縮み量	伸び量 ≦15 縮み量	伸び量 ≦15 縮み量	伸び量 ≦15 縮み量
業		ブレードシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm	≦5 伸び量 (図番 C-001)				
		(測定時間) (作 動 油 温)	min (℃)	$5$ $(50\pm5)$				
装	作業機速度	ブーム上げ	sec	2.5±0.3	3. 4±0. 4	2.9±0.3	3. 4±0. 3	3.6±0.3
	II X IX Z Z	作業装置姿勢 (図面番号表示) アームシリンダー伸ばし	sec	(図番 D-001) 2.4±0.3	(図番 D-001) 2.6±0.4	(図番 D-001) 3.2±0.3	(図番 D-001) 3.2±0.3	(図番 D-001) 3.2±0.3
置		縮 め 作業装置姿勢 (図面番号表示)	sec	2.0±0.3 (図番 E-001)	2.5±0.4 (図番 E-001)	2.3±0.3 (図番 E-001)	2.8±0.3 (図番 E-001)	2.3±0.3 (図番 E-001)
		バケットシリンダー伸ばし	sec	3.6±0.3	3.8±0.4	3.4±0.3	3.5±0.3	3.4±0.3
		縮め	sec	$2.3\pm0.3$	$2.4\pm0.4$	$2.3\pm0.3$	$2.4\pm0.3$	$2.3\pm0.3$
		作業装置姿勢 (図面番号表示) 性能測定条件 (荷重・設定モード等)		(図番 F-001) 荷重無し, ハイアイドル				
	油圧回路	主回路設定圧力	MPa	26. 0	26. 0	34. 5	34. 5	34. 5
油圧装置	設定圧力	性能測定条件	kg/cm <sup>2</sup>	265	265	350	350	350
置		(エンジン:定格回路) (油温:50±5℃)		ハイアイドル	ハイアイドル	ハイアイドル	ハイアイドル	ハイアイドル
		アウターレース取付け ボルトの締付けトルク	N·m	210	210	390	390	390
	トの締付け		kg•m	21	21	40	39	40
動力		インナーレース取付け ボルトの締付けトルク	N·m	270	270	265	265	265
伝			kg•m	27	27	27	26. 5	27
伝達		油圧モーター取付けボ ルトの締付けトルク	N·m	175	175	64	64	64
装	締付け	-   -   -   -   -   -   -   -   -   -	kg∙m	17. 5	17. 5	6. 5	6. 4	6. 5
置		旋回減速機取付けボル トの締付けトルク	N·m	210	210	500	500	500
			kg•m	21	21	51	50	51
	   ・							

	r	T	1			T	T	
ZX135US-6	ZX160LC-5B	ZX200-5B	ZX200X-5B	ZX200-6	ZH200-A	ZH200-5B	ZH200-6	ZX225US-3
DASA0- 101021~	DBEA0− 020046∼	DCKA0− 300272∼	DCKA9− 305097∼	DC4A0- 500299~	DCFA0- 010001~	DCSA0- 020001~	DFXA0− 030001∼	1U4- 200021~
			 検 査	 基				
100	100	150	150	150	150	150	150	150
(5) (50±5)	(5) (50±5)	(5) (50±5)	(5) (50±5)	(5) (50±5)	$(5)$ $(50\pm 5)$	(5) (50±5)	(5) (50±5)	(5) (50±5)
(図番 C-001)	(図番 C-001)	(図番 C-001)	(図番 C-001)	(図番 C-001)	(図番 C-001)	(図番 C-001)	(図番 C-001)	(図番 C-001)
≦10 縮み量 ≦20 伸び量 ≦15 縮み量 ≦5 伸び量 (図番 C-001)	≦5 縮み量 ≤10 伸び量 ≤15 縮み量 ー 伸び量 (図番 C-001)	≦20 縮み量 ≦20 伸び量 ≦20 縮み量 ー 伸び量 (図番 C-001)	≤20 縮み量 ≤20 伸び量 ≤20 縮み量 ー 伸び量 (図番 C-001)	≦20 縮み量 ≦20 伸び量 ≦20 縮み量 ー 伸び量 (図番 C-001)	≦20 縮み量 ≦20 伸び量 ≦20 縮み量 ー 伸び量 (図番 C-001) 5	≦20 縮み量 ≦20 伸び量 ≦20 縮み量 ー 伸び量 (図番 C-001)	≤20 縮み量 ≤20 伸び量 ≤20 縮み量 ー 伸び量 (図番 C-001)	≦20 縮み量 ≦20 伸び量 ≦20 縮み量 ー 伸び量 (図番 C-001)
$(50\pm 5)$	$(50\pm 5)$	$(50\pm 5)$	$(50\pm 5)$	$(50\pm 5)$	$(50\pm 5)$	$(50\pm 5)$	$(50\pm 5)$	$(50\pm 5)$
3.8±0.3	3.0±0.3	3.5±0.3	$3.5\pm0.3$	3.2±0.3	3.2±0.3	3.4±0.3	3.4±0.3	3.1±0.3
(図番 D-001) 3.2±0.3 2.8±0.3	(図番 D-001) 3.6±0.3 2.6±0.3	(図番 D-001) 3.1±0.3 2.8±0.3	(図番 D-001) 3.1±0.3 2.8±0.3	(図番 D-001) 3.3±0.3 2.7±0.3	(図番 D-001) 3.3±0.3 2.7±0.3	(図番 D-001) 3.4±0.3 2.3±0.3	(図番 D-001) 3.5±0.3 2.8±0.3	(図番 D-001) 3.2±0.3 2.5±0.3
(図番 E-001) 3.5±0.3 2.4±0.3	(図番 E-001) 3.2±0.3 2.0±0.3	(図番 E-001) 3.0±0.3 2.1±0.3	(図番 E-001) 3.0±0.3 2.1±0.3	(図番 E-001) 3.0±0.3 2.1±0.3	(図番 E-001) 3.0±0.3 2.1±0.3	(図番 E-001) 3.0±0.3 2.1±0.3	(図番 E-001) 2.9±0.3 2.2±0.3	(図番 E-001) 3.0±0.3 2.0±0.3
(図番 F-001) 荷重無し, ハイアイドル	(図番 F-001) 荷重無し, ハイアイドル	(図番 F-001) 荷重無し, ハイアイドル	(図番 F-001) 荷重無し, ハイアイドル	(図番 F-001) 荷重無し, ハイアイドル	(図番 F-001) 荷重無し, ハイアイドル	(図番 F-001) 荷重無し, ハイアイドル	(図番 F-001) 荷重無し, ハイアイドル	(図番 F-001) 荷重無し, ハイアイドル
34. 5	34. 3	34. 3	34. 3	38	36. 9	36. 9	38	34. 3
350	350	350	350	_	376	376	_	350
ハイアイドル	ハイアイドル	ハイアイドル	ハイアイドル	ハイアイドル	ハイアイドル	ハイアイドル	ハイアイドル	ハイアイドル
390	520	510	510	510	510	510	510	510
40	51	51	51	51	51	51	51	51
265	500	490	490	500	490	490	500	490
27	50	49	49	50	49	49	50	49
64	90	90	90	90	90	90	90	90
6. 5	9	9	9	9	9	9	9	9
500	500	500	500	500	500	500	500	500
51	50	50	50	50	50	50	50	50
l	ı		t			ı		

				7		T	,	
		モーデール	名	ZX225US-5B	ZX225US-6	ZX225USR-3	ZX225USR -5B	ZX225USR-6
	適用範囲	適用号	機	DCNA0- 300641~	DFBA0− 500376∼	1U5- 200016~	DCQA0− 300716∼	DFCA0- 500408~
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位		検 査	基	準 値	
	エンジン本体	エンジン回転速度						
		ハイアイドリング ローアイドリング (冷 却 水 温) (作 動 油 温)	min <sup>-1</sup> min <sup>-1</sup> (°C) (°C)	1800±50 800±50 (50以上) (50±5)	1800±50 800±50 (50以上) (50±5)	1800±50 800±50 (50以上) (50±5)	1800±50 800±50 (50以上) (50±5)	1800±50 800±50 (50以上) (50±5)
		弁 隙 間						
H		吸気弁 隙間 排気弁 隙間	mm mm	0. 4 0. 4				
ン		(測定条件)	(℃)	(冷間時)	(冷間時)	(冷間時)	(冷間時)	(冷間時)
ジ		圧縮圧力又は 気筒間圧縮圧力差	MPa kg/cm²	$3.04\pm0.2$ $31\pm2$	$3.04\pm0.2$ $31\pm2$	$3.04\pm0.2$ $31\pm2$	$3.04\pm0.2$ $31\pm2$	$3.04\pm0.2$ $31\pm2$
ン		(冷 却 水 温) (回 転 速 度)	(℃) (rpm)	(暖気運転後) (セル回転)	(暖気運転後) (セル回転)	(暖気運転後) (セル回転)	(暖気運転後) (セル回転)	(暖気運転後) (セル回転)
	燃料装置	噴射ノズルの 燃料噴射開始圧力	MPa kg/cm²	コモンレール	コモンレール	コモンレール	コモンレール	コモンレール
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り [測定位置・条件] kgとNの両方で表記	mm (kg)	5~6 ファン~オルタ ネータプーリ間 10kgf (98N)				
	走行性能	最高速度 ゴム 鉄 [測定方法・条件]	秒/3回	ー 17. 2±2. 0 ジャッキア ップし空転	ー 17.2±2.0 ジャッキア ップし空転	ー 17. 2±2. 0 ジャッキア ップし空転	ー 17. 2±2. 0 ジャッキア ップし空転	ー 17.2±2.0 ジャッキア ップし空転
走	履 帯 (クローラ ベルト)	ボ 張り (たわみ量) ム ベ 測定方法・条件 (図面番号表示)	mm	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
行		張り(たわみ量)	mm	300~335	300~335	300~335	300~335	300~335
装		測定方法・条件 (図面番号表示) 鉄		(図番 B-001)				
置		リンクピッチの伸び シ ユ (測定方法・ 条件 )	mm	_	_	_	_	_
		履板取付けボルト 締付けトルク	N·m	804	820	804	804	820
		NULL   1 / P /	kg•m	82 トルクレンチ	82 トルクレンチ	82 トルクレンチ	82 トルクレンチ	82 トルクレンチ
ш	1・発声は準値な		1	<u>I</u>		<u>l</u>	<u>l</u>	l .

ZX240-5B	ZX240-6	ZX280-5B	ZX300-6	ZX330-5B	ZX330-6		
DCAA0− 030228∼	DC1A0− 050075∼	DDAA0− 040318∼	DDNA0- 060126~	DDDA0− 070298∼	DDQA0− 080128∼		
			<u> </u>	基	準 値	l	
$1900 \pm 50$	$1900 \pm 50$	$2000 \pm 50$	$1800 \pm 50$	$1800 \pm 50$	$1800 \pm 50$		
800±50 (50以上)	800±50	800±50	800±50	800±50	800±50		
(50 以上) (50±5)	(50 以上) (50±5)	(50 以上) (50±5)	(50以上) (50±5)	(50 以上) (50±5)	(50 以上) (50±5)		
(00 - 0)	(00_0)	(00_0)	(00 _ 0)	(00 _ 0)	(00 _ 0)		
0.4	0. 4	0. 4	0. 4	0. 4	0. 4		
0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4		
(冷間時)	(冷間時)	(冷間時)	(冷間時)	(冷間時)	(冷間時)		
$3.04\pm0.2$	$3.04\pm0.2$	$3.04\pm0.2$	$3.04\pm0.2$	$3.04\pm0.2$	$3.04\pm0.2$		
$31 \pm 2$	$31 \pm 2$	$31 \pm 2$	$31\pm2$	$31 \pm 2$	$31 \pm 2$		
(暖気運転後)	(暖気運転後)	(暖気運転後)	(暖気運転後)	(暖気運転後)	(暖気運転後)		
(セル回転)	(セル回転)	(セル回転)	(セル回転)	(セル回転)	(セル回転)		
コモンレール	コモンレール	コモンレール	コモンレール	コモンレール	コモンレール		
5~6	5~6	5~6	5~6	5~6	5~6		
ファン〜オルタ ネータプーリ間	ファン〜オルタ ネータプーリ間	ファン〜オルタ ネータプーリ間	ファン〜オルタ ネータプーリ間	ファン〜オルタ ネータプーリ間	ファン〜オルタ ネータプーリ間		
10kgf (98N)	10kgf (98N)	10kgf (98N)	10kgf (98N)	10kgf (98N)	10kgf (98N)		
_	_	_	_	_	_		
17.6±2.0 ジャッキア	17.6±2.0 ジャッキア	33.7±2.0 ジャッキア	33.7±2.0 ジャッキア	32.6±2.0 ジャッキア	32.6±2.0 ジャッキア		
ップし空転	ップし空転	ップし空転	ップし空転	ップし空転	ップし空転		
該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし		
300~335	300~335	340~380	340~380	340~380	340~380		
(図番 B-001)	(図番 B-001)	(図番 B-001)	(図番 B-001)	(図番 B-001)	(図番 B-001)		
_	_	_	_	_	_		
804	804	804	1128	1128	1128		
82	80. 4	82	112.8	115	112.8		
トルクレンチ	トルクレンチ	トルクレンチ	トルクレンチ	トルクレンチ	トルクレンチ		

		モ	デ	ル	名	ZX225US-5B	ZX225US-6	ZX225USR-3	ZX225USR -5B	ZX225USR-6
	適用範囲	適用号		機	DCNA0- 300641~	DFBA0− 500376∼	1U5- 200016~	DCQA0- 300716~	DFCA0- 500408~	
区分	検査箇所	検査項目	(条件	<b>‡</b> )	単位		検 査	基	準 値	
	作業機	バケット先	端位置	Ĺ	mm	150	150	150	150	150
	自然降下	(測 定 時 (作 動 油 作業装置)	温)		(分) (℃)	(5) (50±5)	(5) (50±5)	(5) (50±5)	(5) (50±5)	(5) (50±5)
		(図面番号	表示)			(図番 C-001)				
作	シリンダー 自然伸縮	ブームシリ: アームシリ:			mm mm	≦20 縮み量 ≦20 伸び量	≦20 縮み量 ≦20 伸び量	≦20 縮み量 ≦20 伸び量	≦20 縮み量 ≦20 伸び量	≦20 縮み量 ≦20 伸び量
		バケットシ			mm	≦20 縮み量	≦20 縮み量	≦20 縮み量	≦20 縮み量	≦20 縮み量
業		ブレードシ 作業装置		_	mm	伸び量	伸び量	伸び量	伸び量	伸び量
\Lida		(図面番号 (測定時間 (作動))	<del> </del> 表示) ])		min (℃)	(図番 C-001) 5 (50±5)				
装	作業機速度	ブーム上げ 作業装置	次執		sec	3. $1\pm0.3$	$3.5\pm0.3$	$3.1\pm0.3$	$3.5\pm0.3$	$3.5\pm0.3$
置		(図面番号 アームシリン	¦表示) ⁄ダー値 絹	はばし	sec sec	(図番 D-001) 3.3±0.3 2.6±0.3	(図番 D-001) 3.3±0.3 2.7±0.3	(図番 D-001) 3.2±0.3 2.5±0.3	(図番 D-001) 3.3±0.3 2.7±0.3	(図番 D-001) 3.3±0.3 2.7±0.3
		作業装置。(図面番号バケットシリン	·表示) /ダー作 糸	はばし しょうしょう	sec sec	(図番 E-001) 3.1±0.3 2.1±0.3	(図番 E-001) 3.0±0.3 2.1±0.3	(図番 E-001) 3.0±0.3 2.0±0.3	(図番 E-001) 3.0±0.3 2.1±0.3	(図番 E-001) 3.0±0.3 2.1±0.3
		作業装置 (図面番号 性能測定 (荷重・設)	¦表示) 条件			(図番 F-001) 荷重無し, ハイアイドル				
	油 圧 回 路 設 定 圧 力	主回路設定原	圧力		MPa	34. 3	34. 3	34. 3	34. 3	34. 3
油圧装置	双足压力	性能測定	条件		kg/cm <sup>2</sup>	350	350	350	350	350
置		(エンジン (油温:50	: 定格			ハイアイドル	ハイアイドル	ハイアイドル	ハイアイドル	ハイアイドル
	旋回ベアリン グ取付けボル	アウターレ <sup>・</sup> ボルトの締	_		N·m	510	510	510	510	510
動	トの締付け				kg•m	51	51	51	51	51
動力		インナーレー ボルトの締化	_		N·m	490	500	490	490	500
伝					kg•m	49	50	49	49	50
達	旋回減速機取 付けボルトの	油圧モータルトの締付に			N·m	90	90	90	90	90
装	締付け				kg•m	9	9	9	9	9
置		旋回減速機 トの締付け			N·m	500	500	500	500	500
					kg•m	50	50	50	50	50
1	・新車其準値を	-1- 1								

				<u> </u>		I	1
ZX240-5B	ZX240-6	ZX280-5B	ZX300-6	ZX330-5B	ZX330-6		
DCAA0− 030228∼	DC1A0− 050075∼	DDAA0- 040318∼	DDNA0- 060126~	DDDA0− 070298∼	DDQA0- 080128~		
		010010					
	.=.	.=.	検 査	基	準 値		1
150	150	150	150	150	150		
(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)		
$(50 \pm 5)$	$(50 \pm 5)$	$(50\pm 5)$	$(50\pm 5)$	$(50\pm 5)$	$(50\pm 5)$		
(図番 C-001)	(図番 C-001)	(図番 C-001)	(図番 C-001)	(図番 C-001)	(図番 C-001)		
≦20	≦20	≦20	≦20	≤20	≦20		
縮み量 ≦20	縮み量 ≦20	縮み量 ≦20	縮み量 ≦20	縮み量 ≦30	縮み量 ≦30		
= 20 伸び量	伸び量	伸び量	伸び量	伸び量	伸び量		
≦20	≦20	≦20	≦20	≦20	≦20		
縮み量	縮み量	縮み量	縮み量	縮み量	縮み量		
ー 伸び量	ー 伸び量	ー 伸び量	ー 伸び量	ー 伸び量	ー 伸び量		
(図番 C-001)	(図番 C-001)	(図番 C-001)	(図番 C-001)	(図番 C-001)	(図番 C-001)		
(凶笛 (-001)	(凶备 U=001) 5	(凶备 C=001) 5	(凶备 U=001) 5	(凶备 U=001) 5	(凶备 U=001) 5		
$(50 \pm 5)$	$(50\pm 5)$	$(50\pm 5)$	$(50\pm 5)$	$(50\pm 5)$	$(50\pm 5)$		
$3.6\pm0.3$	$3.6\pm0.3$	4.1±0.3	$3.7\pm0.3$	$3.3\pm0.3$	$3.3\pm0.3$		
(図番 D-001)	(図番 D-001)	(図番 D-001)	(図番 D-001)	(図番 D-001)	(図番 D-001)		
$3.4\pm0.3$	$3.4\pm0.3$	$3.7\pm0.3$	$3.7\pm0.3$	$3.7\pm0.3$	$3.9\pm0.3$		
2. $7 \pm 0.3$	$2.7\pm0.3$	$3.0\pm0.3$	$3.3\pm0.3$	$2.6\pm0.3$	$3.2\pm0.3$		
(50 To P 001)	(501 16 P 001)	(	(501 16 P 001)	(	(		
(図番 E-001) 3.4±0.3	(図番 E-001) 3.4±0.3	(図番 E-001) 3.4±0.3	(図番 E-001) 3.4±0.3	(図番 E-001) 3.7±0.3	(図番 E-001) 3.7±0.3		
$2.4\pm0.3$	2. $4\pm0.3$	$2.5\pm0.3$	$2.5\pm0.3$	$2.6\pm0.3$	$2.6 \pm 0.3$		
(50 76 P 001)	(501 16 P 001)	(	(501 16 P 001)	(	(		
(図番 F-001) 荷重無し,	(図番 F-001) 荷重無し,	(図番 F-001) 荷重無し,	(図番 F-001) 荷重無し,	(図番 F-001) 荷重無し,	(図番 F-001) 荷重無し,		
		ハイアイドル					
34. 3	34. 3	34. 3	34. 3	34. 3	34. 3		
350	350	350	350	350	350		
ハイアイドル	ハイアイドル	ハイアイドル	ハイアイドル	ハイアイドル	ハイアイドル		
640	640	640	640	1250	1250		
64	64	64	64	127	125		
715	715	715	715	1250	1230		
71. 5	71. 5	73	71. 5	127	125		
90	90	90	90	90	90		
9	9	9	9	9	9		
650	640	650	650	640	650		
65	65	65	65	65	65		
<u> </u>		<u>l</u>	<u>I</u>	<u>l</u>	<u>l</u>	1	1

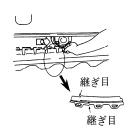
### A. ゴム履帯の張り(たわみ量)測定方法

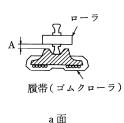
# 図番A-001



張り量を測定する履帯を、上 図のようにして浮かせ、ゴムク ローラの継ぎ目が中央にくる ようにしてください。下ローラ 転動面と履帯の踏面とのすき 間を測り、すき間:A寸法が適 量であることを確認します。

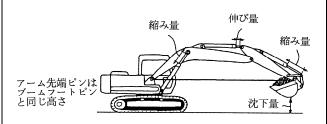
このとき、持ちあげた機体は 木製ブロック (コンクリート製 は不可) などで確実に支持して ください。





### C. 作業機沈下量及び各シリンダ自然伸縮量測定方法

### 図番C-001



バケットに基準荷重を入れ、 機体の姿勢を図のようにし、エ 砂を満杯にするか、ウエイトを ンジンを停止してください。

規定時間経過後、各シリンダ の伸びまたは縮み量及び、バケ 計算式で求められます。 ット底面でフロント全体の沈 下量を測定してください。

測定は3回行ない、平均値を 求めて下さい。

このとき、アームシリンダと バケットシリンダはストロー クエンドから20~50mmもどし、 余裕ある位置にセットしてく ださい。

バケット内の基準荷重は、土 入れてください。

ウエイト質量 (W) は、次の

W=標準バケット山積容量 ×1.5 (土砂の比重)

#### B. 鉄製履帯の張り(たわみ量)測定方法

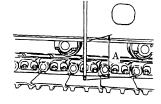
### **図番B-001**



張り量を測定する履帯を、上 図のようにして浮かせ、シュー の上側とサイドフレームの下 側の間の寸法を測ります。

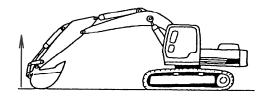
このとき、持ちあげた機体は 木製ブロック(コンクリート 製は不可) などで確実に支持 してください。

また、点検はトラック回りに 付着している土砂を完全に取 り除いてから実施してくださ



#### D. ブーム上げ速度測定方法

### 図番D-001



アームシリンダを最縮長、バ ケットシリンダを最伸長にし て、機体の姿勢を図のようにし てください。

エンジン回転を最高にして、 ブーム作業レバーを上げ方向 にフルストローク操作し、ブー ムシリンダが伸びきるまでの 時間を測定してください。

なってください。

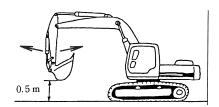
#### 【注意】

各シリンダの動作時間の測 定時は、フロントの作業範囲内 に、他の作業者や通行人が立ち 入らないよう注意してくださ

また、建物や車両などに可動 部分が接触しないよう、一度 ゆっくりとフロントを動かし、 バケットは空荷で測定を行 確認をしてから測定を行なっ てください。

## E. アームシリンダ伸ばし及び縮め速度測定方法

図番E-001



バケットシリンダを最伸長 にして、アームの中心を地面に を調整してください。

エンジン回転を最高にして、 フルストローク操作し、アーム てください。 シリンダが伸び(縮み)きるま での時間を測定してください。 バケットは空荷で測定を行

#### 【注意】

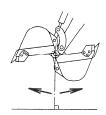
各シリンダの動作時間の測 対して垂直にしたとき、バケッ 定時は、フロントの作業範囲内 ト底部と地上との間隔が約 に、他の作業者や通行人が立ち 0.5mになるようにブーム高さ 入らないよう注意してくださ

また、建物や車両などに可動 一度アームシリンダをいっぱ 部分が接触しないよう、一度 いに縮め (伸ばし)、アーム作 ゆっくりとフロントを動かし、 業レバーを掘削(放土)方向に 確認をしてから測定を行なっ

# F. バケットシリンダ伸ばし及び縮め速度測定方法

図番F-001

なってください。



バケットの全ストロークの 【注意】 動作の中央が垂直になるよう 各シリンダの動作時間の測 な位置にブーム、アーム各シリ 定時は、フロントの作業範囲内 ンダを調整してください。

エンジン回転を最高にして、 一度バケットシリンダをいっ **い**。 ぱいに縮め (伸ばし)、バケッ み) きるまでの 時間を測定し てください。 てください。

バケットは空荷で測定を行 なってください。

に、他の作業者や通行人が立ち 入らないよう注意してくださ

また、建物や車両などに可動 ト作業レバーを掘削(放土)方 部分が接触しないよう、一度 向にフルストローク操作し、バ ゆっくりとフロントを動かし、 ケットシリンダが 伸び (縮 確認をしてから測定を行なっ

					ı		1	T
j	適用範囲	モデル	名	Vio25-6	Vio45-6A	Vio55-6A	Vio80-1A	Vio80-1B
		適用号	機					
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位			基	準 値	
	エンジン本体	エンジン回転速度						
		ハイアイドリング	${\tt min}^{-1}$	$2675 \pm 25$	2175~2225	2175~2225	1875~1925	1875~1925
		ローアイドリング	min <sup>-1</sup>	$1400\pm 25$	1175~1225	1175~1225	1175~1225	1175~1225
		(冷却水温)	(°C)	60 以上	60 以上	60以上	60 以上	60 以上
		(作動油温)	(°C)	$(50\sim60)$	$(50\sim60)$	$(50\sim60)$	$(50\sim60)$	$(50\sim60)$
		弁 隙 間						
		吸気弁 隙間	mm	0. 2	0.15~0.25	0.15~0.25	0. 2	0. 2
エ		排気弁 隙間	mm	0. 2	0. $15^{\circ}$ 0. $25^{\circ}$ 0. $15^{\circ}$ 0. $25^{\circ}$		0. 2	0. 2
		101 X()1 12X(H)	11111	0.2	0.10 0.20	0.10 0.20	0.2	0.2
ン		(測定条件)	$(\mathcal{C})$	(常温)	(常温)	(常温)	(常温)	(常温)
		圧縮圧力又は	MPa	3. 4	3.14~3.34	3.14~3.34	3.33~3.53	3.33~3.53
		気筒間圧縮圧力差	$kg/cm^2$	35	32~34	32~34	34~36	34~36
ジ		(冷却水温)	(℃)	_	_	_	_	_
		(回転速度)	(rpm)	250	250	250	250	250
ン	燃料装置	噴射ノズルの	MPa	11.8~12.7				
		燃料噴射開始圧力					コモンレール	コモンレール
			kg/cm <sup>2</sup>	120~130	max160	max160		
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り	mm	10~15	10~15	10~15	10~15	10~14
				駆動プーリ	駆動プーリ	駆動プーリ	駆動プーリ	駆動プーリ
				オルタネー		オルタネー	オルタネー	オルタネー
		測定位置・条件	(1 )	タプーリ	タプーリ	タプーリ	タプーリ	タプーリ
	+ 3- UL Ab	(中間を指で押す力)	(kg)	98N(10kgf)	98N(10kgf)	98N(10kgf)	98N(10kgf)	98N(10kgf)
	走行性能	<b>取</b> 尚	秒/3回	12	15	16. 4	17	17
		(クローラベルト						
		3回転の速度)						
		BU シリーズのみ Km/h						
	履 帯 (クローラ	ず 張り(たわみ量)	mm	8 <b>∼</b> 13	8 <b>∼</b> 13	8 <b>∼</b> 13	20~25	20~25
	(クローフ ベルト)	ム   ベ  測定方法・条件		クローラフ	クローラフ	クローラフ	クローラフ	クローラフ
走	, · · · /	ル (図面番号表示)		-	レーム中央			-
		F						
行		張り (たわみ量)	mm	135~145	135~145	135~145	150~160	150~160
		測定方法・条件		クローラフ	クローラフ	クローラフ	クローラフ	クローラフ
		(図面番号表示)			レーム中央			
装		鉄						
		リンクピッチの伸び	mm	103	136. 5	136. 5	157	157
置		シーク測定士法・フ		1 11 1 2 2	1 11 1 2 2	1 11 1 2 2	1 11 1 2 22	1 11 1 2 2
		ュ (測定方法・) 条件		1リンク	1リンク	1リンク	1リンク	1リンク
		履板取付けボルト   締付けトルク	N·m		147~177	$147 \sim 177$	220~270	220~270
			kg•m	_	15~18	15~18	22.5~27.5	22.5~27.5

★印:新車基準値を表す。

B20U	B30U	B40U	B60U	B7-6	SV100-2A		
			検 査	基	準 値		
$2350 \sim 2400$ $1225 \sim 1275$ $60 \sim 90$ $(50 \sim 60)$	$ 2545 \sim 2595 \\ 1425 \sim 1475 \\ 60 \sim 90 \\ (50 \sim 60) $	$2545 \sim 2595$ $1425 \sim 1475$ $60 \sim 90$ $(50 \sim 60)$	$2420 \sim 2440$ $1140 \sim 1160$ $60 \sim 90$ $(50 \sim 60)$	1875~1925 1175~1225 60以上 (50~60)	2075~2125 1175~1225 60以上 (50~60)		
0.2 0.2	0. 2 0. 2	0. 2 0. 2	0. 2 0. 2	0.2 0.2	0.2 0.2		
(冷時)	(冷時)	(冷時)	(冷時)	(常温)	(常温)		
3. 35~3. 55 —	3.06~3.26 -	3.06~3.26 -	3. 33~3. 53 - -	3. 33~3. 53 34~36	3. 33~3. 53 34~36		
250	250	250	250	250	250		
12. 3	19. 6	19. 6	コモンレール	コモンレール	コモンレール		
10~14	10~14	10~14	10~14	10~15	10~15		
駆動プーリ オルタネー タプーリ 98N(10kgf)	駆動プーリ オルタネー タプーリ 98N(10kgf)	駆動プーリ オルタネー タプーリ 98N(10kgf)	駆動プーリ オルタネー タプーリ 98N(10kgf)	駆動プーリ オルタネー タプーリ 98N(10kgf)	駆動プーリ オルタネー タプーリ 98N(10kgf)		
3.7(km/h)	3.8(km/h)	4.2(km/h)	4.0(km/h)	16. 5	18		
55~65	65~75	70~80	75~85	20~25	20~25		
クローラフ レーム中央		クローラフ レーム中央	クローラフ レーム中央	クローラフ レーム中央	クローラフ レーム中央		
110~120	115~130	120~135	110~130	150~160	150~160		
クローラフ レーム中央	l '	クローラフ レーム中央	クローラフ レーム中央	クローラフ レーム中央	クローラフ レーム中央		
101.6	135	135	135	157	171. 45		
1リンク	1リンク	1リンク	1リンク	1リンク	1リンク		
_	_	-	162	220~270 22.5~27.5	373~451 38~46		

}	適用範囲	モデル	名	Vio25-6	Vio45-6A	Vio55-6A	Vio80-1A	Vio80-1B
		適用号	機					
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位		検 査	基	準 値	1
	作業機 自然降下	バケット先端位置 (測 定 時 間) (作 動 油 温) 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm (分) (℃)	_	_	-	_	_
作	シリンダー	ブームシリンダー	mm	15	10	10	6以下	6以下
	自然伸縮	アームシリンダー	mm	15	25	25	15 以下	15 以下
業		バケットシリンダー	mm	9	13	13	13 以下	13 以下
		ブレードシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm	9	_	_	9以下	9以下
7]-1-		(作動油温)	(℃)	(50~60)	(50~60)	(50~60)	(50~60)	(50~60)
装	作業機速度	ブーム上げ	sec	1.8	2. 4	2. 5	3. 1	3. 1
		アームシリンダー伸ばし 縮 め	sec sec	2. 5 1. 9	2. 9 2. 2	3. 4 2. 5	3. 6 3. 1	3. 6 3. 1
置		バケットシリンダー伸ばし 縮 め	sec sec	2. 9 2	3. 7 2. 5	4 2. 4	2. 6 2. 2	2. 7 2. 2
		性能測定条件 (図面番号表示)		無負荷	無負荷	無負荷	無負荷	無負荷
	油圧回路	主回路設定圧力	MPa	20.6	24. 5	24. 5	25. 5	25. 8
油圧装置	設定圧力		kg/cm <sup>2</sup>	210	250	250	260	263
老置		性能測定条件 (エンジン:定格回路) (油温:50±5℃)						
	旋回ベアリン	アウターレース取付け	N·m	117.7~127.5	264.8~304	264.8~304	313.7~333.3	313.7~333.3
	グ取付けボル トの締付け	ボルトの締付けトルク	kg•m	12~13	27~31	27 <b>~</b> 31	32~34	32~34
		インナーレース取付け	N·m	117.7~127.5	264. 8~304	264.8~304	313.7~333.3	313.7~333.3
動		ボルトの締付けトルク	kg•m	12~13	27~31	27~31	32~34	32~34
力	旋回減速機取	油圧モーター取付けボ	N·m	107.9~127.5	264.8~304	264.8~304	264.8~304	264.8~304
伝達	付けボルトの 締付け	ルトの締付けトルク	kg•m	11~13	27~31	27~31	27~31	27~31
送装		旋回減速機取付けボル	N·m					
置		トの締付けトルク	kg•m					
				_	_	_	_	_
	L 1.発声甘淮荷な	1. 2						

★印:新車基準値を表す。

B20U	B30U	B40U	B60U	B7-6	SV100-2A		
			10	++-	Nitta I-ta		
			検 査	基	準 値 		
96~192 10 (50~60)	$ \begin{array}{c} 240 \\ 10 \\ (50 \sim 60) \end{array} $	$ \begin{array}{c} 240 \\ 10 \\ (50\sim60) \end{array} $	$150$ $10$ $(50\sim60)$	_	_		
6~12	15	15	6	6以下	6以下		
3~6	12	12	12	15 以下	15 以下		
1.8~3.6	6	6	9. 6	13 以下	13 以下		
2.4~4.8	6	6	6	9以下	9以下		
(50~60)	(50~60)	(50~60)	(50~60)	(50~60)	(50~60)		
3.0~4.2	3.7~4.9	3.0~4.0	2.1~2.7	4. 1	2. 9		
2. 2~3. 0 2. 7~3. 7	3.0~4.0 2.1~2.7	2. 4~3. 2 2. 1~2. 7	2.7~3.7 2.1~2.7	3. 7 3	3. 7 2. 8		
2.6~3.4 1.9~2.5	3. 2~4. 2 2. 1~2. 7	2.3~3.1 1.5~1.9	2.7~3.6 1.8~2.4	2. 6 2. 5	2. 4 2. 1		
無負荷	無負荷	無負荷	無負荷	無負荷	無負荷		
21.6	23	23	23	25. 5	27. 5		
_	_	_	_	260	280		
115	115	115	115	313.7~333.3	303.9~323.5		
_	_	_	_	32~34	31~33	 	
115	115	115	115	313.7~333.3	303. 9~323. 5	 	
_	_	_	_	32~34	31~33		
192	121	121	279	264. 8~304	264.8~304		
_	_	_	_	27~31	27~31		
_	_	_	_	_	_		

項目	測 定	方  法
履帯の張り調整ゴムベルト	ゴムクローラ内周面の マーク アイドラ H No. 1	ブームで片側の履帯を浮かせ、アイドラー側から2番目のトラックローラー外側転動面とゴムベルト踏面との隙間が規定量であるか確認する。このとき、ゴムベルト内周面の▲マーク位置を必ずトラックフレーム上部中央位置にする。 H=8~13mm
鉄シュー	区 No. 2	ブームで片側の履帯を浮かせ、トラックフレームの中央と下部のシュープレート上面との隙間を調整する。 H=135~145mm
作業機自然降下量 BUシリーズ	図 No. 3	バケット爪の変化量で測定
走行性能 BUシリーズ 以外	90°~105°	<ul> <li>・エンジン : 定格回転</li> <li>・作動油温度:50~60℃</li> <li>・場所 : 固い平坦地</li> <li>・走行レバー:フルスロットル (履帯浮き側)</li> <li>・測定方法 浮かせた履帯を、走行レバーフルストロークで回転させ、1回転以上空転後の3回転の所要時間を測定。</li> </ul>

項目	測 定	方 法
シリンダー自然 伸縮量 BUシリーズ	図 No. 5	ブーム、アーム、バケット、ドーザ、バケット先端 ・エンジン :停止 ・作動油温度:50~60℃ ・測定姿勢 ドーザ、アームシリンダーは最縮長、バケットシリンダーは最伸長としアームフットピンとバケットピンの高さを同一にします。 ・測定方法 測定姿勢を10分間保ち、その間に変化したロッドの長さ及びバケット先端での変化量を測定します。
B U シリーズ 以外	空荷 同一高さ 図 No. 6	<ul> <li>・エンジン : 停止</li> <li>・作動油温度:50~60℃</li> <li>・場所 : 固い平坦地</li> <li>・測定姿勢         ブームとバケットピンの高さを同一にする。</li> <li>・測定方法         10分間の各シリンダーロッドの伸びまたは縮み量を測定する。         ブレードの自然降下量は初期位置を最大上げ位置にして測定する。</li> </ul>
作業速度 ブーム BUシリーズ	☑ No. 7	ブームシリンダー速度 ・エンジン :ハイアイドル ・作動油温度:50~60℃ ・測定姿勢 アームシリンダーを最縮長、バケットシリンダーは最伸長とします。ドーザを接地させます。 ・測定方法 バケットの接地位置(最高上げ位置)から最高上げ位置(接地位置)までの所要時間を測定します。 (クッション作動時間は含まない)

項目	測 定	方 法
作業速度 ブーム B U シリーズ 以外	空荷 037658-00J00 図 No. 8	ブームシリンダー速度 ・エンジン : 定格回転 ・作動油温度:50~60℃ ・クッション含まず ・場所 : 固い平坦地 ・測定方法 バケットティース接地位置とブーム シリンダー最伸長までの所要時間を 測定する。
アーム BUシリーズ	⊠ No. 9	<ul> <li>アームシリンダー速度</li> <li>・エンジン : ハイアイドル</li> <li>・作動油温度:50~60℃</li> <li>・測定姿勢</li> <li>アームシリンダーを最縮長、バケットシリンダーは最伸長としアームを水平にします。ドーザを接地させます。</li> <li>・測定方法</li> <li>アームシリンダーの最伸長時(最縮長時)から最縮長時(最伸長時)までの時間を測定します。</li> <li>(クッション作動時間は含まない)</li> </ul>
BUシリーズ 以外	空荷 図 No. 10	<ul> <li>・エンジン : 定格回転</li> <li>・作動油温度:50~60℃</li> <li>・クッション含まず</li> <li>・場所 : 固い平坦地</li> <li>・測定方法 アームシリンダーの最伸長時(最縮長時)から最縮長時(最伸長時)までの時間を測定します。</li> </ul>
バケット BUシリーズ	図 No. 11	<ul> <li>バケットシリンダー速度</li> <li>・エンジン :ハイアイドル</li> <li>・作動油温度:50~60℃</li> <li>・測定姿勢</li> <li>アームシリンダーを最縮長にしてアームを水平にします。ドーザを接地します。</li> <li>・測定方法</li> <li>バケットシリンダーの最伸長時(最縮長時)から最縮長時(最伸長時)までの時間を測定します。</li> </ul>

項目	測定	
作業速度 バケット BUシリーズ 以外	空荷	<ul> <li>・エンジン : 最高回転</li> <li>・作動油温度:50~60℃</li> <li>・場所 : 固い平坦地</li> <li>・測定方法 バケットシリンダーの最伸長時(最 縮長時)から最縮長時(最伸長時)までの時間を測定します。</li> </ul>
ブレード BUシリーズ	⊠ No. 12	ドーザシリンダー速度 ・エンジン :ハイアイドル ・作動油温度:50~60℃ ・測定姿勢 ホウアタッチメントを使用し、ドーザ側を持ち上げます。 ・測定方法 ドーザをフルストローク上下させ、その時の上げ、下げ時間を測定します。
B U シリーズ 以外	図 No. 13	<ul> <li>エンジン : 定格回転</li> <li>作動油温度:50~60℃</li> <li>場所 : 固い平坦地</li> <li>測定方法</li> <li>ブレード接地位置(シリンダー最縮長時)からシリンダー最縮長(ブレード接地位置)までの時間を測定します。</li> </ul>

# 油圧ショベル(クローラ式)検査・整備基準値表

平成 10 年 9 月 初版発行 平成 16 年 3 月 A版発行 平成 20 年 3 月 B版発行 平成 25 年 3 月 C版発行 平成 29 年 8 月 C版第4刷発行 平成 30 年 3 月 D版発行

発行 公 益 建設荷役車両安全技術協会

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町3丁目7番1号 (ニュー九段ビル9階)

電話 03-3221-3661 FAX 03-3221-3665

URL http://www.sacl.or.jp